電子辞書

形名PW-AC30

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は、使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。
重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

◎本体の取り扱いについて

⚠ 注意

電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。

- プラス“＋”とマイナス“－”の向きを表示どおり正しく入れる。
- 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
- 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

◎イヤホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意

イヤホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

◎市販の充電池の取り扱いについて

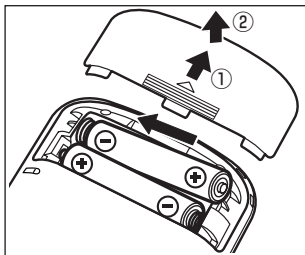
⚠ 注意

市販の充電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電池は三洋電機株式会社製の単４形eneloop®(エネループ)またはパナソニック株式会社製の単４形 充電式EVOLTA（エボルタ）をご使用ください。
  これ以外の充電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電池をご使用の際は、充電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

初めてお使いになるときは

次の手順で電池を入れ、最初の設定をします。

1 **電池ぶたを矢印①、②の方向に引いて外し、同梱の乾電池を向きをまちがえないよう入れます。**

注） このとき入/切（入/切）キーを押さないように注意してください。

2 **電池ぶたをもとどおりに取り付け入/切（入/切）を押して電源を入れます。**

右の、タッチパッド調整画面が表示されます。

- 違う画面が表示された場合は、167ページの操作をしてください。
- 電源が入らないときは、電池の方向などを確認しながら入れ直してみてください。

3 **タッチペンを取り出して伸ばし、画面に表示されている＋マークの交点に正確にタッチします。**

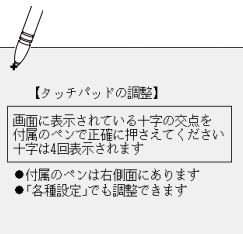
タッチペン
本体から引き出し、伸ばして使用します。

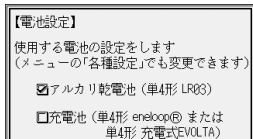
タッチパッド調整画面

＋マークは、タッチすると別の場所に表示されますので順番に（4カ所）タッチしてください。

【タッチパッドの調整】

画面に表示されている十字の交点を
付属のペンで正確に押さえてください
十字は4回表示されます

●付属のペンは右側面にあります
●「各種設定」でも調整できます

すべてタッチすると、使用する電池の設定画面が表示されます。

【電池設定】
使用する電池の設定をします
（メニューの「各種設定」でも変更できます）
☑アルカリ乾電池（単4形 LR03）
☐充電池（単4形 eneloop® または
単4形 充電式EVOLTA）

4 使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電池」）を[▼]、[▲]で選び[検索/決定]を押します。

メインメニュー画面（☞20ページ）が表示されます。

▶参考◀

- 電池の設定を確認する場合や、変更する場合は58ページを参照して行ってください。

電池が消耗した場合は

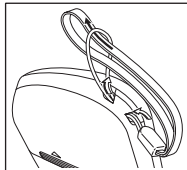
- 画面右上に電池マークが“ ”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示されたときは電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください（☞170ページ）。

操作説明について

本書は、基本編で本製品の基本的な使いかたを説明しています。**本書の基本編は必ずお読みください。**コンテンツ説明編では、各コンテンツ※の使い方を説明しています。

※コンテンツ
コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。収録されている辞書、書籍等を特定せずに示すとき「コンテンツ」と記載します。

市販のストラップを取り付けるときは

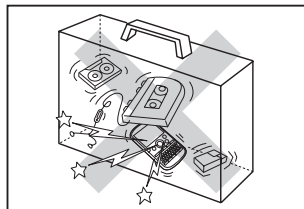
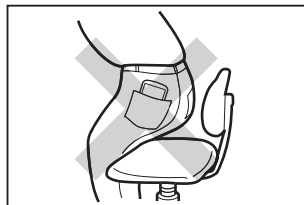
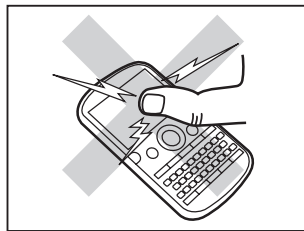
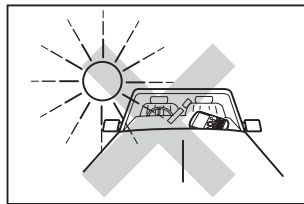
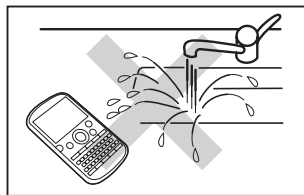
市販のストラップを取り付けることができます。図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けます。

注意

- ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っぱるなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

使用上のご注意とお手入れ

- **製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。**
  大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に**満員電車の中**などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。

- **ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。**
  また、製品に圧力が加わらないように、製品を入れる場所に注意してください。
  傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。

- **キーやタッチパッド（表示部）を爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。**
  傷ついて正しく動作しなくなることがあります。（タッチパッドは付属のタッチペンで操作してください。）

- **表示部を強く押さえないでください。**
  割れることがあります。

- **日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。**
  高温により、変形や故障の原因になります。

- **防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。**
  雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- **お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。**
  シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布、硬い布は使用しないでください。変質したり色が変わったり、傷がついたりすることがあります。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

商標・登録商標

- eneloop®は三洋電機株式会社の登録商標です。
- EVOLTAはパナソニック株式会社の登録商標です。
- 本書中の会社名、団体名、商品名は各社の登録商標または商標です。

おことわり

この製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変／改良することはできません。
それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

付属品を確認する

下記の付属品がそろっているか確認してください。

- □ イヤホン
- □ タッチペン（本体側面に装着）
- □ アルカリ乾電池　単4形2本
- □ 取扱説明書（本書）※

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI－B

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

本書でのキーなどの表記のしかた

- キーは [　] で囲んで表します。

例 [一括検索]：[一括検索]と記載

[文字サイズ しおり]：[文字サイズ]と記載
（緑色で書かれた機能を使うときは下記を参照ください。）

なお、計算例の数字などは枠で囲まずに記載します。

- 2種類以上の機能が書かれているキーは、そのとき使用する機能のみを記載します。

例 [W 2]：[W]または[2]と記載

- 緑色で書かれた機能は[機能]を押して離したあと（画面左上に 機能 を表示）、それぞれのキーを押します。

例：[機能][後退]（削除）、[機能][X]（?）と記載

- カーソルキーは次のように表記します。

[◀]、[▶]、[▲]、[▼]と記載します。操作する際は、リング状キーのマークが一致する部分を押してください。

- 画面内や表示部右のボタンは [　] で囲んで表します。

例 [手書き]：[手書き]と記載

画面例について

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

記号について

注意 … 故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

参考 … 参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

もくじ

基 本 編

基本編

◎●◎

基本操作の説明

各部のなまえと主なはたらき

① **表示部**（または**タッチパッド**）
メニューや辞書の内容などを表示します。

② **カーソルキー**（◀、▶、▲、▼）
- カーソルを移動させます。メニューやリストの項目選択、マークの選択、文字の範囲選択、画面送りなど、多くの場面で使用します。
- 音声再生画面で、機能に続いて▲、▼を押すと、音量を調整できます。

③ **検索/決定キー**（検索/決定）
- メニュー選択や文字入力を確定するときなどに押します。
- 電卓で計算を実行するときにも押します。
- 詳細画面で機能に続いて押すと、見出し語などが単語帳に登録されます。

④ **戻るキー**（戻る）
- 前の画面に戻ります。
- 機能に続いて押すと、表示されていた見出し語から始まるリスト画面が表示されます。
  ◉ 詳細画面などでタブ（画面）を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも戻るで前のリスト画面などに戻ります。

⑤ **入/切キー(入/切)**
電源を入れたり切ったりします。

⑥ **一括検索キー(一括検索)**
一括検索の入力画面が表示されます。

⑦ **コンテンツ選択キー(英和/和英、中日、日中)**
各キーのコンテンツの画面になります。

⑧ **機能キー(機能)**
緑色で書かれている機能を使うとき、各キーの前に押します。

⑨ **例/解説/図キー(例/解説/図)**
- 例 、解説、図 マークが表示されているとき、このキーでマークを選んで検索/決定を押すと、収録内容が表示されます。
- 🔊 マークが表示されている詳細画面などで機能に続いて押すと、音声再生モードになり🔊が反転します。カーソルキーなどでマークを選び検索/決定を押すと音声が再生されます。

⑩ **Sジャンプキー(Sジャンプ)**
- 詳細画面内の言葉を調べるとき、言葉を選択できる状態にします。
- 単語帳があるコンテンツの詳細画面で機能に続いて押すと、カード式単語帳の作成画面が表示されます。

⑪ **文字サイズキー(文字サイズ)**
- リスト画面や詳細画面で文字の大きさを切り替えます。
- しおりがあるコンテンツの画面で機能に続いて押すと、しおり画面が表示されます。

⑫ **切替キー(切替)**
- 詳細画面の上部に複数のタブが表示されているとき、タブを切り替えます。
- 単語帳があるコンテンツの画面で機能に続いて押すと単語帳が表示されます。

⑬ **イヤホン接続端子**
付属のイヤホンを接続します。

⑭ **後退キー(後退)**
- 入力欄への文字入力中などに押すと、カーソルの左側の文字が削除されます。
- 機能に続いて押すとカーソル位置の文字が削除されます。

⑮ **クリアキー（[クリア]）**

入力欄への文字入力中などでは、入力した文字を消去します。リスト画面や詳細画面などでは、コンテンツの先頭の画面などに戻ります。

⑯ **メニューキー（[メニュー]）**

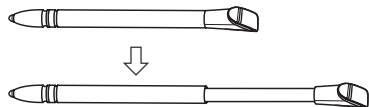
メインメニュー画面（☞20ページ）を表示させます。

⑰ **ページ送りキー（[△]、[▽]）**

- リスト画面や詳細画面などで画面に表示し切れていない内容があるとき、1画面分ずつ内容を送ります。
- 調べたい語を入れて表示させた詳細画面などで、[機能]に続いて押すと、次（前）の見出し語の詳細画面が表示されます。

⑱ **タッチペン収納部（右側面）**

画面操作をするタッチペンが収納されています。

- タッチペンは本体側面から引き出し、伸ばして使用します。

❶ **手書きボタン（[手書き]）**

入力欄にカーソルが表示されている画面で手書き画面（☞25ページ）を表示させたり消したりします。

❷ **戻るボタン（[戻る]）**

前の画面に戻ります。

❸ **検索/決定ボタン（[検索/決定]）**

- メニュー選択や文字入力を確定するときなどに押します。
- 電卓で計算を実行するときにも押します。

❹ **上下カーソルボタン（[▲]、[▼]）**

カーソルを上下に移動させます。メニューやリストの項目選択、画面送りなどで使用します。

電源を入れる/切る

電源を入れるとき、切るときは[入/切]キーを押します。
電源を入れるとメインメニュー画面か、電源が切れる前の画面が表示されます。

自動的に電源が切れたときは

[入/切]キーを押して電源を入れます。
この製品は電池の消耗を防ぐため、画面やキーの操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます（オートパワーオフ機能）。この時間は最初5分間に設定されていますが、57ページの方法で変更することができます。

画面が暗くなったときは

この製品は約30秒間キーなどを操作しないと画面が暗くなります。このときは、画面にタッチまたは何かキーを押せば元の明るさに戻ります。なお、音声等再生中は、約5秒間キー操作をしないと画面が暗くなります。

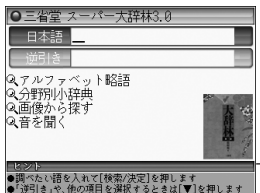
画面表示について

シンボル・マーク	意　味
（電池マーク）	電池が消耗すると画面右上に表示されます。電池マーク（電池マーク）が表示されたときは速やかに電池を交換してください（☞170ページ）。 このときは画面が暗くなり、音の再生、単語帳の登録や削除、製品の初期化などができなくなり、やがて電源が切れます。
⇧ ⇩	画面の右上に表示され、矢印の方向に表示されていないデータがあることを示します。 [▼]、[▲]:1行ずつ画面を送ります。 [∨]、[∧]:1画面ずつ画面を送ります。
機能	画面の左上に表示されます。 [機能]が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 （状況により選択できない機能があります。）

基本編
基本操作の説明

シンボル・マーク	意　味
〈例〉〈解説〉〈図〉	関連する例文や解説、図が収録されていることを示します（☞37ページ）。
〈🔈〉	音声データが収録されていることを示します（☞38ページ）。
➡	ジャンプして参照できることを示します（☞45ページ）。

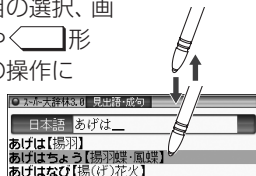
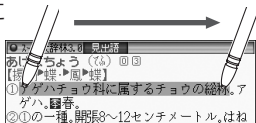
操作ガイドメッセージ（ヒント）

画面下や画面上部に操作ガイドが表示されることがあります。操作ガイドには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されていますので、参考にしてください。

操作ガイド（例）

画面タッチ操作のしかた

付属のタッチペンで表示部（タッチパッド）にタッチして操作することができます。

《タッチ操作の種類》

タッチ：画面に軽く触れ（押し）、離す操作です。メニュー項目の選択、画面のボタンや〈　〉形マークなどの操作に使います。

ドラッグ：タッチペンで画面にタッチしたままペンを別の点まで移動させます。文字の範囲指定に使います。

● ドラッグの開始・終了の文字には、ペンが半分以上かかるようにしてください。少ないと範囲内と見なされないことがあります。

注意

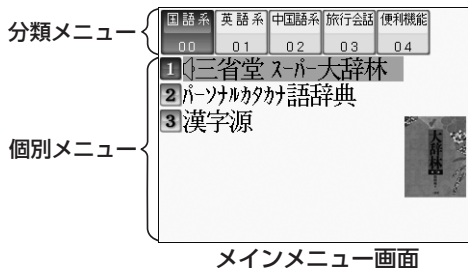
- **画面を強く押さえたり、たたいたりしないでください。**強い力やショックを加えると傷がつき破損の原因になります。

使いたいコンテンツの選びかた

各コンテンツは、次のメインメニュー画面で選びます。

1 **［メニュー］を押します。**

メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

2 **まず、分類メニューを次のいずれかの方法で選びます。**

- **［▶］、［◀］で選ぶ。またはタッチして選ぶ**
- **分類番号（00～04）を［0］～［4］キーで入力して選ぶ**

選んだ分類メニューの個別メニューが表示されます。

3 **次に、個別メニューの使いたいコンテンツを次のいずれかの方法で選びます。**

- **［▼］、［▲］でコンテンツ名を選び［検索/決定］を押す。またはコンテンツ名にタッチする**
- **コンテンツ名の前の番号を［1］～［7］キーで選ぶ**

選んだコンテンツの画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。

例：［メニュー］を押し「便利機能」から「電卓」を選びます。

文字入力と修正

文字のキー入力と修正のしかた

日本語の入力方法

日本語のキー入力は「ローマ字かな入力」方式で行います。171ページの「ローマ字→かな変換表」を参照して入力してください。

キーで文字を入力する練習をしましょう。

- 入力の修正は24ページを参照してください。
- 漢字、ハングルは手書きで入力します（☞25ページ）。

【例】スーパー大辞林の日本語入力欄に「じゅんぷう」と入れる場合

J U N （N） P U U

日本語入力欄→ ● スーパー大辞林3.0 見出語・成句 日本語 じゅんぷう_

数字やアルファベットの入力

数字、アルファベットは、読みを入力します。

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン(－)は入る？

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン（－）、中点（・）などは入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

ひらがな、カタカナを切り替えて入れる方法は?

コンテンツによって、ひらがなが入力されるか、カタカナが入力されるか決まっていて、切り替えることはできません。

ゐ、ゑ を入れる方法は？

ゐは W Y I、ゑは W Y E と押して入れます。

ピンイン（中国語発音表記）の入力方法

ピンイン（pinyin）は中国語の発音をローマ字表記する方法です。ローマ字はアルファベットで表しますが、母音に四声を表すマークが付く場合は下記の方法で指定します（四声の指定をしなくても検索することはできます）。

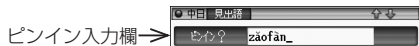
- 中国語漢字は中国語入力欄へ手書きで入力します（☞25ページ）。

【例】「zǎofàn」（早饭）と入れてみましょう。

1 **メニュー を押し、「中国語系」から「中日辞典」を選びます。**

2 **▼ を押し、カーソルをピンインの入力欄に移して「zǎofàn」と入れます。**

Z A A A A O F
A A A A A N

ピンイン入力欄→ 中日 見出語 ピンイン？ zǎofàn_

ピンインの入力について

ピンインで使用する、通常のアルファベット以外の文字の入力および四声の指定のしかたを説明します。

四声の指定

中国語の声調は、軽声、1声、2声、3声、4声があり、母音（a、o、e、i、u、ü）に次のような記号を付けて表します。なお、1声～4声をまとめて四声と呼びます。

a、eなど….軽声　ǎ、ěなど….第3声
ā、ēなど….第1声　à、èなど….第4声
á、éなど….第2声

四声の指定（入力）は次の操作で行います。例えば A を1回押すと“a”が表示されます。続けて A を押していくと次の順で表示が変わります。

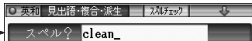
a→ā→á→ǎ→à→a

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、▶ を押すと入力文字が確定されます。

同じ種類の文字が続くときは、前の文字を入れ[▶]で確定させてから次の文字を入れます。

dá'àn→[D][A][A][A][▶][A][A][A][A][A][N]

（'などの記号は省略して入れます。）

●声調記号（ˉ ˊ ˇ ˋ）は、母音の上に付きます。

ü の入力：ü は[V]を押すと入力されます。

英語の入力方法

英字などの入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは次ページを参照して直してください。

【例】英和辞典のスペル入力欄に「clean」と入れる場合

[C] [L] [E] [A] [N] と押します。

スペル入力欄→

○ 英和 見出語・複合・派生 | スペルチェック
スペル？ clean_

スペル入力時の参考

1. 見出し語のスペース、「ー」、「'」、「／」、「.」などは省いて入力し、検索します。

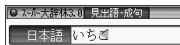
（例） fast food → fastfood で検索
weak-kneed → weakkneed で検索
let's → lets で検索

2. 大文字と小文字は切り替えられません。大文字、小文字は区別せずに検索します。
3. 数字は英語のスペルで検索できる場合があります。
4. 「&」は「and」と入力します。

入力した文字の修正のしかた

文字の修正は次の方法で行います。

余分な文字を削除する

[◀]、[▶]で削除したい文字の後ろにカーソルを移し[後退]を押します。
カーソルの前（左）の文字が削除されます。

カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は[機能][後退]（削除）と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

[クリア]を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

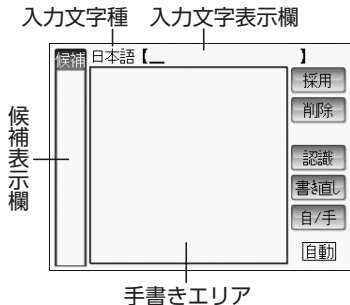
[◀]、[▶]で文字を追加したい位置にカーソルを移し、文字を入力すると追加されます。

文字を手書き入力する

各コンテンツで、入力欄（ピンインを除く）にカーソルがあるとき、画面横の手書き ボタンにタッチすると、**手書き画面**が表示されて、文字を手書き入力することができます。（ピンインは手書き入力できません。）

- 手書き画面を閉じるときは 戻る を押します。なお、手書き や 戻る にタッチしても閉じます。

手書き画面の各部のはたらき

入力文字種　入力文字表示欄
候補表示欄
日本語【＿　】
候補
採用
削除
認識
書き直し
自/手
自動
手書きエリア

手書きエリア：タッチペンで文字を手書きします。

入力文字種：認識する文字の種類を示します。
- **日本語**：漢字、平仮名、片仮名が入力できます。
- **仮名**　：平仮名、片仮名が入力できます。
- **漢字**　：漢字（日本語）が入力できます。
- **スペル**：アルファベットが入力できます。
- **中国語**：漢字（簡体字）が入力できます。
- **ハングル**：ハングル文字が入力できます。

入力文字表示欄：手書きして認識された文字が入ります。

候補表示欄：入力文字表示欄で選ばれている文字の候補文字が表示されます。候補文字にタッチすると、入力文字表示欄の文字が入れ替わります。

採用 **ボタン**：入力文字表示欄の文字をコンテンツの入力欄へ移します。

削除 **ボタン**：入力文字表示欄の文字を右端から削除します。

認識 **ボタン**：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。自動認識に設定されているときでも、このボタンにタッチすると直ちに認識が開始されます。

書き直し **ボタン**：手書きした文字を消去します。手書きエリアに何もかかれていないときは、入力文字表示欄の文字を右端から削除します。

自/手 **ボタン**：手書きした文字を認識させる方式を切り替えます。タッチするたびに**自動認識**と**手動認識**のモード(方式)が切り替わります。

自動認識は、ペンを画面から離してから約１秒後に自動的に認識を開始します。

手動認識は、書き終わった後 **認識** にタッチして認識させます。

自動 / 手動 **シンボル**：現在の認識モードを示すシンボルです。

注意

- **文字は強く押さえないで軽く書いてください。**
  表示部やペン先にゴミが付着している状態で強く押さえると、表示部に傷がついたり、破損の原因になります。

参考

- 文字を仮名で入れて漢字に変換する機能はありません。
- **次の場合は メニュー を押し、「便利機能」−「各種設定」−「タッチパッドの調整」と選んで、タッチパッドの調整をしてみてください。**
  - ペンの位置と、書かれる文字の位置がずれる。
  - 候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
  - ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

手書き入力をする

一括検索の画面で手書き入力をしてみます。

【例】日本語入力欄に「持つ」を入れます。

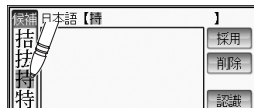
1 **一括検索 を押し、日本語入力欄にカーソルがあることを確認して 手書き にタッチします。**

手書き画面が表示されます。

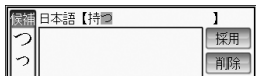
2 **手書きエリアにタッチペンで「持」と書きます。**

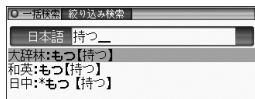
自動認識の場合、画面からペンを離して約１秒後に認識が行われ、第一候補の文字が入力文字表示欄に入り、候補表示欄に候補文字が表示されます。

- 手動認識では 認識 にタッチして認識させます。
  自動認識でも、書き終わってすぐに認識させる場合は 認識 にタッチします。

3 **もし、入力文字表示欄に目的と違う文字が入ったときは、候補表示欄の中の、目的の文字にタッチ（選択）します。**

入力文字表示欄の文字が選択した文字に入れ替わります。

- 候補にないときは 書き直し や 削除 で削除し、書き直します。

4 同様にして「つ」を書き、認識させます。

5 文字を入れ終わったら、採用にタッチしてコンテンツの入力欄へ移します。

辞書などの検索が行われます。

▶参考◀

- 入力文字表示欄に複数の文字が入っているとき、各文字にタッチして選ぶと、候補表示欄にそれぞれの文字の候補が表示されます。

手書き入力のご注意

- **自動認識**の場合、文字は途中で止めないで速やかに書いてください。
  文字を書いて画面からペンを離すと、約1秒後に認識が行われます。ただし、文字の種類によって認識が始まる時間は異なります。早く認識させたいときは**認識**で認識させてください。

自動認識の場合、文字を書いている途中でペンを離して間をおくと、文字を書き終わったものと見なして認識しますので、途中で止めないで速やかに書いてください。
また、印刷している文字を確認しながら書く場合は自/手で**手動認識**に設定し、文字を書き終えてから**認識**にタッチして認識させてください。

- 漢字や仮名は楷書で1字ずつ、はねのある字は最後のはねまでていねいに書いてください。行書など続け字は認識されない場合があります。
- 文字は1字ずつ書いて認識させてください。
  一度に2文字書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。

- 文字は手書きエリア内からはみ出さない範囲で、大きく書いてください。
  ただし、仮名の小さい文字や、英字の大文字と似ている小文字は小さく書いてください。
- なるべく正しい筆順で書いてください。
- 文字の1画（線）が途切れないように書いてください。
- 文字が傾きすぎないように書いてください。
- はねやかざりをつけすぎないように書いてください。

▶参考◀

- 韓国語文字（ハングル）には、書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔と잔は ㅈとㅈが異なって違う文字に見えますが、同じ文字です）。ハングルを手書き入力するときにはご留意ください。

▶参考◀

認識する文字について

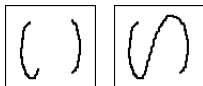
- 日本語はJIS X 0213-2004に基づくJIS第1水準〜第4水準、およびJIS X 0212-1990に基づく補助漢字を認識します。「JIS X 0213」の改定前の漢字と改定後の漢字の字形が異なる場合、どちらで書いても改定後の漢字と認識します（**例**：“祇”と書いても“祇”と認識します）。
- 中国語は簡体字GB2312に準拠の漢字を認識します。
- ハングル（韓国語）はKSC5601に準拠の字を認識します。

手書き入力で辞書を引くときのご注意

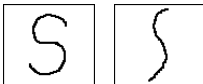
JIS第1〜第4水準の漢字に対応している辞書は「漢字源」のみです。
本製品はJIS第1〜第4水準の漢字を手書き入力で認識しますが、「漢字源」以外の辞書はJIS第3・第4水準に対応していないため、検索できない場合があります。

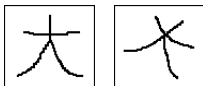
手書き認識について

手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

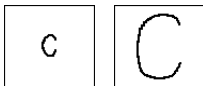
続け字にならないように(画数がはっきりとわかるように)書きます。

良い例

悪い例

崩さず、ていねいに書きます。

良い例　悪い例

あまり傾かないように書きます。

良い例

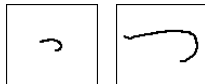
悪い例

「C」と「c」など大文字と小文字が同じような文字は、区別がつきやすいように、小文字を小さく書きます。

小文字

大文字

「っ」などの小さい文字も小さく書きます。

小さい「っ」

大きい「つ」

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると２種類になります。

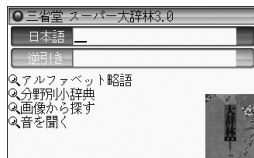
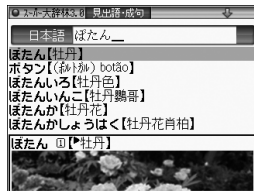
文字を入力して調べる
調べたい語の読みやスペルなどを入力して調べます。

リストの項目を選んで調べる
リストから項目を選んでいき目的の言葉などを調べます。

文字を入力して調べる

【例1】スーパー大辞林で「ぼたん」を調べる

1 **メニュー を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。**

日本語入力欄にカーソルが表示されます。

2 **日本語入力欄に「ぼたん」と入れます。**

入力した文字を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます（1字入力ごとに候補が絞り込まれます）。

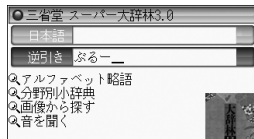
3 **▼、▲ で目的の語を選び 検索/決定 を押します（または目的の語にタッチします）。**

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

- 画面右上に"⇩""⇧"が表示されているときは、[∨][∧]や[▼][▲]で画面を送って隠れている内容を確認します。
- [戻る]を押すと前の画面に戻ります。
- [機能][戻る](リスト)と押すと辞書順(収録順)リスト表示になります。

【例2】後ろに「ブルー」が付く語を調べる(逆引き)

1 **[メニュー]を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。**

2 **[▼]で逆引き入力欄を選んで「ぶるー」と入れます。**

3 **[検索/決定]を押します。**

「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。

4 **[▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します(または目的の語にタッチします)。**

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

新しい言葉を引くときは

[クリア]を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。詳細画面では文字を入れると、入力画面に戻りますので読みなどを入れます。

文字を入力中に候補がなくなると

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると
《**該当語なし**》と表示されます。
その後ろに「**並び順の近い語を表示**」または「**スペルチェックへ**」とのメッセージが表示された場合は、それぞれを選んで[検索/決定]を押す（またはタッチする）と、50音順またはアルファベット順などで、入力した文字よりも並びが後の語のリスト表示、またはスペルチェック画面が表示されます（スペルチェック：☞42ページ）。
なお、[戻る]を押すと入力画面に戻ります。

【検索の種類】

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索：文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭出し検索：入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索：入れた文字（単語）が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。

▶参考◀

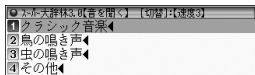
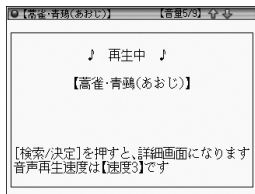
- 検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

リストの項目を選んで調べる

【例】スーパー大辞林の「音を聞く」で調べる

1 [メニュー]を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。

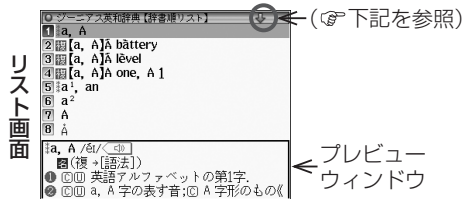
2 [▼]、[▲]で項目（「音を聞く」）を選び[検索/決定]を押します。

リスト表示

3 手順2と同様の操作でリストの項目を選んでいくと音が再生されます。

- 音はイヤホンで聞きます（☞38ページ）。
- スーパー大辞林で再生中に[検索/決定]を押すまたは画面にタッチすると説明を表示します。

項目の選択と画面送り

リスト項目の選択と画面送り

メインメニュー画面から「ジーニアス英和＆和英辞典」を選んで[検索/決定]を押し、英和辞典のリスト画面を表示させて説明します。

- 英和辞典や大辞林などの辞書の最初の画面で、何も入力せずに[検索/決定]を押すと、リスト画面が表示されます。

各項目（各語）を選択する方法

[▼]、[▲]でカーソル（青い線）を目的の項目へ移動させて[検索/決定]を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“⇩”や“⇧”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

(1) ▼、▲でカーソルを1行ずつ移動させ、隠れている部分を表示させせます。

(2) ▽、△で１画面分ずつ送ります。

- 上記キーを押したままにすると、連続して画面が送られます。

◆プレビュー表示について

文字入力などで表示させたリスト画面では、前画面のように、選択されている候補の説明の一部がプレビューウィンドウに表示されます。プレビュー表示の入/切（あり/なし）は57ページの方法で切り替えます。

▶参考◀

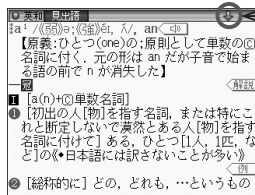
- リスト画面でも、プレビュー表示ができない場合があります。
（漢字源や、リストの項目を選んでいく形式のリスト画面など）

詳細画面で次（前）の見出し語を見る

前ページのリスト画面で、▼で「a¹, an」を選び 検索/決定 を押してください。

「a¹, an」（見出し語）の詳細画面が表示されます。

機能 ▽（次見出）、機能 △（前見出）と押すと、並び順で次または前の見出し語などが表示されます。

詳細画面（１件表示画面）

画面表示を変える

文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で［文字サイズ］を押すと、表示される文字の大きさを切り替えることができます。

詳細画面（国語系）：
12、16、24、48ドット文字

詳細画面（英語系、中国語系、旅行会話）：
12、16、24ドット文字

リスト画面：12、16ドット文字

▶参考◀

- コンテンツや画面によっては、文字サイズを切り替えられない場合や、切り替えられるサイズの範囲が異なる場合があります。

画面上部に複数のタブがあるとき

タブは現在の表示の種類（見出語など）を示します。タブが複数表示されているときは関連する内容があることを示し、［切替］でタブを切り替えて内容を見ることができます。

- ここでは［メニュー］を押し「英語系」から「ジーニアス英和＆和英辞典」を選び［検索/決定］を2回押して英和辞典の詳細画面を表示させています。

マークが表示されたとき

詳細画面に 例 、解説、 図 マークが表示されたとき、関連する例文や解説、図が収録されています。

この画面で 例/解説/図 を押すとマークが反転表示になります。

マークが複数あるときは、カーソルキーで反転表示を調べたいマークに移し 検索/決定 を押すと、収録されている内容が表示されます。

- 別の図を表示させるときは 戻る で図を閉じ、マークを選び直して 検索/決定 を押します。
- 別の例や解説があるときは、▶ や ◀ で順番に表示させることができます。

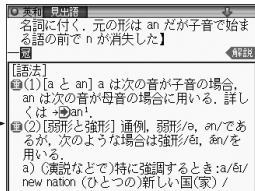
【例】英和辞典の画面で例や解説を見る

1 メニュー を押し「英語系」から「ジーニアス英和＆和英辞典」を選び 検索/決定 を押します。

2 ▼ で「a[1], an」を選び 検索/決定 を押します。

3 例/解説/図 を押します。

マークが反転表示されます。

4 ▼、▲、▶、◀ でマークを選び、検索/決定 を押します。

画面右上に“⇩”や“⇧”が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。∨、∧ や ▼、▲ で送って確認します。

5 別の例や解説があるときは ▶ や ◀ で表示させます。

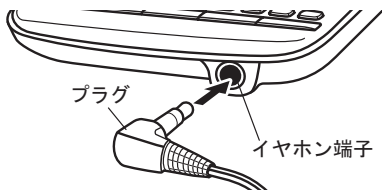
6 終了するときは 戻る を2回押します。

1回目でウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

音声を聞く

イヤホンを接続する

音声は付属のイヤホンで聞きます。図を参照して接続してください。

- 必ず電子辞書の電源を切ってから、プラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると故障の原因になります。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。

◆ はじめに適正な音量に調整してください(☞39、58ページ)。

◆ イヤホンは、付属のイヤホンをお使いください。市販のイヤホンは音声が正しく聞こえないことがあります。

〈🔊 マークを表示する(音声を聞く)

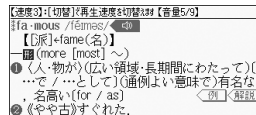
辞書メニューの🔈付きコンテンツは音声が収録されています。ジーニアス英和辞典などでは音声収録箇所に〈🔊(音声マーク)が表示され、次の操作で再生できます。

1 例えばジーニアス英和辞典で「famous」の詳細画面を表示させます。

〈🔊 マークが、再生対象の語や文の後ろ等に表示されます。

2 機能 例/解説/図(音声)を押してマークを反転表示(〈🔊)させ 検索/決定 を押します(またはマークにタッチします)。

音声が再生されます。

【速度3】:[切替]で再生速度を切替えます【音量5/9】
‡fa·mous /féɪməs/〈🔊
【[派]←fame(名)】
—形(more [most] ～)
❶〈人·物が〉(広い領域·長期間にわたって)[…で / …として](通例よい意味で)有名な, 名高い[for / as] 〈例〈解説
❷《やや古》すぐれた.

- 反転表示時(〈🔊)は 検索/決定 を押すたびに音声が再生されます。

- [音声マーク]が複数あるときは[▼]、[▶]などで反転を目的のマークへ移して[検索/決定]を押します。
- 再生を中止するときや、マークを[音声マーク]に戻すときは[戻る]を押します。

▶参考◀

- [音声マーク]や英単語などが反転（☞次項）しているときは、[切替]で音声の再生速度を切り替えることができます。

音量を調整する

- マーク反転表示（[音声マーク]）時に[機能][▲]（音量大）、[機能][▼]（音量小）で調整します。
  音量を上げすぎると、音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。
  コンテンツにより音量に差があります。

英語は米国語、中国語は北京語、朝鮮語は韓国語、その他の言語は各母国の音声を収録しています。
「スーパー大辞林」はクラシック音楽（一部）や鳥の鳴き声などを収録しています。

英単語をネイティブの発音で聞く

各辞書の詳細画面に表示されている英単語などをジーニアス英和辞典の音声データを利用して発音させることができます。

1 和英辞典などで詳細画面を表示させます。

例えば[英和/和英]を押し[▼]で日本語入力欄を選び「こうしん」と入れ、**こうしん【行進】**を選んで[検索/決定]を押します。

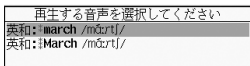
2 [機能][例/解説/図]（音声）と押します。

先頭の英単語などにカーソルが表示されます。（[音声マーク]があると反転表示されます。）

3 発音させたい単語にカーソルを移し[検索/決定]を押します（または単語にタッチします）。

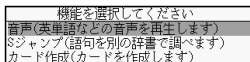
英和辞典が参照され、ウィンドウに表示されます。

- **音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは**
  自動的に音声を再生します。
- **英単語などが複数見つかったときは**
  選択ウィンドウに表示される候補を選び［**検索/決定**］を押す（または候補にタッチする）と音声が再生されます。

再生する音声を選択してください
英和：**march** /mɑ́ːrtʃ/
英和：**March** /mɑ́ːrtʃ/

- 音声再生を途中で止めるときや、画面を戻るときは［**戻る**］を押します。

▶参考◀

- 手順2の操作をせずに単語にタッチ（ドラッグ）した場合は、**機能選択画面**が表示されますので、タッチして機能を選択してください。

機能を選択してください
音声（英単語などの音声を再生します）
Sジャンプ（語句を別の辞書で調べます）
カード作成（カードを作成します）

- カード式単語帳の画面など、詳細画面でも単語の発音ができない場合があります。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法や便利な機能について説明します。

読みやスペルの一部を省略して検索

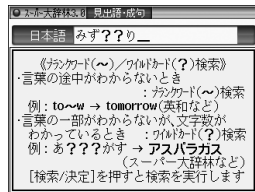
読みや単語の一部を“**?**”（ワイルドカード）または“**〜**”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード：

“？”は不明な文字の代わりに入力します。（読み：最大12個、スペル：最大19個）
（例）「う？？？ざくら」「se????y」

ブランクワード：

“〜”は複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
（例）「う〜ざくら」「se 〜 y」「〜 men」

- “？”は機能 X（?）、“～”は機能 Z（～）と押して入れます。
- “？”は先頭に使えません。“～”は最後に使えません。
- “？”と“～”を同時に使うことはできません。

また、後述の「**“？”、“～”が使えるコンテンツ**」で示すコンテンツの入力画面および一括検索の入力画面で、次の場合に利用できます。

- 「日本語」入力欄に入力する場合
  ただし、スーパー大辞林の逆引き、分野別小辞典では利用できません。また、漢字と併用することはできません。
- 「スペル」、「ピンイン」入力欄に入力する場合
  ただし、スペルチェックや成句検索の入力画面では利用できません。

1 **例えばスーパー大辞林の日本語入力欄に「みず？？り」と入れます。**

2 **検索/決定 を押して検索します。**

該当する語がリスト表示されます。

3 **▼、▲で目的の語を選択し 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

“？”、“～”が使えるコンテンツ

- スーパー大辞林（逆引き、分野別除く）
- パーソナルカタカナ語辞典
- ジーニアス英和辞典
- ジーニアス和英辞典
- 中日辞典
- 日中辞典

英単語のスペルチェックをする

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどには、英和辞典のスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

1 **英和辞典の入力/選択画面で「英和スペルチェック」を選び 検索/決定 を押します。**

スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 **単語のスペル（例：「skate」）を入れ 検索/決定 を押します。**

検索が開始され、入力したスペルと一致した単語、または類似した単語がリスト表示されます。

3 **目的の単語（またはそう思われるもの）を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

▶参考◀

- **スペルチェック機能について**
  - 入力したスペルと一致する単語があると、リスト内の「該当：」欄に表示され、類似した単語は「候補：」欄に表示されます。
- **思った単語がなかなか出てこない**
  - 入力したスペルにより、検索に時間がかかることがあります。
  - 該当語や候補がないときは「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。入力したスペルを変更して再度検索をしてみてください。
- **検索を停止する**
  - 検索中に 検索/決定 を押すと検索が停止して、検索した候補が表示されます。その候補を選べば意味などが表示されます。候補リスト画面に戻るときは 戻る を押します。検索を再開するときは候補リスト画面で 戻る を押します。

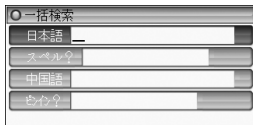
複数の辞書から調べる（一括検索）

複数のコンテンツ（辞書など）から言葉を調べることができます。

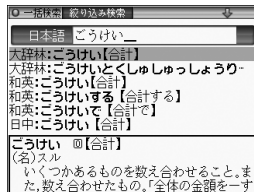
- 入力に“～”や“？”を使用することもできます（☞40ページ）。

【例】「ごうけい」を一括検索します。

1 **一括検索 を押します。**

一括検索の入力画面が表示されます。

入力欄は、入力する文字種に合わせて▼、▲で選びます。

2 **日本語入力欄に「ごうけい」を入れます。**

候補が絞り込まれていきます。

3 **▼、▲で目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）

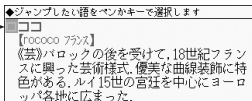
詳細画面に表示されている言葉を、コンテンツ間を飛び越えて調べます。

- 日本語や中国語の漢字、ひらがな、カタカナの語は、範囲指定して調べます。
- 英単語やピンイン、ジャンプマーク（➡）が示す語は、カーソルキーで選んで調べます。

1 **例えば メニュー を押し「国語系」から「パーソナルカタカナ語辞典」を選んで「ロココ」と入れ、検索/決定 を押して詳細画面にします。**

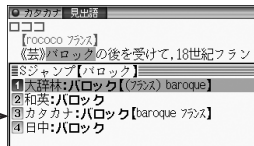
2 **詳細画面で Sジャンプ を押します。**

■カーソルを表示します →

◆ジャンプしたい語をペンかキーで選択します
■ココ
【rococo ﾌﾗﾝｽ】
《芸》バロックの後を受けて，18世紀フランスに興った芸術様式．優美な曲線装飾に特色がある．ルイ15世の宮廷を中心にヨーロッパ各地に広まった．

3 **調べたい語を選びます。**

「バロック」を範囲指定する場合

- 先頭文字「バ」にカーソル "■" を移して 検索/決定 を押します。続いて ▶ で最後尾の文字「ク」までカーソルを移して 検索/決定 を押します（1文字の指定では最後尾へのカーソル移動は不要です）。
- タッチ操作では先頭の「バ」から最後尾の「ク」までをドラッグします。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

- 範囲指定は、46ページも参照ください。
- 指定を解除するときは 戻る や クリア を押します。
- 手順2の前に画面のドラッグで範囲指定をすると、機能選択画面（☞40ページ）が表示されますので、その中から「Sジャンプ」を選んでジャンプすることもできます。

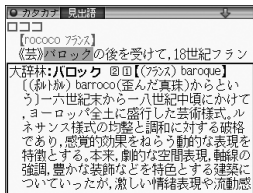
英単語や ➡ マークが示す語を指定する場合

カーソルをその語に移し（☞46ページ）［検索/決定］を押します。

または、その語にタッチします。

4 **［▼］、［▲］で調べたいコンテンツを選び［検索/決定］を押します。**

ウィンドウに詳細内容が表示されます。

カタカナ 見出語 ⇩
ロココ
【rococo フランス】
《芸》バロックの後を受けて,18世紀フラン
大辞林:**バロック** ②①【(フランス) baroque】
〔(ポルトガル) barroco(歪んだ真珠)からという〕一六世紀末から一八世紀中頃にかけて,ヨーロッパ全土に盛行した芸術様式。ルネサンス様式の均整と調和に対する破格であり,感覚的効果をねらう動的な表現を特徴とする。本来,劇的な空間表現,軸線の強調,豊かな装飾などを特色とする建築についていったが,激しい情緒表現や流動感

画面右上に“⇩”や“⇧”が表示されているときは［∨］、［∧］などでウィンドウ内を送ることができます。

5 **［検索/決定］を押してジャンプします。**

選択した語の詳細画面が表示されます。

参考

- ジャンプウィンドウに表示される候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭に含む語（英単語は一致する語のみ）が表示されます。
  なお ➡ が示す語や、1語だけ一致するときはウィンドウに詳細内容が表示されます。

ジャンプについて

- ジャンプした先の画面で［クリア］を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、［戻る］で最大5回までは戻ることができます。5回を超えてジャンプを重ねた場合、6回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で“➡”マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

➡ マークで示す語や英単語などの選択

- 画面内に“➡”マークで示す語や、英単語、ピンインが表示されている場合は［Sジャンプ］を押すたびに、表示されている“■”カーソルより後の、“➡”マークで示す語、および英単語、ピンインへカーソルが移っていきます。表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。行き過ぎたときは［▲］や［◀］でカーソルを戻してください。

範囲指定について

- “■”カーソルが表示されている場合、漢字、ひらがな、カタカナが連続しているときに範囲指定できます。
- 範囲指定をしているときは画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて表示されていることを確認してから操作をしてください。

一度調べた語を再度調べる（しおりを使う）

各コンテンツでは一度調べた語を“しおり”（履歴）として、新しいものから100件まで自動的に記憶します。もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト（一覧）表示から調べることができます。

1 各コンテンツを選び［機能］［文字サイズ］（しおり）と押します。

しおりリスト画面が表示され、調べた語が、新しいものから順に表示されます。

2 ［▼］、［▲］で目的の語を選び［検索/決定］を押します。

選択した語の詳細画面が表示されます。

▶参考◀

- しおりの表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。
- しおりの記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。

しおりを1件ずつ削除する方法

1 **各コンテンツの画面で 機能 文字サイズ （しおり）と押し、しおりリスト画面にします。**

2 **▼、▲（漢字源は ▶、◀、▼、▲）で削除したい語にカーソルを移して 後退 を押します。**

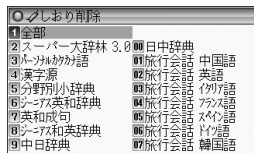
削除の確認画面が表示されます。

3 **Y キーを押します。**

選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

1 **メニュー を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。**

2 **▼、▲で「しおり削除」を選び 検索/決定 を押します。**

3 **▼、▲、▶、◀でしおりを削除するコンテンツ、または「全部」を選び 検索/決定 を押します。**

削除の確認画面が表示されます。

4 **Y キーを押します。**

選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

繰り返し見たい語を登録（単語帳を使う）

各コンテンツで、繰り返し見たい語や覚えたい語などを「単語帳」に登録しておくことができます。

単語帳に語を登録する

1 **登録したい語の詳細画面にします。**

例えば英和辞典の画面で、「text」と入れて 検索/決定 を押します。

2 機能 検索/決定（登録） **と押します。**

詳細画面の語が単語帳に登録されます。

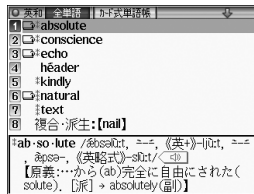
▶参考◀

- 単語帳の詳細画面からは登録できません。
- 単語帳は各コンテンツで最大500件まで登録できます。
- カード式単語帳に登録した語も、単語帳に登録されます。

各コンテンツ画面から登録語を見る

1 **見たいコンテンツの画面（入力/選択画面、詳細画面など）にします。**

2 機能 切替（単語帳） **と押します。**

全単語リスト画面が表示されます。

3 ▼、▲ **で目的の語を選び** 検索/決定 **を押します。**

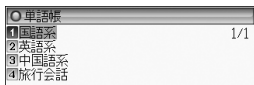
選んだ語の詳細画面が表示されます。

▶参考◀

- データは各コンテンツと同様の順番、または登録順に並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。
- ⊏⊐ マークはカード式単語帳が登録されていることを示します（☞49ページ）。

コンテンツ一覧から登録語を見る

1 **メニュー を押し、「便利機能」から「すべての単語帳を見る」を選びます。**

単語帳がある分類の一覧が表示されます。

2 **▼、▲ で目的の分類を選び 検索/決定 を押します。**

分類内のコンテンツ一覧が表示されます。

3 **同様の操作で目的のコンテンツ、語を選び詳細画面を表示させます。**

カード式単語帳を作成する

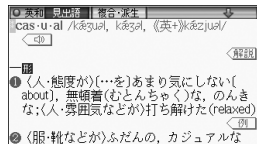
詳細画面の中の覚えたい内容を指定して登録し、単語カードの裏表のように、見出し語と内容を交互に表示させて学習できます。

カード式単語帳を作る

1 **登録したい語の詳細画面にします。**

例えば英和辞典の画面で、「casual」と入れて 検索/決定 を押します。

2 **機能 Sジャンプ** (カード作成) **と押します。**

画面にカーソルが表示されます。

3 **登録する内容を範囲指定します。**

1. ▶、◀、▼、▲ で、範囲の先頭にカーソルを移し 検索/決定 を押します。

2. 続いて[▶]、[◀]で、範囲の最後にカーソルを移し[検索/決定]を押します。

カード式単語帳に登録した旨のメッセージが一時表示されます。

4 **登録範囲を追加するときは手順2 ~ 3を行って追加登録します。**

追加登録メッセージが一時表示されます。

▶参考◀

- カード式単語帳に登録した言葉は、単語帳にも登録されます。
- 範囲指定は画面をドラッグしてもできます。
- 範囲は1回で最大120文字まで指定できます。
- 範囲は1つのデータに10カ所まで指定して登録できます。
- 項目の終わり(改行)を超えて範囲指定することはできません。
- 範囲指定中に[戻る]を押すと指定が解除され、もう一度押すと、カーソル "■" が消えます。
- **登録した内容を削除(解除)するときは**
  先の手順3で、登録されている内容の範囲内にカーソル "■" を移して[後退]を押し、表示される確認メッセージに従って[Y]を押します。

カード式単語帳を使う

1. 見出し語→内容表示

見出し語を問題、内容を答として表示します。

1 **48ページ右項目の手順1、2の操作で全単語リスト画面を表示させます。**

2 **[切替]を押してカード式単語帳リスト画面にします。**

- 単語帳で□マークが付いた語のみが表示されます。

3 **[▼]、[▲]で見出し語を選び[検索/決定]を押します。**

見出し語が問題として画面に表示されます。

- 答え(見出し語の内容(意味))を考えます。

4 **[検索/決定]を押して内容を表示させ、考えた答えと合っているか確認します。**

5 **[検索/決定]を押して次の問題を表示させ、**

意味などを考え、確認していきます。

▶参考◀

- 問題（見出し語）の画面では[▶]、[◀]で次や前の問題を表示させることができます。
- 見出し語や内容を表示している画面で[戻る]を押すとカード式単語帳リスト画面に戻ります。
- 内容の画面では音声再生ができません。見出し語に[🔊]が付いているときのみ再生できます。

2. 内容→見出し語表示

内容を問題、見出し語を答として表示します。

1 前記手順3の操作の後、[切替]を押します。

内容が問題として画面に表示されます。

2 前記手順4、5と同様の操作で、内容に対する見出し語を答えていきます。

▶参考◀

- 問題（内容）の画面では[▶]、[◀]で次や前の問題を表示させることができます。
- 見出し語や内容を表示している画面で[切替]を押すと、「見出し語→内容表示」に戻ります。

単語帳を削除（登録を解除）する

単語帳を１件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの全単語リスト画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]（漢字源は[▶]、[◀]、[▼]、[▲]）で削除したい語にカーソルを移して[後退]を押します。

削除の確認画面が表示されます。

3 [Y]キーを押します。

選択した語が削除されます。

▶参考◀

- 単語帳の詳細画面で[後退]を押しても削除することができます。
- 単語帳データを削除しても、元の辞書データなどは消えません。
- 🗀マーク付きの単語帳データを削除すると、カード式単語帳には表示されなくなります。

カード式単語帳を１件ずつ削除する方法

1 前の手順1の後、〔切替〕を押してカード式単語帳リスト画面にします。

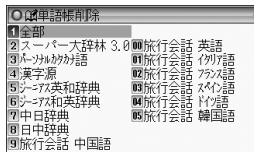
2 削除したい語にカーソルを移して〔後退〕を押し〔Y〕キーを押します。

▶参考◀

- カード式単語帳を削除しても単語帳のデータは削除されません。単語帳データも削除するときは、全単語リスト画面で削除してください。

単語帳をまとめて削除する方法

1 〔メニュー〕を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 〔▼〕、〔▲〕で「単語帳削除」または「カード式単語帳削除」を選び〔検索/決定〕を押します。

3 〔▼〕、〔▲〕、〔▶〕、〔◀〕でコンテンツ、または「全部」を選び〔検索/決定〕を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 〔Y〕キーを押します。

▶参考◀

- 手順2で「単語帳削除」を選ぶと「カード式単語帳」を含んだ単語帳データが削除されます。

画像から説明内容を探す

スーパー大辞林に収録されている画像から、説明内容を探すことができます。

1 **メニュー を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。**

2 **「画像から探す」を選び、分野(例えば「動物」)、見たい項目(例えば「哺乳類」)を選んでいき、画像を表示させます。**

3 **∨ ∧ や ▼ ▲ で目的の画像を表示させます。**

4 **検索/決定 を押し、説明などを表示させます。**

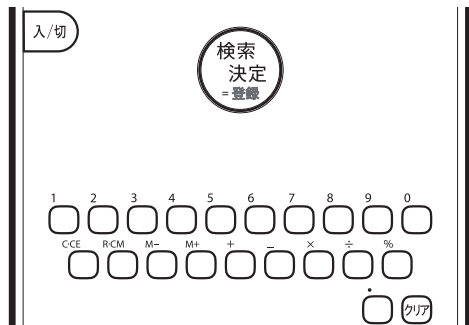
5 **∨、▼ などで画面を送り説明などを読みます。**

注意

- 「画像から探す」で表示される画像は、コンテンツに含まれる画像の中から抜粋しています。すべてを表示することはできません。

電卓機能を使う

電卓機能では、普通の四則計算の他に、消費税の計算ができます。

電卓で主に使うキー

電卓（消費税電卓）で計算する

12桁までの加減乗除、税込/税抜計算、メモリー計算などができます。
消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

1 **［メニュー］を押し「便利機能」から「電卓」を選びます。**

電卓画面が表示されます。

- 消費税率の変更は、電卓画面で［△］を押すと表示される画面で税率を入れ、［検索/決定］を押し設定します。

▶参考◀

計算を始める前に

- 始めに［R·CM］［R·CM］［クリア］と押してメモリーと表示をクリアしてから計算してください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください（☞前記）。
- 最初が負数の計算は、減算記号（［－］）をマイナス記号として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは［C·CE］を押して、もう一度入れ直してください。
- 計算の途中や結果を示すため、画面に =、M+、M−、+、−、×、÷ が表示されますが、以降の計算例では、これらは省略しています。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示され、その後の計算ができなくなります。［C·CE］でエラーを解除してください。次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例：4567890123［×］
4560［=］　E 20.8295789608
［C·CE］　20.8295789608
↑兆の位

計算例・キー操作	表示(答)
加減乗除算	
● (−24) ÷ 4 − 2 =	
クリア − 24 ÷ 4 − 2 =	− 8.
定数計算	
● 34 + 57 = 　34 + 57 =	91.
45 + 57 = 　45 =	102.
（加数が定数となります）	
● 68 × 25 = 　68 × 25 =	1'700.
68 × 40 = 　40 =	2'720.
（被乗数が定数となります）	
パーセント計算	
● 200の10%は？　200 × 10 %	20.
● 9は36の何%　9 ÷ 36 %	25.
割増・割引計算	
● 200の10%増しは？	
200 + 10 %	220.
(または 200 × 10 % + =)	
● 500の20%引きは？	
500 − 20 %	400.
(または 500 × 20 % − =)	

計算例・キー操作	表示(答)
べき乗計算	
● $4^6 = (4^3)^2 =$	
4 × = = × =	4'096.
逆数計算	
● 1/8 = 　8 ÷ =	0.125
税込計算・税抜計算	
● 25000円の	
税込額（5%）は？　25000 ◀	税込 26'250.
税額（5%）は？　◀	税額 1'250.
● 税込額が1050円と525円の	
合計額は？　1050 + 525 =	1'575.
税抜額（5%）は？　▶	税抜 1'500.
税額（5%）は？　▶	税額 75.

● − キーは $\bar{\text{H}}$ を押します。

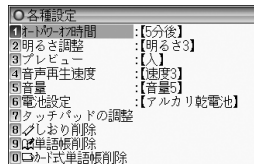
計算例	キー操作	表示(答)
メモリー計算		
●(累計)	[R·CM] [R·CM]※	
25 × 5=	25 [×] 5 [M+]	M 125.
−) 84 ÷ 3=	84 [÷] 3 [M−]	M 28.
+) 68 +17=	68 [+] 17 [M+]	M 85.
(計) =	[R·CM]	M 182.
●(定数記憶)	[R·CM] [R·CM]※	
	12 [+] 14 [M+]	M 26.
35×(12+14)=	35 [×] [R·CM] [=]	M 910.
(12+14)÷5=	[R·CM] [÷] 5 [=]	M 5.2

※計算の前にメモリーを消去します。
メモリーに0以外の数値が入ると、"M" が表示されます。
[M+]、[M−] は [=] の働きもかねています。

各種設定

使いやすく設定を変える方法を説明します。

1 **[メニュー]を押し「便利機能」から「各種設定」を選びます。**

各種設定リスト画面が表示されます。

2 **[▼]、[▲]で各項目を選び[検索/決定]を押す。または、項目左の番号を数字キーで選びます。**

各設定画面などが表示されます。

以降、各種設定リストの選択操作は、次のように説明します。
例：各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び[検索/決定]を押します。

▶参考◀

- 各種設定リスト画面からメインメニュー画面に戻るときは[戻る]を押します。
- しおり削除は、47ページをご覧ください。
- 単語帳削除、カード式単語帳削除は、52ページをご覧ください。

オートパワーオフ時間の設定

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を設定します。

1 各種設定リスト画面で「オートパワーオフ時間」を選び[検索/決定]を押します。

オートパワーオフ時間設定画面が表示されます。

2 [▼]、[▲]で"✔"を移動させて時間を選び[検索/決定]を押します。

時間が設定されリスト画面に戻ります。

表示の明るさの調整

1 各種設定リスト画面で「明るさ調整」を選び[検索/決定]を押します。

明るさ調整画面が表示されます。

2 [◀]、[▶]や数字キー([1]～[5])で明るさを調整し[検索/決定]を押します。

明るさが設定されリスト画面に戻ります。

▶参考◀

- 約30秒間(音声再生中は約5秒間)キーを操作しないと画面が"明るさ1"相当になります。画面にタッチまたは何かキーを押せば戻ります。

プレビュー表示の入/切の設定

プレビュー表示(☞35ページ)を設定します。

1 各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び[検索/決定]を押します。

プレビュー設定画面が表示されます。

2 [▼]、[▲]で"✔"を移動させて入/切を選び[検索/決定]を押します。

入/切が設定されリスト画面に戻ります。

音声再生速度の設定

音声再生時の速さを設定します。

1 **各種設定リスト画面で「音声再生速度」を選び [検索/決定] を押します。**

音声再生速度設定画面が表示されます。

2 **[▼]、[▲] で "✔" を移動させて速度を選び [検索/決定] を押します。**

速度が設定されリスト画面に戻ります。

音量の設定

1 **各種設定リスト画面で「音量」を選び [検索/決定] を押します。**

音量設定画面が表示されます。

2 **[◀]、[▶] や数字キー([0]〜[9])で音量を設定し [検索/決定] を押します。**

音量が設定されリスト画面に戻ります。

使用する電池の設定

使用する電池を乾電池から充電池に交換したときや、充電池から乾電池に交換したときは、電池設定をしてください。

注意

市販の充電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

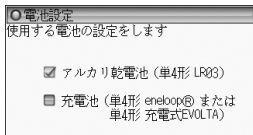
- 充電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®(エネループ)またはパナソニック株式会社製の単4形 充電式EVOLTA(エボルタ)をご使用ください。
  これ以外の充電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電池をご使用の際は、充電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

1 **各種設定リスト画面で「電池設定」を選び [検索/決定] を押します。**

電池設定画面が表示されます。

○電池設定
使用する電池の設定をします

☑ アルカリ乾電池（単4形 LR03）

□ 充電池（単4形 eneloop® または
単4形 充電式EVOLTA）

2 **[▼]、[▲]で使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電池」）を選び[検索/決定]を押します。**

使用する電池が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

▶参考◀

- 使用する電池と、上記の設定が一致していないと、電池残量検出が正しく行われないことがあります。

タッチパッドの調整

タッチパッド（表示部）は、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があり、このずれが小さくなるように調整します。

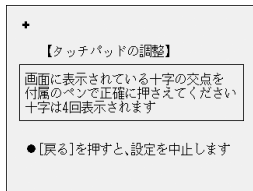
1 **各種設定リスト画面で「タッチパッドの調整」を選び[検索/決定]を押します。**

タッチパッドの調整画面が表示され、左上に＋マークが表示されます。

＋

【タッチパッドの調整】

画面に表示されている十字の交点を
付属のペンで正確に押さえてください
十字は4回表示されます

●[戻る]を押すと、設定を中止します

2 **付属のタッチペンで ＋ マークの中心（線の交点）に正確にタッチして離します。**

タッチして離すと別の所に ＋ が表示されるので同様にタッチします。＋ は4カ所に表示されます。調整が終わると各種設定リスト画面に戻ります。

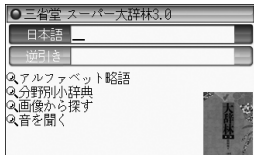
コンテンツ説明編

◎●○◎

国語系

三省堂 スーパー大辞林

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

逆引き

調べたい言葉の後ろにつく文字（例：「つばき」）を入れます。

アルファベット略語

調べたい略語のスペルを入れる。または項目を選びます。

分野別小辞典

分類：人名　地名　作品名　季語　慣用句

人名　地名　作品名　季語
項目を選択後、調べたい言葉の読みを入れます。

慣用句

読み　慣用句の読みの先頭2文字を入れます。

キーワード　慣用句に含まれる言葉を3種類まで入れます。

画像から探す

分野を選んでいって画像を表示させ ▼、▲ などで目的の画像を探します。
画像を表示させて 検索/決定 を押すと説明などが表示されます。

音を聞く

クラシック音楽のさわり、鳥の鳴き声、虫の鳴き声、その他が収録されています。
各項目を選んでいって再生させます。再生中に 検索/決定 を押すと説明などが表示されます。

▶参考◀

- **見出し語**

スーパー大辞林3.0では関係のある言葉が検索できるように、いくつかの見出し語で工夫がされています。

例 「篭」を入力すると「籠」がリストに表示される。

※篭は籠の異体字です。

- **類語表示**

スーパー大辞林3.0には類語が収録されている見出し語があります。意味の似た言葉や関係のある言葉を表示するので、別の言葉に言い換えたいときなどに役立ちます。

収録音声データ著作権保有者

クラシック音楽：
© 2007 Naxos Japan, Inc.

鳥・虫などの鳴き声：
© 2007 上田秀雄ネイチャーサウンド

分野別小辞典のグループ一覧

<table>
<tr><th>分野名</th><th colspan="3">グループ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">人名</td><td>日本</td><td colspan="2">そのほかの外国</td></tr>
<tr><td>中国・朝鮮</td><td colspan="2">神話・伝説</td></tr>
<tr><td rowspan="4">地名</td><td>日本(全国)</td><td>中部地方</td><td>九州地方</td></tr>
<tr><td>北海道</td><td>近畿地方</td><td>中国・朝鮮</td></tr>
<tr><td>東北地方</td><td>中国地方</td><td>そのほかの外国</td></tr>
<tr><td>関東地方</td><td>四国地方</td><td>極地・海洋</td></tr>
<tr><td rowspan="11">作品名</td><td rowspan="5">日本</td><td>文学</td><td>能・狂言・民俗芸能(中世)</td></tr>
<tr><td>思想書・宗教書・記録など</td><td>絵画・絵巻</td></tr>
<tr><td>映画・演劇</td><td>仏像・彫刻・建築物</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>新聞</td></tr>
<tr><td>歌舞伎・浄瑠璃・邦楽(近世)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">中国・朝鮮</td><td>文学</td><td>音楽</td></tr>
<tr><td>思想書・宗教書・記録など</td><td>絵画・絵巻</td></tr>
<tr><td>映画・演劇</td><td>新聞</td></tr>
<tr><td rowspan="3">そのほかの外国</td><td>文学</td><td>絵画・絵巻</td></tr>
<tr><td>思想書・宗教書・記録など</td><td>新聞</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="11">季語</td><td colspan="3">春</td></tr>
<tr><td colspan="3">夏</td></tr>
<tr><td colspan="3">秋</td></tr>
<tr><td colspan="3">冬</td></tr>
<tr><td colspan="3">新年</td></tr>
<tr><td>時候</td><td colspan="2" rowspan="6">春
夏
秋
冬
新年</td></tr>
<tr><td>天文</td></tr>
<tr><td>地理</td></tr>
<tr><td>人事</td></tr>
<tr><td>動物</td></tr>
<tr><td>植物</td></tr>
</table>

パーソナルカタカナ語辞典

読み

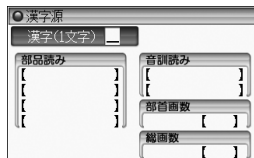
調べたい言葉の読みを入れます。

アルファベット略語集　スペル

調べたい語のスペルを入れます。

漢字源（改訂第五版）

漢字（1文字）

手書き画面で漢字を手書き入力して調べます。

熟語を調べる

漢字の詳細画面で、上部に熟語タブが表示されているときは［切替］を押して熟語を表示させ、調べることができます。

部品読み

漢字を構成する部品の読みを1～4種入れます。例えば「辞」は次のような部品に分けることができます。

【例】「舌」 した、ぜつ、したへん
「辛」 からい、つらい、しん、かのと
「立」 たつ、りつ、りゅう、りっとる
「十」 じゅう、とお
どの読みを入れても検索できます。

音訓読み

漢字の音読み、または訓読みを入れます。

部首画数

部首の画数を入れて部首を選び、漢字を調べます。

総画数

総画数を入れます。

これら４つを組み合わせて調べることもできます。

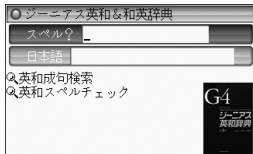
▶参考◀

- **筆順を見るとき**
  詳細画面に「筆順：〈図」が表示されている画面で[例/解説/図]を押して〈図を反転表示させ[検索/決定]を押します。（☞37ページ）

英語系

ジーニアス英和＆和英辞典

スペル（英和辞典）

調べたい単語のスペルを入れます。

日本語（和英辞典）

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。

英和成句検索

3つ以内の単語（スペル）を入れ、それらをすべて含んだ成句（熟語）を調べます。

英和スペルチェック

確信がもてない単語（スペル）を入れ、該当する単語を英和辞典で調べます。

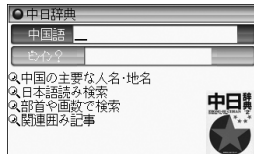
▶参考◀

- プラス マークは追加された「ジーニアス用例プラス」の例文を示します。

中国語系

中日辞典

中国語

調べたい中国漢字（簡体字）を手書き入力します。

ピンイン

調べたい言葉（漢字）のピンインを入力します。

中国の主要な人名・地名

項目を選んでいきます。

日本語読み検索

漢字（親字）を日本語読みするときの読みを入力します。

部首や画数で検索

部首読み：部首の日本語読みを入れて、漢字を調べます。
部首画数：部首画数を入れて部首を選び、漢字を調べます。
総画数：総画数を入れて漢字を調べます。

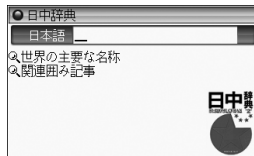
- これらを組み合わせて、漢字を調べることもできます。

関連囲み記事

各項目を選んでいき､囲み記事を調べます。

日中辞典

日本語

日本語の言葉(仮名または漢字)を入力します。

世界の主要な名称

各項目を選んでいきます。

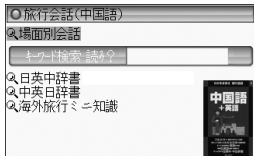
関連囲み記事

各項目を選んでき、囲み記事を調べます。

旅 行

わがまま歩き旅行会話 中国語+英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワード(言葉)の読みを入れます。

日英中辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

中英日辞書

調べたい中国語(簡体字)を手書き入力します。

海外旅行ミニ知識

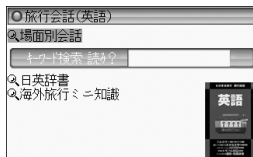
各項目を選びます。

▶参考◀

- 中国語の発音においては、音節の最後に少し舌を巻く「儿化」という現象がしばしば起こります(英語の「r」に近い発音です)。書くときは省略されることが多いですが、発音する際には、「儿化」が起こることがしばしばあります。

わがまま歩き旅行会話 英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワード(言葉)の読みを入れます。

日英辞書

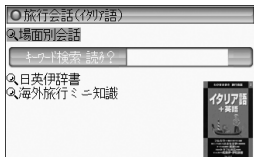
調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

わがまま歩き旅行会話 イタリア語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワード（言葉）の読みを入れます。

日英伊辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

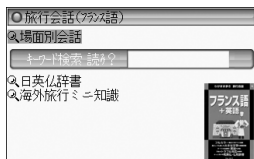
各項目を選びます。

▶参考◀

- イタリア語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。
  (m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性名詞
  (pl)＝複数形
  語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを［ ］内に表記してあります。
  また、イタリア語、フランス語、スペイン語で、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、（ ）内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話 フランス語＋英語

場面別会話

各項目を選んで
いきます。

キーワード検索 読み

キーワード（言葉）の読みを入れます。

日英仏辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

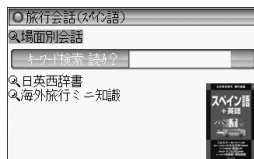
各項目を選びます。

▶参考◀

●68ページの「参考」もお読みください。

わがまま歩き旅行会話 スペイン語＋英語

場面別会話

各項目を選んで
いきます。

キーワード検索 読み

キーワード（言葉）の読みを入れます。

日英西辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

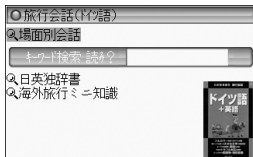
各項目を選びます。

▶参考◀

●68ページの「参考」もお読みください。

わがまま歩き旅行会話 ドイツ語＋英語

場面別会話

各項目を選んで
いきます。

キーワード検索 読み

キーワード（言葉）の読みを入れます。

日英独辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

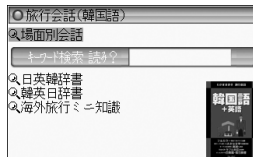
各項目を選びます。

▶参考◀

●68ページの「参考」もお読みください。

わがまま歩き旅行会話 韓国語＋英語

場面別会話

各項目を選んで
いきます。

キーワード検索 読み

キーワード（言葉）の読みを入れます。

日英韓辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

韓英日辞書

調べたい韓国語（ハングル）を入力します。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

コンテンツの凡例

三省堂 スーパー大辞林3.0（凡例）

1. 見出し

1 見出しは現代仮名遣いによる。
2 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で表示。
3 見出しの中の「・」は活用する語の語幹と語尾との区切りを示す。
「○」は、○ 以下が語幹語尾の区別のできない活用語であることを示す。

2. 歴史的仮名遣い

歴史的仮名遣いが見出しと異なる場合は、見出しの次に、異なる部分をひらがなで示した。見出しと一致する部分は — の記号で省略した。

3. アクセント

現代語の見出しには共通語としてのアクセントを示した。
→「この辞書のアクセント表示」参照

4. 表記形

1【　】の中に標準的な書き表し方を示した。
【　】の中の漢字が「常用漢字表」にないものには「▶」、その漢字が「常用漢字表」にはあるが、見出しに相当する音訓が示されていないものには「▷」を付した。「常用漢字表」の「付表」の語は《　》で囲んで示した。
2 送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」の通則に基づいて示した。
3 外来語については【　】の中に綴りを示した。ギリシャ語・梵語等はローマ字綴りに直した。

5. 品詞・活用

1 見出し語の品詞・活用の種類を（　）の中に略語で示した。但し、名詞には品詞表示を省略した。
→「略語・記号一覧」参照
2 動詞には活用の行を示した。
3 主な助動詞には活用を示した。
4 スルは、サ変動詞としての用法があることを示す。

6. 文語形

活用語で口語形と文語形の異なるものは、口語形見出しのあとに文として活用の種類と文語形を示した。

7. 解説

1 現代語として用いられる意味・用法を先に、古語としての意味・用法をあとに記述した。
2 専門用語については〘　〙の中に適宜その分野を示した。
→「略語・記号一覧」参照
3 解説をすべて他の見出しで行なっている場合は➡解説: で示し、参照項目はその見出しを➡で示した。

8. 用例

1 用例は語釈のあとに「　」で囲んで示した。
2 用例中の見出し語に相当する部分は―で略した。
活用語は、語幹の部分を ―・で略した。語幹語尾の区分のできない語は略していない。
3 出典名・作者名は、適宜略称を用いて示した。

9. 漢字見出し

1 熟語として一般によく用いられる漢字を、その漢字の代表字音で配列し、解説した。たとえば、「あ」という代表字音をもつ漢字を【あ】[漢] というタイトルのもとに示してある。

略語・記号一覧

○品詞欄

(名)	名詞
(代)	代名詞
(動五)	動詞五段活用
(動五[四])	動詞口語五段活用・文語四段活用
(動四)	動詞四段活用
(動上一)	動詞上一段活用
(動上二)	動詞上二段活用
(動下一)	動詞下一段活用
(動下二)	動詞下二段活用
(動カ変)	動詞カ行変格活用
(動サ変)	動詞サ行変格活用
(動ナ変)	動詞ナ行変格活用
(動ラ変)	動詞ラ行変格活用
(動特活)	動詞特別活用
(形)	形容詞

(形ク)	形容詞ク活用
(形シク)	形容詞シク活用
(形動)	形容動詞
(形動ナリ)	形容動詞ナリ活用
(形動タリ)	形容動詞タリ活用
(ト/タル)	「～と」(副)「～たる」(連体詞)の形で用いられるもの

(連体)	連体詞	(間投助)	間投助詞
(副)	副詞	(並立助)	並立助詞
(接続)	接続詞	(準体助)	準体助詞
(感)	感動詞	(接頭)	接頭語
(助動)	助動詞	(接尾)	接尾語
(格助)	格助詞	(連語)	連語
(接助)	接続助詞	(枕詞)	枕詞
(副助)	副助詞	スル	サ変動詞の用法
(係助)	係助詞		
(終助)	終助詞		

○専門用語

〔哲〕	哲学	〔心〕	心理学
〔論〕	論理学	〔法〕	法律
〔倫〕	倫理学	〔経〕	経済
〔仏〕	仏教	〔教〕	教育
〔言〕	言語学	〔医〕	医学
〔生〕	生物学	〔気〕	気象学
〔数〕	数学	〔電〕	電気工学
〔物〕	物理学	〔機〕	機械工学
〔化〕	化学	〔建〕	建築
〔天〕	天文学	〔音〕	西洋音楽
〔地〕	地学	〔美〕	美学・美術

○記号

0 1 2 3	… アクセント
《 》	主に使用する漢字
文	文語形
季	季語
[可能]	可能動詞
[派生]	派生語
[慣用]	慣用句
[表記]	同訓の漢字の使い分け
➡対義語:	対義語
➡	参照項目
➡解説:	解説
➡類語:	類語

アクセント表示

(1) 見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他特殊な専門用語、および付属語には原則として示さな

かった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合が薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。

(2) 本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。

(3) アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを[1][2][3]・・・によって示した。低くならない語は[0]とした。動詞・形容詞など活用する語は、見出し語としての終止形のアクセントのみを示した。また「十人十色」(ジューニン・トイロ)(傍線の部分を高く発音する)などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは[1]−[1]のように示した。
なお、例えば「うらとりひき」では[3][4]と示しているが、これは、[3]にアクセントがある場合も、[4]にアクセントがある場合もある、ということを示している。

○この辞書のアクセント表示

- 日本語のアクセントは、単語を発音するときに、その単語の中の個々の「拍」を高く発音するか低く発音するかによって決まる。「拍」というのは日本語の音の長さの単位で、「シャ・チュ・キョ」などの拗音はカナ２字で１拍である。現在、東京の言葉を基盤として日本全国で共通に使われている「全国共通語」では、アクセントの種類は、語の拍数によって決まっている。
- アクセントの種類は大きく「平板式」と「起伏式」とに分けられる。
- 共通語ではすべての単語において、１拍目と2拍目との間に音の高低の変化がある。
- 平板式は2拍目で高くなったあと、高低の変化がなく、アクセントは一種類だけである。
- 起伏式は、音が低くなったあとに続く部分には音の高低の変化がない。起伏式をさらに細かく分けるときは、1拍目だけ高く、あとは低いものを「頭高型」といい、2拍語で2拍目が高くその語に続いて発音される助詞などは低い場合など、単語の最後の拍が高くてそのあとで音が低くなるものを「尾高型」、その他の起伏式のアクセントを「中高型」という。
- 動詞・形容詞など「活用のある語」は、活用形によってアクセントがかわる。

図　日本語のアクセントの型

	平板式	起伏式					
		頭高型	中高型・尾高型（　）				
	0	1	2	3	4	5	6
一拍語	ナ 名	キ 木					
二拍語	ミズ 水	アキ 秋	ハナ 花				
三拍語	カイシャ 会社	デンキ 電気	オカシ お菓子	オトコ 男			
四拍語	ダイガク 大学	ブンガク 文学	ユキグニ 雪国	サイジキ 歳時記	オトオト 弟		
五拍語	チュウゴクゴ 中国語	シャアベット シャーベット	フキュウリツ 普及率	ヤマノボリ 山登り	コガタバス 小型バス	モモノハナ 桃の花	
六拍語	ケンブツニン 見物人	ケンモホロロ けんもほろろ	オマワリサン お巡りさん	キンコンシキ 金婚式	コクゴジテン 国語辞典	タンサンガス 炭酸ガス	ジュウイチガツ 十一月

0 平板式：二拍目で高くなってから高低の変化がない
1 起伏式・頭高型：一拍目だけ高く、あとは低い
2 起伏式・中高（尾高）型：二拍目だけ高く、あとは低い
3 起伏式・中高（尾高）型：二〜三拍目が高く、あとは低い
4 起伏式・中高（尾高）型：二〜四拍目が高く、あとは低い
5 起伏式・中高（尾高）型：二〜五拍目が高く、あとは低い
6 起伏式・中高（尾高）型：二〜六拍目が高く、あとは低い

【文節・活用形のアクセント例】

- 本辞典では、現代語のほとんどの項目にアクセントを示してある。しかし、実際に発音されるときは、助詞・助動詞や接辞を伴ったり、活用形であったりすることが多い。ここには文節の形や活用形の場合のアクセントのおもな例を掲げた。傍線は高く発音する部分であり、⌝ のところで下がることを示す。

平板式名詞「みず〔水〕」

ミズサエ　水さえ
ミズシカ　水しか
ミズスラ　水すら
ミズダ　水だ
ミズダソーダ　水だそうだ
ミズダロー　水だろう
ミズデショー　水でしょう
ミズデス　水です
ミズデワ　水では
ミズナド　水など
ミズニワ　水には
ミズノ　水の
ミズバカリ　水ばかり
ミズマデ　水まで
ミズヨリ　水より

起伏式名詞「よる〔夜〕」

ヨルサエ　夜さえ
ヨルシカ　夜しか
ヨルスラ　夜すら
ヨルダ　夜だ
ヨルダソーダ　夜だそうだ
ヨルダロー　夜だろう
ヨルデショー　夜でしょう
ヨルデス　夜です
ヨルデワ　夜では
ヨルナド　夜など
ヨルニワ　夜には
ヨルノ　夜の
ヨルバカリ　夜ばかり
ヨルマデ　夜まで
ヨルヨリ　夜より

平板式動詞「くらべる〔比べる〕」

クラベ（クラベ）　比べ（連用形）
クラベサセル　比べさせる
クラベヅライ　比べづらい
クラベタ　比べた
クラベタイ　比べたい
クラベタリ　比べたり
クラベテ　比べて
クラベナイ　比べない
クラベナガラ　比べながら
クラベニクイ　比べにくい
クラベマス　比べます
クラベヨ　比べよ
クラベヨー　比べよう
クラベラレル　比べられる
クラベル　比べる（終止形・連体形）
クラベルカラ　比べるから
クラベルケレド　比べるけれど
クラベルソーダ　比べるそうだ
クラベルダロー　比べるだろう
クラベルデショー　比べるでしょう
クラベルナ　比べるな（禁止）
クラベルノデ　比べるので
クラベルホド　比べるほど
クラベルヨーダ　比べるようだ
クラベルラシイ　比べるらしい
クラベレバ　比べれば
クラベロ　比べろ
クラベワ　比べは（しない）

起伏式動詞「しらべる〔調べる〕」

シラベ　調べ(連用形)
シラベサセル　調べさせる
シラベヅライ　調べづらい
シラベタ　調べた
シラベタイ　調べたい
シラベタリ　調べたり
シラベテ　調べて
シラベナイ　調べない
シラベナガラ　調べながら
シラベニクイ　調べにくい
シラベマス　調べます

シラベヨ (シラベヨ)　調べよ
シラベヨー　調べよう
シラベラレル　調べられる
シラベル　調べる(終止形・連体形)
シラベルカラ　調べるから
シラベルケレド　調べるけれど
シラベルソーダ　調べるそうだ
シラベルダロー　調べるだろう
シラベルデショー　調べるでしょう
シラベルナ　調べるな(禁止)
シラベルノデ　調べるので
シラベルホド　調べるほど
シラベルヨーダ　調べるようだ
シラベルラシイ　調べるらしい
シラベレバ　調べれば
シラベロ　調べろ
シラベワ　調べは (しない)

平板式形容詞「つめたい〔冷たい〕」
ツメタイ　冷たい(終止形・連体形)
ツメタイカラ　冷たいから
ツメタイケレド　冷たいけれど
ツメタイシ　冷たいし
ツメタイソーダ　冷たいそうだ
ツメタイダロー　冷たいだろう
ツメタイデショー　冷たいでしょう
ツメタイデス　冷たいです
ツメタイト　冷たいと
ツメタイナ　冷たいな
ツメタイノ　冷たいの
ツメタイノデ　冷たいので
ツメタイバカリ　冷たいばかり
ツメタイホド　冷たいほど
ツメタイヤラ　冷たいやら
ツメタイヨーダ　冷たいようだ
ツメタイラシイ　冷たいらしい
ツメタカッタ　冷たかった
ツメタガル　冷たがる
ツメタカロー　冷たかろう
ツメタク　冷たく(連用形)
ツメタクテ　冷たくて
ツメタクナイ　冷たくない

ツメタクワ　冷たくは
ツメタゲ　冷たげ
ツメタケレバ　冷たければ
ツメタサ　冷たさ
ツメタソーダ　冷たそうだ

起伏式形容詞「うれしい〔嬉しい〕」
ウレシイ　嬉しい(終止形・連体形)
ウレシーカラ　嬉しいから
ウレシーケレド　嬉しいけれど
ウレシーシ　嬉しいし
ウレシーソーダ　嬉しいそうだ
ウレシーダロー　嬉しいだろう
ウレシーデショー　嬉しいでしょう
ウレシーデス　嬉しいです
ウレシート　嬉しいと
ウレシーナ　嬉しいな
ウレシーノ　嬉しいの
ウレシーノデ　嬉しいので
ウレシーバカリ　嬉しいばかり
ウレシーホド　嬉しいほど
ウレシーヤラ　嬉しいやら
ウレシーヨーダ　嬉しいようだ
ウレシーラシイ　嬉しいらしい
ウレシカッタ　嬉しかった
ウレシガル　嬉しがる
ウレシカロー　嬉しかろう
ウレシク　嬉しく(連用形)
ウレシクテ　嬉しくて
ウレシクナイ　嬉しくない
ウレシクワ　嬉しくは
ウレシゲ　嬉しげ
ウレシケレバ　嬉しければ
ウレシサ　嬉しさ
ウレシソーダ　嬉しそうだ

スーパー大辞林 付表・絵図

スーパー大辞林の付表・絵図の一部を収録しています。参考にしてください。なお、これらは横に寝かせて配置しています。

【付表】

足利
アメリカ合衆国
アルカン
アルキル基
アルキン
アルケン
院政
干支
江戸幕府（将軍）
江戸幕府（職制）
炎色反応
蔭位
音名
海溝
賀寿
華氏温度
歌舞伎十八番
鎌倉幕府（将軍）
鎌倉幕府（職制）
川
桓武平氏
強弱記号
ギリシャ文字
ギリシャ神話
結婚記念式
県花
県鳥
県木
建武の新政
黄道十二宮
五胡十六国
こそあど
五代十国
西国三十三所
雑節
三角関数
十干
執権
十三仏
十二支
四天王
十二神将
四等官
尺貫法
出世魚
自律神経
正史
清和源氏
速度標語
誕生石
月
東海道五十三次
二十四番花信風
二十四節気
二十八宿
日本十進分類法
女房詞
年齢
発想標語
ビタミン欠乏症
比熱
物理量
符牒
湖
北条
無限級数
室町幕府（将軍）
室町幕府（職制）
ヤード-ポンド法
六国史
律令制
ローマ数字
六曜
両統迭立

【絵図】

アルキメデスの螺線
極座標
インボリュート曲線
三角関数
三垂線の定理
クラインの壺
円錐曲線
コッホ曲線
指数関数
正弦曲線
正十二面体
正二十面体
正接曲線
双曲線
双曲面
対数関数
対数螺線
楕円
楕円面
同位角
放物線
放物面
余弦曲線
螺線
螺線面
ロジスティック曲線

［足利］（略系図）

（）数字は将軍就任順
○数字は鎌倉公方就任順

【アメリカ合衆国】

［アメリカ合衆国］（州一覧）

州区分	州都
北東部	
コネチカット	ハートフォード
ニューハンプシャー	コンコード
バーモント	モントピーリア
マサチューセッツ	ボストン
メーン	オーガスタ
ロードアイランド	プロビデンス
東部	
ウエストバージニア	チャールストン
デラウェア	ドーバー
ニュージャージー	トレントン
ニューヨーク	オールバニ
ノースカロライナ	ローリー
バージニア	リッチモンド
ペンシルバニア	ハリスバーグ
メリーランド	アナポリス
南東部	
サウスカロライナ	コロンビア
ジョージア	アトランタ
フロリダ	タラハッシー
中西部	
アイオワ	デモイン
イリノイ	スプリングフィールド
インディアナ	インディアナポリス
ウィスコンシン	マディソン
オハイオ	コロンバス
カンザス	トピーカ
サウスダコタ	ピーア
ネブラスカ	リンカーン
ノースダコタ	ビスマーク
ミシガン	ランシング
ミズーリ	ジェファーソンシティー
ミネソタ	セントポール
南部	
アーカンソー	リトルロック
アラバマ	モンゴメリー
オクラホマ	オクラホマシティー
ケンタッキー	フランクフォート
テキサス	オースティン
テネシー	ナッシュビル
ミシシッピ	ジャクソン
ルイジアナ	バトンルージュ
西部	
アイダホ	ボイシ
アリゾナ	フェニックス
コロラド	デンバー
ニューメキシコ	サンタフェ
ネバダ	カーソンシティー
モンタナ	ヘレナ
ユタ	ソルトレークシティー
ワイオミング	シャイアン
太平洋岸部	
オレゴン	セーレム
カルフォルニア	サクラメント
ワシントン	オリンピア
本土外	
アラスカ	ジュノー
ハワイ	ホノルル

【アルカン】

［アルカン（メタン系炭化水素）］

名称	化学式	沸点(°C)
メタン	CH_4	−161
エタン	CH_3CH_3	−89
プロパン	$CH_3CH_2CH_3$	−42
ブタン	$CH_3(CH_2)_2CH_3$	−1
ペンタン	$CH_3(CH_2)_3CH_3$	36
ヘキサン	$CH_3(CH_2)_4CH_3$	69
ヘプタン	$CH_3(CH_2)_5CH_3$	98
オクタン	$CH_3(CH_2)_6CH_3$	126
ノナン	$CH_3(CH_2)_7CH_3$	151
デカン	$CH_3(CH_2)_8CH_3$	174

【アルキル基】

［アルキル基］

メチル基	CH_3-	ヘキシル基	$C_6H_{13}-$
エチル基	C_2H_5-	ヘプチル基	$C_7H_{15}-$
プロピル基	C_3H_7-	オクチル基	$C_8H_{17}-$
ブチル基	C_4H_9-	ノニル基	$C_9H_{19}-$
ペンチル基	$C_5H_{11}-$	デシル基	$C_{10}H_{21}-$

【アルキン】

［アルキン（アセチレン系炭化水素）］

名称	慣用名	化学式	沸点(°C)
エチン	アセチレン	$HC\equiv CH$	−74
プロピン	メチルアセチレン	$CH_3C\equiv CH$	−23
1-ブチン	エチルアセチレン	$CH_3CH_2C\equiv CH$	8
2-ブチン	ジメチルアセチレン	$CH_3C\equiv CCH_3$	27
1-ペンチン	プロピルアセチレン	$CH_3(CH_2)_2C\equiv CH$	40
2-ペンチン	エチルメチルアセチレン	$CH_3CH_2C\equiv CCH_3$	56

【アルケン】

［アルケン（エチレン系炭化水素）］

名称	慣用名	化学式	沸点（℃）
エテン	エチレン	$CH_2{=}CH_2$	−104
プロペン	プロピレン	$CH_2{=}CHCH_3$	−47
1-ブテン	1-ブチレン	$CH_2{=}CHCH_2CH_3$	−6
シス-2-ブテン	2-ブチレン	$CH_3CH{=}CHCH_3$	4
トランス-2-ブテン	2-ブチレン	$CH_3CH{=}CHCH_3$	1
2-メチルプロペン	イソブチレン	$CH_2{=}C(CH_3)_2$	−7

【院政】

［院政①］

上皇	天皇	院政期間	上皇	天皇	院政期間
白河	堀河・鳥羽・崇徳	1086〜1129	後伏見	花園	1313〜1318
鳥羽	崇徳・近衛・後白河	1129〜1156	後宇多	後醍醐	1318〜1321
後白河	二条・六条・高倉	1158〜1179	後伏見	光厳	1331〜1333
高倉	安徳	1180	光厳	光明・崇光	1336〜1351
後白河	安徳・後鳥羽	1180〜1192	後光厳	後円融	1371〜1374
後鳥羽	土御門・順徳・仲恭	1198〜1221	後円融	後小松	1382〜1393
後高倉	後堀河	1221〜1223	長慶	後亀山	1385頃
後堀河	四条	1232〜1234	後小松	称光・後花園	1412〜1433
後嵯峨	後深草・亀山	1246〜1272	後花園	後土御門	1464〜1470
亀山	後宇多	1274〜1287	後陽成	後水尾	1611〜1617
後深草	伏見	1287〜1298	後水尾	明正・後光明・後西・霊元	1629〜1680
伏見	後伏見	1298〜1301	霊元	東山・中御門	1687〜1732
後宇多	後二条	1301〜1308	光格	仁孝	1817〜1840
伏見	花園	1308〜1313			

【干支】

［干支①］（六十干支表）

1 甲子	2 乙丑	3 丙寅	4 丁卯	5 戊辰	6 己巳
7 庚午	8 辛未	9 壬申	10 癸酉	11 甲戌	12 乙亥
13 丙子	14 丁丑	15 戊寅	16 己卯	17 庚辰	18 辛巳
19 壬午	20 癸未	21 甲申	22 乙酉	23 丙戌	24 丁亥
25 戊子	26 己丑	27 庚寅	28 辛卯	29 壬辰	30 癸巳
31 甲午	32 乙未	33 丙申	34 丁酉	35 戊戌	36 己亥
37 庚子	38 辛丑	39 壬寅	40 癸卯	41 甲辰	42 乙巳
43 丙午	44 丁未	45 戊申	46 己酉	47 庚戌	48 辛亥
49 壬子	50 癸丑	51 甲寅	52 乙卯	53 丙辰	54 丁巳
55 戊午	56 己未	57 庚申	58 辛酉	59 壬戌	60 癸亥

【江戸幕府（将軍）】

［江戸幕府］（将軍）

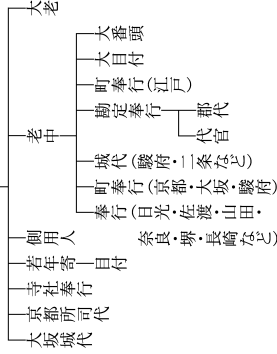
代	将軍氏名	在職年代	没年
1	徳川家康	1603−1605	1616
2	徳川秀忠	1605−1623	1632
3	徳川家光	1623−1651	1651
4	徳川家綱	1651−1680	1680
5	徳川綱吉	1680−1709	1709
6	徳川家宣	1709−1712	1712
7	徳川家継	1713−1716	1716
8	徳川吉宗	1716−1745	1751
9	徳川家重	1745−1760	1761
10	徳川家治	1760−1786	1786
11	徳川家斉	1787−1837	1841
12	徳川家慶	1837−1853	1853
13	徳川家定	1853−1858	1858
14	徳川家茂	1858−1866	1866
15	徳川慶喜	1866−1867	1913

【炎色反応】

［炎色反応］

元素	炎色	青色コバルトガラスを通した色
ルビジウム	深赤	赤紫
セシウム	青紫	紫青
インジウム	藍	紫
タリウム	黄緑	青紫
ナトリウム	黄	無色
カリウム	赤紫	紫
カルシウム	橙赤	橙緑
バリウム	緑	青
ストロンチウム	深赤	紫
銅	青緑	青紫
リチウム	深赤	赤紫
ガリウム	青	紫青
スズ	淡青	淡紫

【江戸幕府（職制）】

［江戸幕府］（職制）

- 将軍
  - 大老
  - 老中
    - 大番頭
    - 大目付
    - 町奉行（江戸）
    - 勘定奉行
      - 郡代
      - 代官
    - 城代（駿府・二条など）
    - 町奉行（京都・大坂・駿府）
    - 奉行（日光・佐渡・山田・奈良・堺・長崎など）
  - 側用人
  - 若年寄
    - 目付
  - 寺社奉行
  - 京都所司代
  - 大坂城代

【蔭位】

［蔭位］

官人	嫡子	庶子	嫡孫	庶孫
一位	従五位下	正六位上	正六位上	正六位下
二位	正六位下	従六位上	従六位上	従六位下
三位	従六位上	従六位下	従六位下	正七位上
正四位	正七位下	従七位上		
従四位	従七位上	従七位下		
正五位	正八位下	従八位上		
従五位	従八位上	従八位下		

【音名】

［音名］（各国の幹音名）

アメリカ イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本
C シー	C ツェー	ut ユット	do ド	ハ
D ディー	D デー	ré レ	re レ	ニ
E イー	E エー	mi ミ	mi ミ	ホ
F エフ	F エフ	fa ファ	fa ファ	ヘ
G ジー	G ゲー	sol ソル	sol ソル	ト
A エイ	A アー	la ラ	la ラ	イ
B ビー	H ハー	si シ	si シ	ロ

【海溝】

［海溝］（世界の主な海溝）

海溝名	最深部(m)
マリアナ海溝	10920
トンガ海溝	10800
フィリピン海溝	10057
ケルマデック海溝	10047
伊豆・小笠原海溝	9780
千島・カムチャツカ海溝	9550
北ニューヘブリデス海溝	9175
ニューブリテン海溝	8940
ヤップ海溝	8646
プエルトリコ海溝	8605
南サンドウィッチ海溝	8325
サンクリストバル海溝	8322
チリ海溝	8170
パラオ海溝	8054
日本海溝	8020
アリューシャン海溝	7679

【賀寿】

［賀寿］

	（数え年）
還暦	六一歳
古希	七〇歳
喜寿	七七歳
傘寿	八〇歳
半寿	八一歳
米寿	八八歳
卒寿	九〇歳
白寿	九九歳
上寿	一〇〇歳

【華氏温度】

［華氏温度］（華氏―摂氏温度換算表）

華氏温度（°F）―摂氏温度（°C）

°F	°C	°F	°C	°F	°C	°F	°C
110	43.33	80	26.67	50	10.00	20	−6.67
108	42.22	78	25.56	48	8.89	18	−7.78
106	41.11	76	24.44	46	7.78	16	−8.89
104	40.00	74	23.33	44	6.67	14	−10.00
102	38.89	72	22.22	42	5.56	12	−11.11
100	37.78	70	21.11	40	4.44	10	−12.22
98	36.67	68	20.00	38	3.33	8	−13.33
96	35.56	66	18.89	36	2.22	6	−14.44
94	34.44	64	17.78	34	1.11	4	−15.56
92	33.33	62	16.67	32	0.00	2	−16.67
90	32.22	60	15.56	30	−1.11	0	−17.78
88	31.11	58	14.44	28	−2.22	−2	−18.89
86	30.00	56	13.33	26	−3.33	−4	−20.00
84	28.89	54	12.22	24	−4.44	−6	−21.11
82	27.78	52	11.11	22	−5.56	−8	−22.22

【歌舞伎十八番】

［歌舞伎十八番］

不破	ふわ
鳴神	なるかみ
暫	しばらく
不動	ふどう
嫐	うわなり
象引	ぞうひき
勧進帳	かんじんちょう
助六	すけろく
外郎売	ういろううり
押戻	おしもどし
矢の根	やのね
景清	かげきよ
関羽	かんう
七つ面	ななつめん
毛抜	けぬき
解脱	げだつ
蛇柳	じゃやなぎ
鎌髭	かまひげ

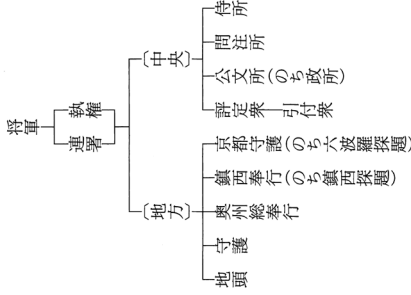
【鎌倉幕府（将軍）】

［鎌倉幕府］（将軍）

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	源頼朝	1192—1199	1199
2	源頼家	1202—1203	1204
3	源実朝	1203—1219	1219
4	九条頼経	1226—1244	1256
5	九条頼嗣	1244—1252	1256
6	宗尊親王	1252—1266	1274
7	惟康親王	1266—1289	1326
8	久明親王	1289—1308	1328
9	守邦親王	1308—1333	1333

【鎌倉幕府（職制）】

［鎌倉幕府］（職制）

- 将軍
  - 執権
  - 連署
    - 〔中央〕
      - 侍所
      - 問注所
      - 公文所（のち政所）
      - 評定衆—引付衆
    - 〔地方〕
      - 京都守護（のち六波羅探題）
      - 鎮西奉行（のち鎮西探題）
      - 奥州総奉行
      - 守護
      - 地頭

【川】

［川］（日本の主な河川）

名称	流域面積(km²)	幹川流路延長(km)
利根川	16,840	322
石狩川	14,330	268
信濃川	11,900	367
北上川	10,150	249
木曾川	9,100	227
十勝川	9,010	156
淀川	8,240	75
阿賀野川	7,710	210
最上川	7,040	229
天塩川	5,590	256
阿武隈川	5,400	239
天竜川	5,090	213
雄物川	4,710	133
米代川	4,100	136
富士川	3,990	128

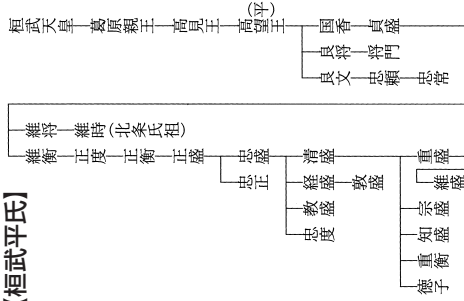
【桓武平氏】

［桓武平氏］（略系図）

- 桓武天皇—葛原親王—高見王—高望王（平）
  - 国香—貞盛
    - 維将—維時（北条氏祖）
    - 維衡—正度—正衡—正盛
      - 忠盛
        - 清盛
          - 重盛—維盛
          - 宗盛
          - 知盛
          - 重衡
          - 徳子
        - 経盛—敦盛
        - 教盛
        - 忠度
      - 忠正
  - 良将—将門
  - 良文—忠頼—忠常

【ギリシャ文字】

［ギリシャ文字］

Α	α	アルファ
Β	β	ベータ
Γ	γ	ガンマ
Δ	δ	デルタ
Ε	ε	エプシロン
Ζ	ζ	ゼータ
Η	η	エータ（イータ）
Θ	θ	テータ（シータ）
Ι	ι	イオタ
Κ	κ	カッパ
Λ	λ	ラムダ
Μ	μ	ミュー
Ν	ν	ニュー
Ξ	ξ	クシー（クサイ）
Ο	ο	オミクロン
Π	π	パイ
Ρ	ρ	ロー
Σ	σ	シグマ
Τ	τ	タウ
Υ	υ	ユプシロン
Φ	φ	フィー（ファイ）
Χ	χ	キー（カイ）
Ψ	ψ	プシー（プサイ）
Ω	ω	オメガ

【強弱記号】

［強弱記号］

記号	名称	意味
ppp	ピアニッシッシモ	できるだけ弱く
pp	ピアニッシモ	ごく弱く
p	ピアノ	弱く
mp	メゾピアノ	やや弱く
mf	メゾフォルテ	やや強く
f	フォルテ	強く
ff	フォルティッシモ	ごく強く
fff	フォルティッシッシモ	できるだけ強く
∧，>	アクセント	アクセントをつけて
＜	クレッシェンド	だんだん強く
＞	ディミヌエンド デクレッシェンド	だんだん弱く
fp	フォルテピアノ	強くただちに弱く
sf，*sfz*	スフォルツァンド	その音だけを強く

【ギリシャ神話】

［ギリシャ神話］（オリンポス十二神）

ギリシャ名	ローマ名	一般名	神の属性
アテナ	ミネルバ		知識・工芸の女神
アフロディテ	ウェヌス	ビーナス	愛・美・豊饒の女神
アポロン	アポロ		音楽・医術・託宣の神
アルテミス	ディアナ	ダイアナ	狩猟・月の女神
アレス	マルス		戦いの神
ゼウス	ユピテル	ジュピター	最高神・全能の神
デメテル	ケレス		大地の女神
ヘスティア	ウェスタ		炉の女神
ヘファイストス	ウルカヌス	バルカン	火と鍛冶の神
ヘラ	ユノ	ジュノー	主女神・女性の守護神
ヘルメス	メルクリウス	マーキュリー	商業の神・旅人の守護神
ポセイドン	ネプトゥヌス	ネプチューン	海・泉の神

【結婚記念式】

［結婚記念式］

年数	名称
１年目	紙婚式
５年目	木婚式
10年目	錫婚式
15年目	水晶婚式
20年目	磁器婚式
25年目	銀婚式
30年目	真珠婚式
35年目	珊瑚婚式
40年目	ルビー婚式
45年目	サファイア婚式
50年目	金婚式
55年目	エメラルド婚式
60年目	ダイヤモンド婚式（イギリス）
75年目	ダイヤモンド婚式（アメリカ）

【県花】

［県花］（都道府県の花）

都道府県名	花名	都道府県名	花名	都道府県名	花名
北海道	ハマナス	石川	クロユリ	岡山	モモ
青森	リンゴ	福井	スイセン	広島	モミジ
岩手	キリ	山梨	フジザクラ	山口	夏ミカンの花
宮城	ミヤギノハギ	長野	リンドウ	徳島	スダチ
秋田	フキノトウ	岐阜	レンゲソウ	香川	オリーブ
山形	ベニバナ	静岡	ツツジ	愛媛	ミカン
福島	ネモトシャクナゲ	愛知	カキツバタ	高知	ヤマモモ
茨城	バラ	三重	ハナショウブ	福岡	ウメ
栃木	ヤシオツツジ	滋賀	シャクナゲ	佐賀	クスノキの花
群馬	レンゲツツジ	京都	シダレザクラ	長崎	ウンゼンツツジ
埼玉	サクラソウ	大阪	サクラソウ・ウメ	熊本	リンドウ
千葉	ナノハナ	兵庫	ノジギク	大分	ブンゴウメ
東京	ソメイヨシノ	奈良	ナラヤエザクラ	宮崎	ハマユウ
神奈川	ヤマユリ	和歌山	ウメ	鹿児島	ミヤマキリシマ
新潟	チューリップ	鳥取	二十世紀ナシのはな	沖縄	デイゴ
富山	チューリップ	島根	ボタン		

【県鳥】

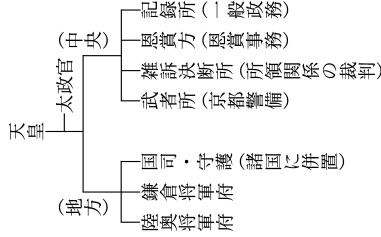
［県鳥］（都道府県の鳥）

都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名
北海道	タンチョウ	石川	イヌワシ	岡山	キジ
青森	ハクチョウ	福井	ツグミ	広島	アビ
岩手	キジ	山梨	ウグイス	山口	ナベヅル
宮城	ガン	長野	ライチョウ	徳島	シラサギ
秋田	ヤマドリ	岐阜	ライチョウ	香川	ホトトギス
山形	オシドリ	静岡	サンコウチョウ	愛媛	コマドリ
福島	キビタキ	愛知	コノハズク	高知	ヤイロチョウ
茨城	ヒバリ	三重	シロチドリ	福岡	ウグイス
栃木	オオルリ	滋賀	カイツブリ	佐賀	カササギ
群馬	ヤマドリ	京都	オオミズナギドリ	長崎	オシドリ
埼玉	シラコバト	大阪	モズ	熊本	ヒバリ
千葉	ホオジロ	兵庫	コウノトリ	大分	メジロ
東京	ユリカモメ	奈良	コマドリ	宮崎	コシジロヤマドリ
神奈川	カモメ	和歌山	メジロ	鹿児島	ルリカケス
新潟	トキ	鳥取	オシドリ	沖縄	ノグチゲラ
富山	ライチョウ	島根	オオハクチョウ		

【県木】

［県木］（都道府県の木）

都道府県名	木名	都道府県名	木名	都道府県名	木名
北海道	エゾマツ	石川	アテ	岡山	アカマツ
青森	ヒバ	福井	マツ	広島	モミジ
岩手	ナンブアカマツ	山梨	カエデ	山口	アカマツ
宮城	ケヤキ	長野	シラカバ	徳島	ヤマモモ
秋田	アキタスギ	岐阜	イチイ	香川	オリーブ
山形	サクランボ	静岡	モクセイ	愛媛	マツ
福島	ケヤキ	愛知	ハナノキ	高知	ヤナセスギ
茨城	ウメ	三重	ジングウスギ	福岡	ツツジ
栃木	トチノキ	滋賀	モミジ	佐賀	クスノキ
群馬	クロマツ	京都	キタヤマスギ	長崎	ヒノキ・ツバキ
埼玉	ケヤキ	大阪	イチョウ	熊本	クスノキ
千葉	マキ	兵庫	クスノキ	大分	ブンゴウメ
東京	イチョウ	奈良	スギ	宮崎	フェニックス
神奈川	イチョウ	和歌山	ウバメガシ	鹿児島	カイコウズ・クスノキ
新潟	ユキツバキ	鳥取	ダイセンキャラボク	沖縄	リュウキュウマツ
富山	タテヤマスギ	島根	クロマツ		

【建武の新政】

【黄道十二宮】

［黄道十二宮］

名称	星座名	記号
白羊宮	牡羊座	♈
金牛宮	牡牛座	♉
双子宮	双子座	♊
巨蟹宮	蟹座	♋
獅子宮	獅子座	♌
処女宮	乙女座	♍
天秤宮	天秤座	♎
天蠍宮	蠍座	♏
人馬宮	射手座	♐
磨羯宮	山羊座	♑
宝瓶宮	水瓶座	♒
双魚宮	魚座	♓

【五胡十六国】

［五胡十六国］

種族	国名	存続期間
匈奴	漢(前趙)	304〜329
	北涼	397〜439
	夏	407〜431
羯	後趙	319〜351
鮮卑	前燕	337〜370
	後燕	384〜409
	西秦	385〜431
	南涼	397〜414
	南燕	398〜410
氐	成(成漢)	304〜347
	前秦	351〜394
	後涼	386〜403
羌	後秦	384〜417
漢人	前涼	301〜376
	西涼	400〜421
	北燕	409〜436

【こそあど】

	人	事物	場所	方角		状態		指示
近称	こいつ	これ	ここ	こちら	こっち	こう	こんな	この
中称	そいつ	それ	そこ	そちら	そっち	そう	そんな	その
遠称	あいつ	あれ	あそこ	あちら	あっち	ああ	あんな	あの
不定称	どいつ	どれ	どこ	どちら	どっち	どう	どんな	どの
品詞	代名詞					副詞	形容動詞	連体詞

【五代十国】

［五代十国］

	王朝・国名	存続期間
五代	後梁	907〜923
	後唐	923〜936
	後晋	936〜946
	後漢	947〜950
	後周	951〜960
十国	前蜀	907〜925
	後蜀	934〜965
	荊南	907〜963
	楚	907〜951
	呉	902〜937
	南唐	937〜975
	呉越	907〜978
	閩	909〜945
	南漢	917〜971
	北漢	951〜979

【西国三十三所】

［西国三十三所］

紀伊	1	青岸渡寺	山城	18	頂法寺
	2	紀三井寺		19	行願寺
	3	粉河寺		20	善峰寺
和泉	4	施福寺	丹波	21	穴太寺
河内	5	葛井寺	摂津	22	総持寺
大和	6	壺坂寺		23	勝尾寺
	7	岡寺		24	中山寺
	8	長谷寺	播磨	25	清水寺
	9	興福寺		26	一乗寺
山城	10	三室戸寺		27	円教寺
	11	上醍醐寺	丹後	28	成相寺
近江	12	岩間寺		29	松尾寺
	13	石山寺	近江	30	宝厳寺
	14	三井寺		31	長命寺
山城	15	観音寺		32	観音正寺
	16	清水寺	美濃	33	華厳寺
	17	六波羅蜜寺			

【雑節】

［雑節］　土用および彼岸は入りの日

名称	太陽黄経	備考
土用	297°	立春前18日間
節分		立春の前日
彼岸		春分を中心とする1週間
土用	27°	立夏前18日間
八十八夜		立春から88日目
入梅	80°	芒種から6日目
半夏生	100°	夏至から11日目
土用	117°	立秋前18日間
二百十日		立春から210日目
彼岸		秋分を中心とする1週間
土用	207°	立冬前18日間

【三角関数】

［三角関数］（加法定理）

$$\sin(\alpha+\beta)=\sin\alpha\cos\beta+\cos\alpha\sin\beta$$

$$\sin(\alpha-\beta)=\sin\alpha\cos\beta-\cos\alpha\sin\beta$$

$$\cos(\alpha+\beta)=\cos\alpha\cos\beta-\sin\alpha\sin\beta$$

$$\cos(\alpha-\beta)=\cos\alpha\cos\beta+\sin\alpha\sin\beta$$

$$\tan(\alpha+\beta)=\frac{\tan\alpha+\tan\beta}{1-\tan\alpha\tan\beta}$$

$$\tan(\alpha-\beta)=\frac{\tan\alpha-\tan\beta}{1+\tan\alpha\tan\beta}$$

$$\sin(\alpha+\beta+\gamma)=\sin\alpha\cos\beta\cos\gamma+\cos\alpha\sin\beta\cos\gamma+\cos\alpha\cos\beta\sin\gamma-\sin\alpha\sin\beta\sin\gamma$$

$$\cos(\alpha+\beta+\gamma)=\cos\alpha\cos\beta\cos\gamma-\cos\alpha\sin\beta\sin\gamma-\sin\alpha\cos\beta\sin\gamma-\sin\alpha\sin\beta\cos\gamma$$

$$\tan(\alpha+\beta+\gamma)=\frac{\tan\alpha+\tan\beta+\tan\gamma-\tan\alpha\tan\beta\tan\gamma}{1-\tan\beta\tan\gamma-\tan\gamma\tan\alpha-\tan\alpha\tan\beta}$$

【執権】

［執権②］（鎌倉幕府執権表）

代	執権氏名	在職年代	没年
1	北条時政	1203—1205	1215
2	北条義時	1205—1224	1224
3	北条泰時	1224—1242	1242
4	北条経時	1242—1246	1246
5	北条時頼	1246—1256	1263
6	北条長時	1256—1264	1264
7	北条政村	1264—1268	1273
8	北条時宗	1268—1284	1284
9	北条貞時	1284—1301	1311
10	北条師時	1301—1311	1311
11	北条宗宣	1311—1312	1312
12	北条熙時	1312—1315	1315
13	北条基時	1315—1315	1333
14	北条高時	1316—1326	1333
15	北条貞顕	1326—1326	1333
16	北条守時	1326—1333	1333

【十干】

［十干］

甲	コウ	木の兄	きのえ
乙	オツ	木の弟	きのと
丙	ヘイ	火の兄	ひのえ
丁	テイ	火の弟	ひのと
戊	ボ	土の兄	つちのえ
己	キ	土の弟	つちのと
庚	コウ	金の兄	かのえ
辛	シン	金の弟	かのと
壬	ジン	水の兄	みずのえ
癸	キ	水の弟	みずのと

【十二支】

［十二支］

子	ね	シ	鼠
丑	うし	チュウ	牛
寅	とら	イン	虎
卯	う	ボウ	兎
辰	たつ	シン	竜
巳	み	シ	蛇
午	うま	ゴ	馬
未	ひつじ	ビ	羊
申	さる	シン	猿
酉	とり	ユウ	鶏
戌	いぬ	ジュツ	犬
亥	い	ガイ	猪

【十三仏】

［十三仏］

不動	初七日
釈迦	二七日
文殊	三七日
普賢	四七日
地蔵	五七日
弥勒	六七日
薬師	七七日
観音	百箇日
勢至	一周忌
阿弥陀	三回忌
阿閦	七回忌
大日	十三回忌
虚空蔵	三十三回忌

【十二神将】

大将	本地仏	神
宮毘羅大将（くびらだいしょう）	弥勒	子神
伐折羅大将（ばさらだいしょう）	勢至	丑神
迷企羅大将（めきらだいしょう）	弥陀	寅神
安底羅大将（あんちらだいしょう）	観音	卯神
頞儞羅大将（あじらだいしょう）	如意輪	辰神
珊底羅大将（さんちらだいしょう）	虚空蔵	巳神
因陀羅大将（いんだらだいしょう）	地蔵	午神
波夷羅大将（はいらだいしょう）	文殊	未神
摩虎羅大将（まこらだいしょう）	大威徳	申神
真達羅大将（しんだらだいしょう）	普賢	酉神
招杜羅大将（しょうとらだいしょう）	大日	戌神
毘羯羅大将（びからだいしょう）	釈迦	亥神

【四天王】

［四天王②ウ］（武将の代表例）

武将	四天王
源頼光	渡辺綱
	坂田金時
	碓井貞光
	ト部季武
木曾義仲	今井兼平
	樋口兼光
	根井幸親
	楯親忠
源義経	佐藤継信
	佐藤忠信
	鎌田盛政
	鎌田光政
織田信長	柴田勝家
	滝川一益
	丹羽長秀
	明智光秀
徳川家康	酒井忠次
	井伊直政
	本多忠勝
	榊原康政
豊臣秀頼	木村重成
	真田幸村
	長宗我部盛親
	後藤基次

【四等官】

［四等官］

官名	長官	次官	判官	主典
神祇官	伯	副（大、少）	祐（大、少）	史（大、少）
太政官	太政大臣	大納言	少納言	外記（大、少）
	左大臣 右大臣	中納言	弁（大、中、少）	史（大、少）
省	卿	輔（大、少）	丞（大、少）	録（大、少）
坊・職	大夫	亮	進（大、少）	属（大、少）
寮	頭	助	允（大、少）	属（大、少）
司・監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
台	尹	弼	忠（大、少）	疏（大、少）
衛府	督	佐	尉（大、少）	志（大、少）
大宰府	帥	弐（大、少）	監（大、少）	典（大、少）
国司	守	介	掾（大、少）	目（大、少）
郡司	大領	少領	主政	主帳
家令	令	扶	従（大、少）	書吏（大、少）

【尺貫法】

［尺貫法］（換算表）

長さ

	尺	間	町	里	メートル
尺	1	0.166666	0.0027777	0.000077	0.30303
間	6	1	0.016666	0.000462	1.81818
町	360	60	1	0.027777	109.09
里	12960	2160	36	1	3927.27

面積

	平方尺	坪	畝	反	町	平方メートル
平方尺	1	0.027777	0.000926	0.000092	0.000009	0.091827
坪(歩)	36	1	0.033333	0.003333	0.000333	3.30579
畝	1080	30	1	0.1	0.01	99.1736
反(段)	10800	300	30	1	0.1	991.736
町	108000	3000	300	10	1	9917.36

体積

	合	升	斗	石	立方メートル
合	1	0.1	0.01	0.001	0.00018
升	10	1	0.1	0.01	0.001804
斗	100	10	1	0.1	0.018039
石	1000	100	10	1	0.18039

質量

	匁	斤	貫	グラム
匁	1	0.00625	0.001	3.75
斤	160	1	0.16	600
貫	1000	6.25	1	3750

【出世魚】

［出世魚］（代表的な出世魚の成長名）　　（単位はcm）

魚名	稚魚・幼魚	若魚・未成魚	成魚	特大魚	呼称地
スズキ	コッパ（小型のもの）	セイゴ（15〜25） フッコ（30〜40）	スズキ（60以上）		全国
ボラ	ボラコ（約3） イキナゴ（約6）	コボラ（9〜12） イナ（約15）	ボラ オオボラ（大型のもの）		高知
	オボコ（3〜9） イナッコ（約10） スバシリ（約10）	イナ（10〜25）	ボラ（30〜50）	トド（50以上）	東京
ブリ	ツバス（10〜15）	ハマチ（30〜40） メジロ（約60）	ブリ（80以上）		大阪
	モジャコ（3〜8）	ワカナ（15〜20） ハマチ（25〜45）	メジロ（50〜60） ブリ（約70以上）		高知
	ワカシ（約15）	イナダ（30〜40） ワラサ（約60）	ブリ（90以上）		東京

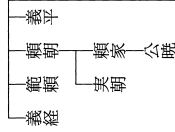
【自律神経】

［自律神経］（自律神経のはたらき）

	交感神経	副交感神経
心臓の拍動	促進	抑制
消化器官の運動	抑制	促進
瞳孔の開閉	散大	縮小
胃・小腸・膵臓の分泌腺	抑制	促進
唾液腺の分泌	促進	促進
体幹・四肢の血管	収縮	なし
汗の分泌	促進	なし
立毛筋	収縮	なし

【正史】

［正史②］（一覧表）

書名	著者	巻数	書名	著者	巻数
史記	司馬遷	一三〇	隋書	魏徴ら	八五
漢書	班固	一〇〇	南史	李延寿	八〇
後漢書	范曄	一二〇	北史	李延寿	一〇〇
三国志	陳寿	六五	旧唐書	劉昫ら	二〇〇
晋書	房玄齢ら	一三〇	新唐書	欧陽脩ら	二二五
宋書	沈約	一〇〇	旧五代史	薛居正ら	一五〇
南斉書	蕭子顕	五九	新五代史	欧陽脩	七四
梁書	姚思廉	五六	宋史	脱脱ら	四九六
陳書	姚思廉	三六	遼史	脱脱ら	一一六
魏書	魏収	一三〇	金史	脱脱ら	一三五
北斉書	李百薬	五〇	元史	宋濂ら	二一〇
周書	令狐徳棻ら	五〇	明史	張廷玉ら	三三二

【誕生石】

［誕生石］

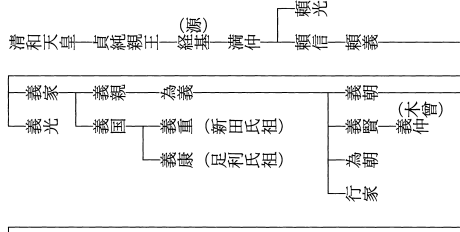
1月	ガーネット
2月	アメシスト
3月	アクアマリン
	ブラッドストーン
4月	ダイヤモンド
5月	エメラルド
6月	真珠
	ムーンストーン
7月	ルビー
8月	橄欖石、紅瑪瑙
	縞瑪瑙
9月	サファイア
10月	オパール
11月	トパーズ
12月	トルコ石
	ラピスラズリ

【清和源氏】

［清和源氏］（略系図）

【月】

［月③］（陰暦月異名）

一月	睦月（むつき）
二月	如月（きさらぎ）
三月	弥生（やよい）
四月	卯月（うづき）
五月	皐月（さつき）
六月	水無月（みなづき）
七月	文月（ふみづき）
八月	葉月（はづき）
九月	長月（ながつき）
十月	神無月（かみなづき）
十一月	霜月（しもつき）
十二月	師走（しわす）

【速度標語】

［速度標語］

標語	名称	意味
largo	ラルゴ	非常にゆっくりと
lento	レント	ゆっくりと
adagio	アダージョ	ゆるやかに
andante	アンダンテ	歩く速さで
moderato	モデラート	中くらいの速さで
allegro	アレグロ	快速に
vivace	ビバーチェ	生き生きと速く
presto	プレスト	急速に

【東海道五十三次】

【二十四節気】

［二十四節気］

季節	名称	概略日付	黄経
春	立春	2月4日	315°
	雨水	2月19日	330°
	啓蟄	3月6日	345°
	春分	3月21日	0°
	清明	4月5日	15°
	穀雨	4月20日	30°
夏	立夏	5月6日	45°
	小満	5月21日	60°
	芒種	6月6日	75°
	夏至	6月22日	90°
	小暑	7月8日	105°
	大暑	7月23日	120°
秋	立秋	8月8日	135°
	処暑	8月24日	150°
	白露	9月8日	165°
	秋分	9月23日	180°
	寒露	10月9日	195°
	霜降	10月24日	210°
冬	立冬	11月8日	225°
	小雪	11月23日	240°
	大雪	12月8日	255°
	冬至	12月22日	270°
	小寒	1月6日	285°
	大寒	1月20日	300°

【二十四番花信風】

［二十四番花信風］

節気	一候	二候	三候
小寒（しょうかん）	梅花（ばいか）	山茶（つばき）	水仙（すいせん）
大寒（だいかん）	瑞香（じんちょうげ）	蘭花（らんか）	山礬（さんばん）
立春（りっしゅん）	迎春（おうばい）	桜桃（ゆすら）	望春（こぶし）
雨水（うすい）	菜花（さいか）	杏花（きょうか）	李花（りか）
啓蟄（けいちつ）	桃花（とうか）	棣棠（やまぶき）	薔薇（そうび）
春分（しゅんぶん）	海棠（かいどう）	梨花（りか）	木蘭（もくらん）
清明（せいめい）	桐花（とうか）	麦花（ばくか）	柳花（りゅうか）
穀雨（こくう）	牡丹（ぼうたん）	荼蘼（とび）	楝花（おうち）

【二十八宿】

［二十八宿①］

	漢名	和名	距星	
東方七宿	角	すぼし	おとめ座	α
（蒼竜）	亢	あみぼし	おとめ座	κ
	氐	ともぼし	てんびん座	α
	房	そいぼし	さそり座	π
	心	なかごぼし	さそり座	σ
	尾	あしたれぼし	さそり座	μ
	箕	みぼし	いて座	γ
北方七宿	斗	ひきつぼし	いて座	ϕ
（玄武）	牛	いなみぼし	やぎ座	β
	女	うるきぼし	みずがめ座	ε
	虚	とみてぼし	みずがめ座	β
	危	うみやめぼし	みずがめ座	α
	室	はついぼし	ペガスス座	α
	壁	なまめぼし	ペガスス座	γ
西方七宿	奎	とかきぼし	アンドロメダ座	ζ
（白虎）	婁	たたらぼし	おひつじ座	β
	胃	えきえぼし	おひつじ座	35
	昴	すばるぼし	おうし座	17
	畢	あめふりぼし	おうし座	ε
	觜	とろきぼし	オリオン座	ϕ
	参	からすきぼし	オリオン座	δ
南方七宿	井	ちちりぼし	ふたご座	μ
（朱雀）	鬼	たまおのほし	かに座	θ
	柳	ぬりこぼし	うみへび座	δ
	星	ほとおりぼし	うみへび座	α
	張	ちりこぼし	うみへび座	ν
	翼	たすきぼし	コップ座	α
	軫	みつかけぼし	からす座	γ

【日本十進分類法】

［日本十進分類法］（主類）

000	総記
100	哲学
200	歴史
300	社会科学
400	自然科学
500	技術、工学
600	産業
700	芸術
800	語学
900	文学

【女房詞】

［女房詞］（女房詞の例）

あか	小豆（あずき）
いしいし	団子
いと	納豆
おあし	銭（ぜに）
おかべ	豆腐
おこわ	赤飯
おなか	食事
おひやし	水
おひら	平椀、鯛
おむし	味噌
かちん	餅
かもじ	髪
くこん（九献）	酒
くろもの	鍋、釜
こもじ	鯉
しろもの	塩
すもじ	鮨（すし）
ぞろ	素麺（そうめん）

【年齢】

［年齢］（年齢の異名）

十五歳	志学（しがく）
二十歳	弱冠（じゃっかん）
三十歳	而立（じりつ）
四十歳	不惑（ふわく）
五十歳	知命（ちめい）
六十歳	耳順（じじゅん）
七十歳	従心（じゅうしん）

【発想標語】

［発想標語］

標語	名称	意味
animato	アニマート	いきいきと
con brio	コン-ブリオ	活気をもって
cantabile	カンタービレ	歌うように
dolce	ドルチェ	甘く、柔らかに
espressivo	エスプレッシーボ	表情豊かに
grave	グラーベ	荘重に
grazioso	グラツィオーソ	優美に
lamentabile	ラメンタービレ	悲しげに
maestoso	マエストーソ	威厳をもって
con moto	コン-モート	動きをつけて
passionato	パッショナート	熱情的に
semplice	センプリチェ	装飾なしで
tranquillo	トランクィッロ	穏やかに
vivo	ビーボ	活発に

【比熱】

［比熱］　(1J=0.24cal)

	物質	温度(℃)	比熱(J/g・K)
気体	空気(乾燥)	20	1.006
	酸素	16	0.922
	水蒸気	100	2.051
	水素	0	14.191
	二酸化炭素	16	0.837
液体	エチルアルコール	0	2.29
	オリーブ油	7	1.97
	海水	17	3.93
	ベンゼン	10	1.42
	水	0	4.2174
固体	アルミニウム	0	0.880
	金	0	0.128
	コンクリート	室温	約0.84
	砂	0	約0.8
	鉄	0	0.435
	木材	20	約1.25

【ビタミン欠乏症】

［ビタミン欠乏症］

	症状
脂溶性ビタミン	
ビタミンA	夜盲症、角膜乾燥症、粘膜の乾燥角化
ビタミンD	佝僂病、骨軟化症
ビタミンE	不妊症(ネズミ)
ビタミンK	血液凝固障害
水溶性ビタミン	
ビタミンB_1	脚気、多発性神経炎
ビタミンB_2	口角炎、舌炎、脂漏性皮膚炎
ニコチン酸	ペラグラ
ビタミンB_6	脂漏性湿疹、口唇炎、口角炎、貧血
パントテン酸	皮膚炎、末梢神経障害(ネズミ、ニワトリ)
ビオチン	皮膚炎(ネズミ)
ビタミンB_{12}	悪性貧血
葉酸	悪性貧血
ビタミンC	壊血病

【物理量】①（主な例）

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
長さ	$\boldsymbol{x, l}$	メートル	m
質量	$\boldsymbol{m}$	キログラム	kg
時間	$\boldsymbol{t}$	秒	s
面積	$\boldsymbol{S}$	平方メートル	㎡
体積	$\boldsymbol{V}$	立方メートル	㎥
速度	$\boldsymbol{v}$	メートル毎秒 キロメートル毎時	m/s ㎞/h
角速度	$\boldsymbol{\omega}$	ラジアン毎秒	rad/s
加速度	$\boldsymbol{a}$	メートル毎秒毎秒	m/s^2
力	$\boldsymbol{f}$	ニュートン	N
運動量	$\boldsymbol{mv}$	キログラムメートル毎秒	kg•m/s
力積	$\boldsymbol{ft}$	ニュートン秒	N•s
仕事 エネルギー	$\boldsymbol{W}$ $\boldsymbol{E}$	ジュール	J
仕事率 電力	$\boldsymbol{P}$	ワット	W
圧力	$\boldsymbol{p}$	ニュートン毎平方メートル 気圧 パスカル	N/㎡ atm Pa
温度	$\boldsymbol{t}$	ケルビン セルシウス度	K ℃
熱量	$\boldsymbol{Q}$	ジュール	J
比熱	$\boldsymbol{c}$	ジュール毎キログラムケルビン	J/㎏•K
周波数 振動数	$\boldsymbol{f}$	ヘルツ	Hz
振幅	$\boldsymbol{A}$	メートル	m
波長	$\boldsymbol{\lambda}$	メートル	m
周期	$\boldsymbol{T}$	秒	s
電気量	$\boldsymbol{Q}$	クーロン	C
電界の強さ	$\boldsymbol{E}$	ニュートン毎クーロン ボルト毎メートル	N/C V/m
電気容量	$\boldsymbol{C}$	ファラド	F

【物理量】②（主な例）

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
電流	$\boldsymbol{I}$	アンペア	A
電圧	$\boldsymbol{V}$	ボルト	V
電気抵抗	$\boldsymbol{R}$	オーム	Ω
抵抗率	ρ	オームメートル	Ω･m
磁界の強さ	$\boldsymbol{B}$	テスラ ニュートン毎アンペアメートル	T N/Am

【符牒】

［符牒②］（数の符牒）

職業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
糸商	え	び	す	だ	い	こ	く	げ	ほ	う
花柳界	お	き	や	く	は	た	い	せ	つ	
荒物商	つ	る	か	め	ま	ひ	あ	そ	ぶ	
バー	さ	け	の	み	は	ふ	く	の	か	み
露天商	い	つ	も	ふ	け	い	き	な	し	
香具師	やり	ふり	かち	ため	ずか	みず	おき	あった	がけ	
菓子商	やり	ふり	かち	めった	しずか	みず	おき	あすた	きわ	
理髪師	やり	りふ	かち	めった	しずか	みず	おき	あすた	きわ	
賭博師	ぴん	にぞう	さんずん	よつや	ごけ	ろっぽん	しちん	ちょうべい	かぶ	ぶた
寿司職	ぴん	ののじ りゃんこ	げた	だり	めのじ	ろんじ	せいなん	ばんど	きわ	ぴんそく

【 湖 】

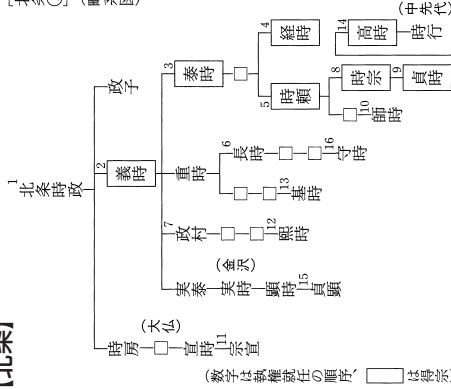
［湖］（日本の主な湖）

名称	面積(㎢)	最大水深(m)	湖沼型
琵琶湖	670.5	103.8	中栄養
霞ヶ浦	167.6	11.9	富栄養
サロマ湖	150.4	19.6	富栄養
猪苗代湖	103.3	93.5	酸栄養
中海	86.8	17.1	富栄養
屈斜路湖	79.4	117.5	酸栄養
宍道湖	79.2	6.0	富栄養
支笏湖	78.4	360.1	貧栄養
洞爺湖	70.7	179.7	貧栄養
浜名湖	65.0	13.1	中栄養
小川原湖	62.2	24.4	中栄養
十和田湖	61.0	326.8	貧栄養
能取湖	58.4	23.1	富栄養
風蓮湖	57.5	13.0	貧栄養
北浦	35.2	7.8	富栄養

【北条】

［北条①］（略系図）

- 1 北条時政
  - 時房 ─ □ ─ 宣時 ─ 11 宗宣（大仏）
  - 2 義時
    - 実泰 ─ 実時 ─ 顕時 ─ 15 貞顕（金沢）
    - 7 政村 ─ □ ─ □ ─ 12 煕時
    - 重時
      - □ ─ □ ─ 13 基時
      - 6 長時 ─ □ ─ □ ─ 16 守時
    - 3 泰時 ─ □
      - 5 時頼
        - □ ─ 10 師時
        - 8 時宗 ─ 9 貞時 ─ 14 高時 ─ 時行（中先代）
      - 4 経時
  - 政子

（数字は執権就任の順序、□は得宗）

【無限級数】

［無限級数］

$$\frac{1}{1\mp x}=1\pm x+x^2\pm x^3+x^4\pm x^5+\cdots\cdots\pm x^{2n-1}+x^{2n}+\cdots\cdots$$（ただし、$x^2<1$）

$$\frac{1}{(1\mp x)^2}=1\pm 2x+3x^2\pm 4x^3+\cdots\cdots\pm 2nx^{2n-1}+(2n+1)x^{2n}+\cdots\cdots$$（ただし、$x^2<1$）

$$\sqrt{1\pm x}=1\pm\frac{1}{2}x-\frac{1\cdot1}{2\cdot4}x^2\pm\frac{1\cdot1\cdot3}{2\cdot4\cdot6}x^3-\frac{1\cdot1\cdot3\cdot5}{2\cdot4\cdot6\cdot8}x^4\pm\cdots\cdots$$（ただし、$x^2<1$）

$$e^x=1+\frac{x}{1!}+\frac{x^2}{2!}+\frac{x^3}{3!}+\frac{x^4}{4!}+\cdots\cdots+\frac{x^n}{n!}+\cdots\cdots$$（ただし、$x^2<\infty$）

$$a^x=1+\frac{x\log a}{1!}+\frac{x^2(\log a)^2}{2!}+\frac{x^3(\log a)^3}{3!}+\cdots\cdots+\frac{x^n(\log a)^n}{n!}+\cdots\cdots$$（ただし、$x^2<\infty$）

$$\log(1+x)=x-\frac{x^2}{2}+\frac{x^3}{3}-\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^n}{n}+\cdots\cdots$$（ただし、$-1<x\leqq 1$）

$$\sin x=x-\frac{x^3}{3!}+\frac{x^5}{5!}-\frac{x^7}{7!}+\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^{2n-1}}{(2n-1)!}+\cdots\cdots$$（ただし、$x:rad, x^2<\infty$）

$$\cos x=1-\frac{x^2}{2!}+\frac{x^4}{4!}-\frac{x^6}{6!}+\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^{2n-2}}{(2n-2)!}+\cdots\cdots$$（ただし、$x:rad, x^2<\infty$）

$$\tan x=x+\frac{x^3}{3}+\frac{2x^5}{15}+\frac{17x^7}{315}+\frac{62x^9}{2835}+\cdots\cdots$$（ただし、$x:rad$，$|x|<\pi/2$）

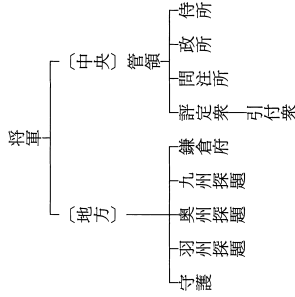
【室町幕府（将軍）】

［室町幕府］（将軍）

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	足利尊氏	1338—1358	1358
2	足利義詮	1358—1367	1367
3	足利義満	1368—1394	1408
4	足利義持	1394—1423	1428
5	足利義量	1423—1425	1425
6	足利義教	1429—1441	1441
7	足利義勝	1442—1443	1443
8	足利義政	1449—1473	1490
9	足利義尚	1473—1489	1489
10	足利義稙	1490—1521	1523
11	足利義澄	1494—1508	1511
12	足利義晴	1521—1546	1550
13	足利義輝	1546—1565	1565
14	足利義栄	1568—1568	1568
15	足利義昭	1568—1573	1597

【室町幕府（職制）】

［室町幕府］（職制）

- 将軍
  - 〔中央〕管領
    - 侍所
    - 政所
    - 問注所
    - 評定衆—引付衆
  - 〔地方〕
    - 鎌倉府
    - 九州探題
    - 奥州探題
    - 羽州探題
    - 守護

【ヤード-ポンド法】

［ヤード-ポンド法］（換算表）

長さ

	インチ	フィート	ヤード	マイル	メートル
インチ	1	0.083333	0.027778	0.000016	0.0254
フィート	12	1	0.333333	0.000189	0.3048
ヤード	36	3	1	0.000568	0.9144
マイル	63360	5280	1760	1	1609.344

面積

	平方ヤード	エーカー	平方マイル	平方メートル
平方ヤード	1	0.000207	—	0.836127
エーカー	4840	1	0.001563	4046.86
平方マイル	—	640	1	—

体積

	ガロン(英)	ガロン(米)	立方インチ	立方メートル	リットル
ガロン(英)	1	1.20095	277.42	0.004546	4.546
ガロン(米)	0.833	1	231	0.003785	3.78541

質量

	オンス	ポンド	トン(英)	トン(米)	グラム
オンス	1	0.0625	0.000028	0.000031	28.3495
ポンド	16	1	0.000446	0.0005	453.592
トン(英)	35840	2240	1	1.12	1016050
トン(米)	32000	2000	0.892857	1	907185

【律令制】

［律令制］（律令官制表）

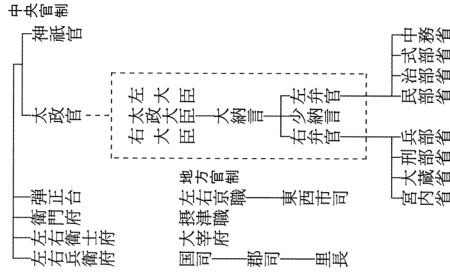
【六国史】

［六国史］

書名	撰進年	主な撰進者	期間
日本書紀	七二〇	舎人親王	神代〜持統朝
続日本紀	七九七	藤原継縄	六九七〜七九一
日本後紀	八四〇	藤原緒嗣	七九二〜八三三
続日本後紀	八六九	藤原良房	八三三〜八五〇
文徳実録	八七九	藤原基経	八五〇〜八五八
三代実録	九〇一	藤原時平	八五八〜八八七

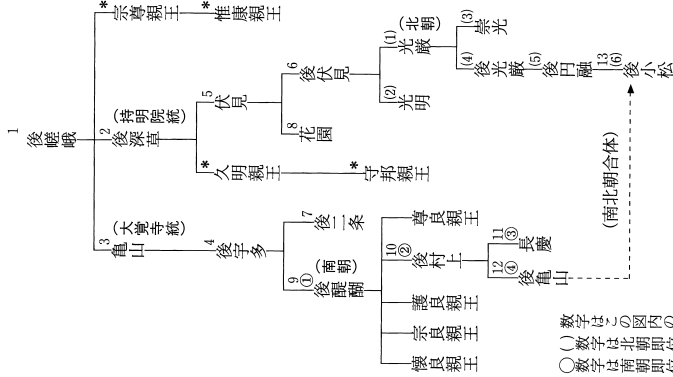
【六曜】

［六曜］（早見表）

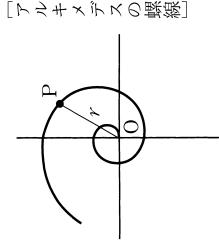
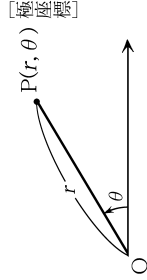
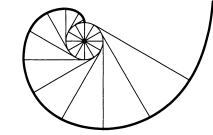
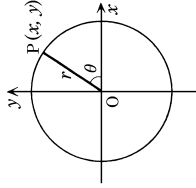
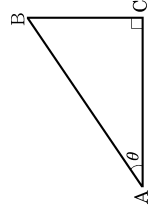
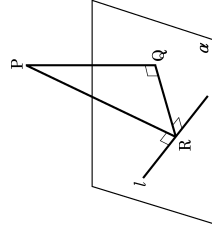
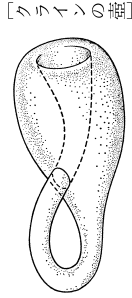
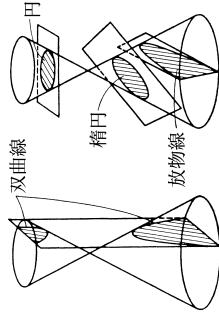
旧暦月	六曜					
1・7	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口
2・8	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
3・9	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
4・10	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
5・11	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
6・12	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
旧暦日	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30

【ローマ数字】

［ローマ数字］

1	I	8	VIII
2	II	9	IX
3	III	10	X
4	IV	50	L
5	V	100	C
6	VI	500	D
7	VII	1000	M

【両統迭立】

［両統迭立］
1 後嵯峨
3 亀山（大覚寺統）
2 後深草（持明院統）
*宗尊親王
*惟康親王
4 後宇多
7 後二条
9 ① 後醍醐（南朝）
5 伏見
*久明親王
*守邦親王
8 花園
6 後伏見
(1) 光厳（北朝）
(2) 光明
(3) 崇光
(4) 後光厳
(5) 後円融
13 (6) 後小松
尊良親王
10 ② 後村上
護良親王
宗良親王
懐良親王
11 ③ 長慶
12 ④ 後亀山
（南北朝合体）
数字はこの図内の即位順序
( )数字は北朝即位順序
○数字は南朝即位順序
*は鎌倉将軍となった者

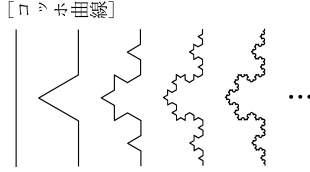
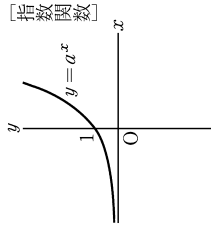
【アルキメデスの螺線】

【極座標】

【インボリュート曲線】

【三角関数】

【三垂線の定理】

【クラインの壺】

【円錐曲線】

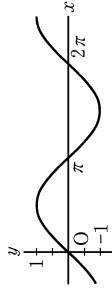
［円錐曲線］

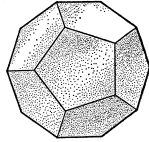
【コッホ曲線】

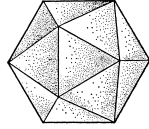
⋮

［コッホ曲線］

【指数関数】

［指数関数］

【正弦曲線】

［正弦曲線］

【正十二面体】

［正十二面体］

【正二十面体】

［正二十面体］

【正接曲線】

［正接曲線］

【双曲線】

［双曲線］

【双曲面】

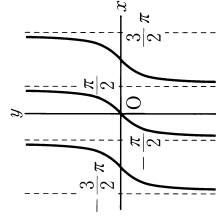
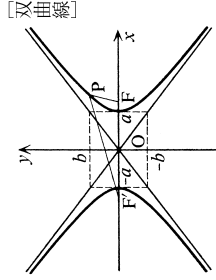
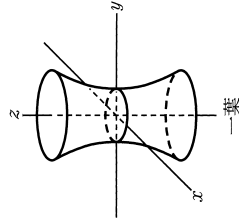
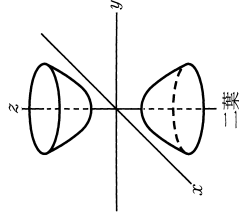
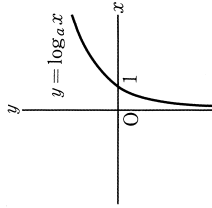
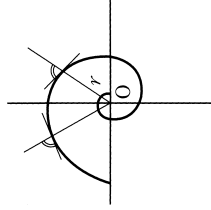
［双曲面］

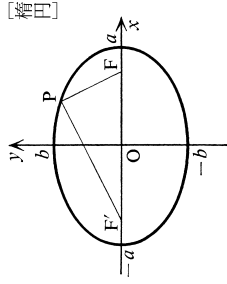
一葉

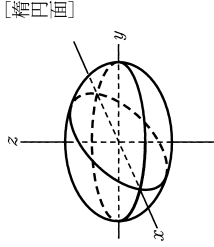
二葉

【対数関数】

［対数関数］

【対数螺線】

［対数螺線］

【楕円】

［楕円］

【楕円面】

［楕円面］

【同位角】

［同位角］

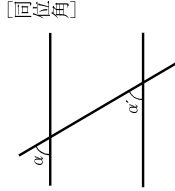
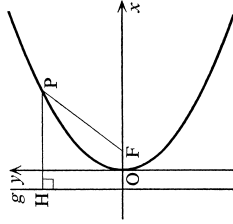
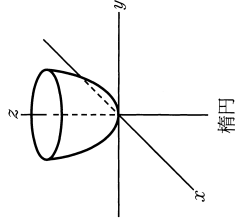
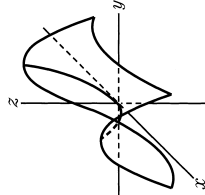
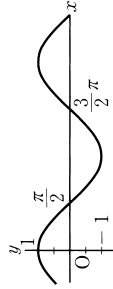
【放物線】

［放物線］

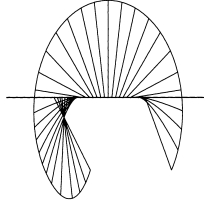
【放物面】

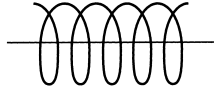
［放物面］

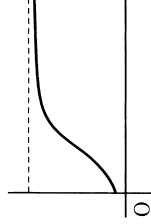
楕円

双曲

【余弦曲線】

［余弦曲線］

【螺線面】

［螺線面］

【螺線】

［螺線②］

【ロジスティック曲線】

［ロジスティック曲線］

パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。

2 エ行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしたがったものもある。
（例）ボール・ペン　　ボウリング（スポーツ）

3 原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしたがった。
（例）ビレッジ　　イヴ・サンローラン

4 原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしたがった。
（例）ジレンマ　　ディレクトリー

5 語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。
（例）コンピューター

6 複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

1 配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。

2 長音符（ー）の読みと・は省略して、配列した。
（例）グリーンGDP（ぐりんじでぃぴ）

3 同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。

4 清音、濁音、半濁音の順番に配列した。

5 原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

1 原語は見出し語の直後に【　】にくくって入れた。

2 原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。

3 原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよ

りもアメリカ式つづりを採用した。

4 ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。

5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。

6 漢字・平仮名とカタカナが混じったもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。

（例）ミサイル療法【missile －】

7 原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。

8 商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

1 和製語のものは【　】内の原語の後に**和**を入れた。

2 原語が変化したものや省略されたものは、その語に「＜」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。

（例）ジルバ【＜jitterbug】

3 漢字や仮名の混じった語は、**和**を入れていない。

4 複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。

（例）アルペン・スキー【Alpen ドイツ＋ski**和**】

5 原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

1 語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。

2 補注と記号

＊　同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。

◇　用例を示した。

◆　語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。

➡　参照語を示した。

➡解説:　見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。

➡⇔　反対語、対語を示した。

〖　〗原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。

3 分野表記

必要に応じて《　》でくくり、特定分野などの表示をした。

宇…宇宙　　気…気象　　経…経済・経営
航…航空　　鉱…鉱物　　社…社会学
宗…宗教　　心…心理　　生化…生化学
俗…俗語　　地…地学　　天…天文学
電…電気　　電算…コンピューター
美…美術　　服…服飾　　理…物理
アメフト…アメリカン・フットボール
フィギュア…フィギュア・スケート
造語…造語成分　など

4 商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

漢字源（改訂第五版）

親　字

収録の範囲

親字（見出しになっている漢字・旧字・異体字）は、JIS（日本工業規格）の「情報交換用符号化拡張漢字集合」（X-0213-2004）に掲載されている第一水準、第二水準、第三水準、第四水準の漢字、「情報交換用漢字符号－補助漢字」（X-0212-1990）に掲載されている補助漢字など、計13,284字を収録した。

部首の分類

部首の分け方は『康熙字典』（1716年に完成した中国の字書）に準じた。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もある。また、常用漢字体（新字体）となったため、旧字体の部首に入れられないものは、他の部首に入れた。

『康熙字典』の部首を、字体が異なるとしてさらに分けて新しい部首を立てた場合もある。

　刀部と刂部、心部と忄部、手部と扌部、水部と氵部、火部と灬部、犬部と犭部、衣部と衤部

また、従来の部首に入れられないとして便宜上新しく部首を立てた場合もある。

　⺍部（【単】【巣】【営】【厳】）

また、字体が似るとしてまとめて一つの部首にした場合もある。

　匚部と匸部、夂部と夊部、月部と肉部で月のかたちをとるもの

親字見出し

① 『常用』『許容』『人名用』は、それぞれその漢字が常用漢字、常用漢字の許容字体、人名用漢字であることを示す。『１年』『２年』『３年』『４年』『５年』『６年』はその漢字が学習漢字（教育漢字）であり、その学年に配当されていることを示す。

② 旧字体は、「改定常用漢字表」「人名用漢字別表」「表外漢字字体表」に示される以前の字体で、JIS漢字中にあるもののみを示した。「改定常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字の音と意味をもっている場合、㊀㊁…で区別した。

③ 異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示

した。2004年にJISコードが改正（字形の入れ替え）された結果（日本工業規格 X-0213-2004）、コードがなくなった漢字も一部含む。

④ 文字コードは、その漢字のJIS区点コード、JIS16進コード、シフトJISコード、ユニコードの順で示した。

音・訓・読み

① 『常読』は、「改定常用漢字表」に示されている音訓を示す。訓読みで「・」からあとは送り仮名を示す。

② 『字音』は、漢字音（音読み）を示す。漢字音は、呉音(呉)・漢音(漢)・唐宋音(唐)・慣用音(慣)の区別をして、現代かなづかいで示し、歴史的かなづかいを（　）の中に示した。その際、国語資料に未見の音であっても、「広韻」（1008年に刊行された漢字の発音字典）と「韻鏡」（唐代末期頃作られたと思われる唐代の漢語の音韻図）によって、同音字から呉音・漢音を推定した。

③ 『意読』は、意味読みを示す。一般に定着している訓、漢文訓読の際しばしば使用される訓、日本の古訓資料の中で、すでに日本語の読みとして定着している訓などは、<意味>で品詞の後に示した。また、訓の中には現在では一般の使用を慎む語もある。訓としては存在したので示したが、それらについては（＊）をつけ、「（＊印は、使用を慎むことば。）」と記した。

④ <和訓>は、訓の代表的なものを示した（一部、音などを含む）。

四声・韻

親字の後に、その漢字の四声（平声・上声・去声・入声）の区別と韻母（その漢字の子音に続く母音や、母音の後につづく、-n, -ng, -p, -t, -kなどの音）の種類を示した。ただし、金・元代の「詩韻」は通俗書であり、言語資料としては役立たないので、各字についてまず、「詩韻」の韻を示し、ついで（　）の中に「広韻」の韻の名を示した。両者が同じ韻の場合には、この手続きを省略した。

中国語の発音

主な漢字に、現代中国語の標準発音（北京語にもとづく）を、「漢語拼音方案」によるローマ字綴り（ピンイン）で示した。

＜意味＞と品詞

① ＜意味＞の後に、漢字の意味を❶❷❸…の順に説明した。その際、その漢字の成り立ちにもとづく原義（本来の意味）を第一として、順次、派生した意味に及ぶよう配慮した。

② 二音節語（聯緜〈レンメン〉字）や、常に二字以上の熟語の形で用いられるものや、外国語を表す仮借的用法（宛て字）などは、次のような形で説明した。一部、熟語の片一方を親字として立てなかったものもある。

〈例〉 ＜意味＞「的皪〈テキレキ〉」とは、くっきりと白いさま。鮮やかに輝くさま。

③ 用法上から分類した品詞名を❶❷❸…の後に示した。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによった。なお、漢語の文法での品詞のため、日本語（の訓）の品詞と一致しないものもある。（「略語・記号一覧」参照）

④ 意味中の訓の文語形が、現代語と相違する、または現代かなづかいと相違するものは、その文語形を歴史的かなづかいで（　）の中に示した。その際、日本の古辞書（「新撰字鏡」「倭名類聚抄」等）にみえる訓を参考にした。

⑤ 意味中の訓の、漢字の部分と送り仮名の部分との区切りについては次の通りとした。

㋐ 現代かなづかいに関しては、区切りに「-」を入れて示した。送り方は、1973年6月内閣告示の「送り仮名の付け方」に従い、例示されていないものも、それに準じた。

〈例〉 【与】あた-える

・省くことのできる送り仮名は（　）の中に示した。

〈例〉 【浮】う-（か）ぶ

・送ることのできる送り仮名は〈　〉の中に示した。

〈例〉 【行】おこ〈な〉-う

㋑ 歴史的かなづかいに関しては、（　）の中に示し、送り仮名の部分はカタカナで示した。

〈例〉 【倹】つつ-ましい（つつマシ）

・現代かなづかいと歴史的かなづかいとで、送り方が異なるものもある。

〈例〉 【免】まぬか-れる（まぬカル）

㋒ 現代かなづかいが歴史的かなづかいと同じもので、現代日本語での送り方と漢文の書き下しでの送り方とが異なるものに関しては、漢文の書き下しでの送り方は〈　〉の中

に示し、送り仮名の部分はカタカナで示した。

〈例〉【冷】ひ-(や)す〈ひヤス〉

⑥ 音の違いが意味におよぶ場合は、㊀㊁…によって区別し、音と意味とを対応させた。(日本)がある場合は、新たな番号を立てて示した。

⑦ その漢字の音が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞の形で用いられるものは、その形を品詞の前に〈　〉で示した。
〈例〉＜意味＞　㊀ ❶〈クウなり〉{形}　むな-しい(むなシ)。穴があいている。

⑧ 漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、新たな番号を立てて(日本)の後に、①②③…の順にその意味を説明した。その際、品詞名は省略した。また、起源的に同じ仲間だと思われるものは、①②③…の中を㋐㋑㋒…に細分した。

⑨ その漢字の意味に、同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の漢字がある場合はそれを(同)・(類)・(対)として示した。

用例と出典

① 親字の意味の理解をたすけるために、中国の古典および日本漢文の中から用例を採録し、用例は、白文と、白文の後ろに書き下し文をつけて示した。

② 送り仮名は、基本的に＜意味＞や＜和訓＞の中の訓で示した通りに送った。また、用例の訓のうち、漢文の理解をしやすくするために、特殊な読みをしたり、意訳に近い読みをしたりしたものに関しては、＜意味＞や＜和訓＞の中の訓として取り上げていないものもある。

③ 用例の書き下しは、伝統的なものに従ったため、用例での読みと＜意味＞の中の訓とが一致しないものもあるが、品詞と説明文をあわせて読み理解してほしい。

④ 読みにくいものには、(　)の中に読みを示したものもある。

⑤ 用例の理解を助けるために、(　)の中に意味や補足説明を示したものもある。

⑥ 用例の出典名は、漢文用例の後に示した。その際、出典名を略称で示したものもある。用例の示し方は次の通りとした。
「a」〔b・c〕

a　用例文・熟語
b　出典名（文の場合は書名、詩の場合は作品名）
c　出典名（文の場合は篇名・章名、詩の場合は作品名）

《語法》コラム

漢文訓読上・読解上重要な語法を、訓読ごとにまとめ、使用頻度が高いと思われる順に並べて解説した。訓は現代かなづかいで示した。（　）内には、①歴史的かなづかい、②訓読で用いることもある訓、③動詞の活用形を「する」で（一部動詞以外もある）、それぞれ示した。用例は、主に高校用教科書掲載の漢文から採録し、書き下し文、現代語訳、出典名をつけて示した。送り仮名は基本的に＜意味＞や＜和訓＞の中の訓で示した通りに送った。また、漢文用例の訓のうち、漢文の理解をしやすくするために、特殊な読みをしたり、意訳に近い読みをしたりしたものに関しては、＜意味＞や＜和訓＞の中の訓として取り上げていないものもある。

＜解字＞

漢字の成り立ちを＜解字＞で解説した。その際、その漢字の六書（漢字の四つの造字法と二つの使用法）を冒頭に示した。一部の漢字で省略したものもある。

＜単語家族＞

漢字の成り立ちおよび意味の理解を更に深めるために、＜単語家族＞で同じ系統の漢字をまとめて解説した。

＜字形＞

活字（おもに明朝体と教科書体）と筆写との字形の違いについて、また、活字（おもに明朝体）の字形についての注意を＜字形＞で解説した。

＜類義＞

意味が似ている漢字の使い方の違いを＜類義＞で解説した。

＜異字同訓＞

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料に従って、＜異字同訓＞で解説した。

＜参考＞

その漢字を使うにあたって、気をつけるべき点（字形の似ている漢字との区別・特に間違いやすい点など）は、＜参考＞で解説した。なお、複数の情報が並列するものについては、「／（スラッシュ）」で区切った。

＜名付け＞

常用漢字・人名用漢字については、名前をつける時に用いる代表的な読みを＜名付け＞にまとめて示した。

＜難読＞

日本語の意味をあてはめて読むなど、難読の熟語で立項しなかったものは＜難読＞にまとめて示した。

筆順

常用漢字と人名用漢字には、1958年の文部省刊「筆順指導の手びき」に準じた筆順を、「学習指導要領」に示された書体（教科書体）に準じて示した。字形については、前掲「学習指導要領」に示された字形によったが、一部「筆順指導の手びき」「人名用漢字別表」に準じたものもある。

熟 語

収録の範囲

① 中国の主な古典にみえる語句、故事成語、地名。中国の主な古典の書名および、漢文で表記されている日本の古典の書名は、(書名)の後に解説した。また、中国の主な古典にみえる人名および、日本漢詩文の作者名は、(人名)の後に解説した。

② 日本の主な古典にみえる語句および、現代生活に必要と思われる難読の語。

③ 仏教の経典にみえる主な仏教語。

配列の方法

熟語の読みの五十音順とした。

見出し

二字目以下の漢字に旧字体・許容字体・書きかえ字があるものについては、以下の通り括弧を区別した。

・（　）は、旧字体（おもに二字目以下の漢字が「改定常用漢字表」に示される新字体と著しく異なる旧字体の場合）を示した。

〈例〉【沙弥（彌）】

・[　] は、許容字体（おもに二字目以下の漢字が「改定常用漢字表」で許容字体とされる漢字）を示した。
〈例〉【謙遜 [遜]】
・{　} は、国語審議会漢字部会資料の「同音の漢字による書きかえ」によって書きかえられる前の漢字を示した。
〈例〉【連係 {繫}】
・〈　〉は、国語審議会漢字部会資料の「同音の漢字による書きかえ」によって書きかえられる前の漢字が「改定常用漢字表」に入った漢字を示した（どちらを使用してもよい漢字）。
〈例〉【広範〈汎〉】
・〔　〕は、上記で示したもののうち、複数にわたるものをくくって示した。
〈例〉【画餅〔[餅]（餠）〕】

読み

① 熟語の読みは、現代かなづかいによって音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで示した。
② 熟語の読み方が二つ以上ある場合は、一般的な読み方を先にした。
③ 音読みと返り点読みの二つがある場合は、音読みを先にした。
④ 読みの違いによって意味が異なる場合は、㊀㊁…で区別した。
⑤ 現代中国語の読みは、ピンインではなく、カタカナで示した。
⑥ 熟語表記の上部や熟語一覧では、特定の意味でのみ使われる読み方は（　）をつけて示した。

意味の記述

① 意味の記述は、熟語の原義に近い順に①②…とした。
② 日本語特有の意味がある場合は、(日本) の後に記述した。
③ その熟語が仏教語・俗語である場合は (仏教)・(俗語) の後に示した。(俗語) には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれる。
④ その熟語と偏や旁が異なるだけで、同音同義の熟語がある場合は、次のように示した。
〈例〉【偏旁】（ヘンボウ）の説明において
〈偏傍・扁旁〉
⑤ 親字が同じ熟語で、意味が同じ場合は、次のように示した。その場合、意味が二つ以上あって、①②…のいずれかに該当する場合は、そ

の番号を示した。
〈例〉【余(餘)香】(ヨコウ)の説明において
［①余薫〈ヨクン〉・①余芳〈ヨホウ〉］①消えずに残っている香り。②遠くから漂ってくるかすかな香り。③…

⑥ その熟語と同音同義・異音同義・反義の熟語がある場合は、それぞれ(同)・(類)・(対)の後にその熟語を示した。

⑦ (書名)の項目では、最初にまず巻数を表示した。(人名)の項目で最初にある数字は生没年である。

用例と出典

熟語の用例と出典については、親字の場合に準じた。

故事成語

故事に関係する熟語および成語は、(成語)の後に解説した。

別の親字の熟語参照

熟語が別の親字と同じとなるものについては、【　】で囲んで対象の親字を示した。

略語・記号一覧

常用	常用漢字
許容	常用漢字の許容字体
人名用	人名用漢字
国字	日本製の漢字
＜意味＞	親字の意味
＜和訓＞	訓の代表的なもの
＜解字＞	漢字の成り立ち
＜単語家族＞	同じ系統の漢字の説明
＜字形＞	字形についての説明
(呉)	呉音
(漢)	漢音
(唐)	唐宋音
(慣)	慣用音
(平)	平声
(上)	上声
(去)	去声
(入)	入声
{名}	名詞
{動}	動詞
{形}	形容詞
{副}	副詞
{助動}	助動詞

{接続}	接続詞
{感}	感動詞
{指}	指示詞
{前}	前置詞
{代}	代名詞
{疑}	疑問詞
{助}	助辞・接頭辞・接尾辞
{単位}	単位詞
{数}	数詞
（日本）	日本語特有の意味
（仏教）	仏教語
（俗語）	俗語
（同）	同音同義の漢字・熟語
（類）	同義の漢字・熟語
（対）	反義の漢字・熟語
（成語）	故事に関係のある熟語
（人名）	主要な人名の説明
（書名）	主要な書籍の説明
【　】を見よ	他の親字の熟語を参照
＜類義＞	意味が似ている漢字の説明
＜異字同訓＞	訓が同じで意味に違いがある漢字の用法
＜参考＞	使用にあたっての注意すべき点
＜名付け＞	名前をつけるときに使う読み方
＜難読＞	読み方の難しい熟語
▷	補足説明
／	補足説明内の区切り
〈　〉	偏や旁が異なるだけで同音同義の熟語
［　］	親字が同じ熟語で、意味も同じ熟語
（＊）	使用を慎むことば
➡	ジャンプして参照

ジーニアス英和辞典 第4版

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

①アルファベット順に並べてある。

②同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし，右肩に番号をつけた。

bill[1]　bill[2]　Bill

B. 重要語の表示

（重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。）

⁂	Aランク	中学学習語，特に使用頻度の高い語	（約1150語）
⁑	Bランク	高校学習語	（約3100語）
*	Cランク	大学生・社会人に必要な語	（約5300語）
無印	Dランク	その他の語	（約70450語）

C. いろいろなつづりがある場合

①米国式と英国式のつづりがあるときは，米国式を優先し，英国式つづりは参照見出しとした。

⁂col·or,《英》−·our ... 名

②（　）は省略可能の部分，−は最初のつづりとの共通部分を示す。

③（−）はハイフンつきまたはハイフンなしの1語となることを示す。

D. 分節

①音節の切れ目は，·（小さい中点）で表示した。

②発音によって切り方が違うときは，最初に掲げた発音による切り方を示した。1語化した複合語（非分離複合語）では，構成要素の間だけを·で表示し，他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語（2語見出し）

2語以上からなる見出し語（以下「分離複合語」という）は，最初の語の複合語として，アルファベット順に掲げた。

ただし，Newのつく地名はnewの末尾でなく独立の見出し語とした。

F. 派生語の扱い

〜は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

①発音記号は/　/に入れて示した。省略可能な音

は（　）に入れて示した（省略可能な ə は *ə* とした）。

第１強勢（ストレス）は ´，第２強勢は ` をつけた。複数の発音が併記してある場合は，最初に示したものが最も一般的な発音である。

②発音の一部を省略するときは，省略部分をハイフン（-）で示した。

③品詞によって発音が違うときは，見出し語の直後に一括して掲げた（重要語についてはそれぞれの品詞のところにも示した）。

動＋は「動詞の場合はこの発音もある」という意。

④米国式と英国式の発音が異なるときは，米音・英音の順で示し，間に｜を入れた。

《米＋》は「米国ではこの発音もある」の意。

《英＋》は「英国ではこの発音もある」の意。

●次の音については米音と英音が異なっていて、次のように対応している。

/ɔ(ː)/ → 米/ɔː/ 英/ɔ/
/(j)uː/ → 米/uː/ 英/juː/
（時に/(j)ʊ//(j)ə/も用いた）
/ə*r*/ → 米/ɚ/ 英/ə/
/əː*r*/ → 米/ɚː/ 英/əː/
/əːr\ʌr/ → 米/ɚː/ 英/ʌr/
/oʊ/ → 米/oʊ/ 英/əʊ/
（英音を特に示すときは/əʊ/を用いた）
/ɑː*r*/ → 米/ɑɚ/ 英/ɑː/
/ɔː*r*/ → 米/ɔɚ/ 英/ɔː/
/ɪə*r*/ → 米/ɪɚ/ 英/ɪə/
/eə*r*/ → 米/eɚ/ 英/eə, ɛː/
/ʊə*r*/ → 米/ʊɚ/ 英/ʊə/
/ɪər/ → 米/ɪr/ 英/ɪər/
/eər/ → 米/er/ 英/eər, ɛːr/
/ʊər/ → 米/ʊr/ 英/ʊər/
/aɪə*r*/ → 米/aɪɚ/ 英/aɪə, aə/
/aʊə*r*/ → 米/aʊɚ/ 英/aʊə, aə/

⑤主として日本人の発音に多い誤りを防ぐ配慮から，次のような語の終りにくる音節主音的子音 /l/ /m/ /n/ の前では通例母音を表示しない。

（1） /pl/ **opal** /óʊpl/
/kl/ **local** /lóʊkl/
/sl/ **Russell** /rʌ́sl/
/bl/ **global** /glóʊbl/
/fl/ **beautiful** /bjúːtəfl/
（ただし，「…1杯分」の -ful は /-fʊ́l/）
/zl/ **hazel** /héɪzl/

/tl/ **metal** /métl/

/nl/ **panel** /pǽnl/

/ml/ **normal** /nɔ́ːrml/

その他 /dl/ /gl/ /vl/ など。

副詞形では **normally** /nɔ́ːrməli/ のようになる。

(2) /tn/ **button** /bʌ́tn/

/dn/ **harden** /hɑ́ːrdn/

/zn/ **reason** /ríːzn/

/sn/ **lesson** /lésn/

その他 /fn/ /vn/ など。

(3) /zm/ **prism** /prízm/

/ðm/ **rhythm** /ríðm/

⑥何らかの強勢が置かれた場合の発音(これを「強形(strong form)」という)と強勢が置かれない場合の発音(これを「弱形(weak form)」という)を区別する語については，それぞれ《強》《弱》という表示をつけて示した。

⑦Cランク以下の非分離複合語・ハイフン付き複合語については，特に必要な場合を除いて，発音表記を省略し，強勢だけを示した。分離複合語も強勢だけを表示した。ただし，複合語の構成要素がこの辞典の見出し語にない場合や，特にわかりにくい場合などは発音を示した。複数の強勢型がある場合には構成要素(2音節以上のとき)を少し長めのダッシュで表し/ˊ–ˋ, ˊ–ˊ /のように示した。

⑧**接頭** **接尾** **連結要素**の発音は代表的な発音だけを示した。

⑨発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には《発音注意》《アクセント注意》(これは「強勢の位置に注意」の意)と注記した。発音との関係などでつづりを誤りやすい語には《つづり注意》と注記した。

⑩日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を「類音」として掲げた。

fork /fɔ́ːrk/ ([類音] folk)

3. 原義(語源的意味)・基本義・語義展開図

①原義(語源的意味)あるいは基本義(中核的意味)を【　】に入れて示した。その語(句)の理解に役立つ語源的情報や由来などを適宜【　】で示した。

②外来語(完全に英語化しているものも含む)は，その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。

③【聖】は聖書，【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。

④主な派生語を【　】欄のなかの原義あるいは基本義の後に示した。

⑤多義語には見出し語の後ろの〈解説〉に「語義展開図」を収録し，基本義からの主要な意味の展開の様子を示した。これは必ずしも歴史的経緯をなぞるものではなく，現在のその語の主な語義を相互的関連のもとに理解するためのものである。

⑥主な前置詞には基本義を視覚的に表したイメージ図を示した。

4. 品詞

①品詞は次のように示した。

名 名詞	**代** 代名詞	**形** 形容詞	**副** 副詞
動 動詞	**自** 自動詞	**他** 他動詞	**助** 助動詞
前 前置詞	**接** 接続詞	**間** 間投詞	**冠** 冠詞
接頭 接頭辞		**接尾** 接尾辞	
連結要素 連結要素		**略** 略語	**記号** 記号

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

①名詞，動詞，形容詞，副詞の語形変化は，品詞表示のすぐ後に(　)に入れて示した。

②〜は見出し語まるごとの代用，－は見出し語の一部（音節の切れ目から前）の代用である。/〜/は（語形変化した場合でも）発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複　　) と表示した。

C. 動詞の語形変化

(三人称単数現在形；過去形，過去分詞形；現在分詞形) のように示した。但し，

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は 1 回だけ表示した。
- 2つ以上の形があるときは or で示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

① A，Bランクの 1，2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示した。

- (〜・er [est]) とあるのは原級に －er，－est を付加するものである。

- 語末の y を i に変える場合は(－·i·er[est])などと示した。
- ３音節以上で表示のないものは more 型である。

② Cランク以下の語では，表示のない場合，
- １音節の語では －er 型，
- ２音節以上の語では more 型である。

－er，－est をつけるとき語尾の子音を重ねるものは (-tt-) (《英》-ll-) などと示した。

③ A，Bランクの語を中心に，形容詞·副詞で通例比較変化しない語·語義には，(比較なし)と表示した。

６. 語義・文型表示・語法・用例

A. 語義の区分・順序

語義は ❶, ❷, ❸... の数字で区分し，さらに必要に応じて a)，b)，c) ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では，Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

①訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は(　)に入れた。

②[　]は直前の語句と交換ができる語句を示す。
decolorize ... **動** ...脱色[漂白]する
[「脱色する」または「漂白する」の意になる]

③語義の定義や内容説明は《　》に入れて示した。

C. 用法の指示，文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を[　]に入れて示した。

例

語形　[P ～]　見出し語は小文字だが，大文字で用いる。
[p ～]　見出し語は大文字だが，小文字で用いる。

名詞の用法
[the ～] [a ～] [an ～]　それぞれの冠詞つきで用いる。
[one's ～]　所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど) つきで用いる。
[～s] [～es]　複数形で用いる。(子音＋y で終る音については[～ies]と示した。)

形容詞の用法
[叙述]　叙述用法 (predicative use)(be, remain など連結動詞(copulative verb)の補語となる用法) で用いる。

[限定]　限定用法(attributive use)（名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法）で用いる。

[他動詞的に]　他動詞に由来し，「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ～ ed]　受身形で用いる。

[be ～ ing]　進行形で用いる。

そのほか

[俗用的に]　は，専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

D. 文型表示 (S,V,O(またはO_1,O_2),C,M)

①記号の意味　S＝主語　V＝動詞　O＝目的語
C＝補語
M＝副詞的修飾語(句)（前置詞句，副詞など）

②不定詞，動名詞，that節, wh節などを伴う場合や，ある前置詞を決まって用いる場合などは，それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は(　)に入れた。
/ は，その両側が交換可能であることを示す。
[SV to do/SV doing]

③“to do”“doing”という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは“to be”“being”とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域，文体，時代的差異などに関するスピーチレベルは，《　》に入れて示した。主なものは次のとおり（指示のない語は普通に用いられる一般語である）。

社会的差異

《非標準》非標準英語（標準英語には特に表示しない）

レジスター（標準英語内における機能的差異･スピーチレベル）

《正式》　堅い書き言葉･話し言葉（時に《文》に通じる）
《略式》　くだけた書き言葉・話し言葉
《俗》　俗語，非常にくだけた話し言葉
《性俗》　性的な俗語（下品な語，タブーとされる語も含む）
《文》　文語, 堅い書き言葉(時に《古》《詩》に通じる）
《詩》　詩で用いる言葉
《まれ》　使用頻度のきわめて低い言葉

年齢的・人種的差異

《学生語》学生特有の言葉
《小児語》小児特有の言葉
《黒人語》米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》　ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉。
《米》　米国でのみ用いる。
《英》　英国でのみ用いる。
《カナダ》カナダでのみ用いる。
《豪》　オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
ニュージーランドだけで用いる場合は特に《NZ》と表示した。
《南ア》　南アフリカ共和国でのみ用いる。
《イング》　イングランド方言
《北イング》北部イングランド方言
《スコット》スコットランド方言
《アイル》　アイルランド方言

その他，必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異　《やや古》《古》《廃》

その他　《愛称》《掲示》《Eメール》　など

F.《PC》・《侮蔑》

①性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には，非差別的表現を，《PC》という表現をつけて掲げた。
(PC＝politically correct)
assemblyman　議員 (《PC》assembly member)

②特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ，侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて，特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語，決まった分野で用いられる語では，分野を〔　〕で示し，多くは略号を用いた（9. 専門分野略語表参照）。

H. 選択制限・連語関係

①主語・目的語などにどういう内容の語がくるかを〈　〉で示した。また，その語と一緒によく用いられる前置詞（場合により動名詞・不定詞など）を，語義の後に〔　〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔　〕で示した。

fire... 動 ...❶〈人が〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕発射する，発砲する...〔at, into, on, upon〕

②動詞にしばしば伴う副詞辞は，語義の後に＋印をつけて（ ）に入れて示した。

figure... 動 ... ❷ …を計算する，合計する(+up)

I. いろいろな注記・記号

①語義の後の（ ）内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

②語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは《◆ 》に入れて示した。

- 「次の句」とあれば、同じ語義の用例（例）に句があることを示す。

③必要に応じて，次のような表示を用いた。

[語法] 特に高校生にとって必要とされる重要な解説には重をつけた。

[関連] [文化] [事情]

[類] 類義語

[類語比較] 類義語の意味・用法の違いの解説

[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識

× 文法的に誤った英語，語法上不適切な表現

cf. …を参照せよ

→ …を見よ（直接関連する情報が他の箇所にある場合）

⇔ 反意語・対になる語

♂♀ 人名の記述で，それぞれ男性・女性を表す。

《外来形容詞》 主にラテン語・ギリシア語からの外来語による形容詞形。学術語として用いるものが多い。

J. 用例

①見出し語と同じものを～で示した。

②語形変化した形については ～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es, ed をつけるものは ～ies, ～ied とした。

③[ ]は，語義の場合と同じように，直前の語（句）と交換が可能であることを示す。英文中での交換の起点を「 で示す（ただし1語だけの交換の場合は省略）。

④英語とその訳の両方に[ ]があるときは，[ ]の前の語（句）同士，[ ]の中の語（句）同士が原則として対応している（これは注記などでも同じ）。

(eclipseの項で) a sólar [lúnar] ～ 日[月]食

⑤名詞の用例の中の特に高頻度で用いられるコロケーション(連語)の部分は太い字体で示した。

⑥用例の中で，決まった場面で用いられる固定した表現・決まり文句(lexical phrase)には►印をつけて注意を喚起した。

⑦用例の言い換えを(＝)を用いて示した。
言い換えに用いた等号(＝)はまったく等しいという意味ではなく，むしろ ≒ ということで，だいたいこのようにも言える，といったかなり幅のある記号である。

K. イントネーション, 強勢など

①イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など，必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。

(1) ⤵(下降調)　通例平叙文で用いられ，文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。

(2) ⤴(上昇調)　通例疑問文で用いられ，質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で，文が未完結であることを示す。

(3) ⤵⤴(下降上昇調)　通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文末では対比とか話し手の含みのある態度を示す。

(4) ↘(部分下降調)　中途半端な下降で，未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。

②┊によって，若干の休止があることを示した。

7. C と U

名詞には，数えられるものに C (countable)，数えられないものに U (uncountable) の記号をつけた。

A. C U の意味

①C名詞は，単数形では a, an (または the, my, any) などの決定詞が必要であり，複数形にすることができる。

②U名詞は，冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ，複数形にならない。いわゆる物質名詞，抽象名詞，集合名詞などがこれに含まれる。
特に a, an がつくときは[a ～]，[an ～]と示した。また [しばしば a ～] [しばしば ～s]は[or a ～], [or ～ s]などと示した。

③C U は C 性の方が強いことを表している。

④U C は U 性の方が強いことを表している。
⑤U名詞の注記 ([種類] C)
U名詞であっても，その種類を問題にするときにC扱いになることがある。これを「**chalk 名** ...❶ U ([種類] C) チョーク」のように注記した。この場合，チョークの種類を問題にするときは C となり，chalks of different colors(異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。
⑥U C はつけない場合
[the ～] [a ～] [～s] [the ～s] [one's ～] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 U C はつけない。

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

① 成句は各品詞ごとに掲げた。
② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

①O は動詞・前置詞の目的語を示す(ただし，目的語ではなくても便宜上 O を用いた場合がある)。
②one'sは成句の主語と同一指示のものが人称代名詞(my, your, her, their など)になって入ることを示す。
その他の場合はO'sとする。oneself は再帰代名詞(myself, yourself, herselfなど)が入ることを示す。
③〈 〉〔 〕( ) [ ]の意味は単語の語義の場合(**6.B**, **6.H**)と同じである。
[ ] が成句見出しと訳の両方にあるときは，用例の場合(**6.J** ④参照)と同じように，英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
④重要語に相当する成句には ＊印をつけた。

C. 成句を扱う場所

①原則として，その成句に含まれる名詞のところで扱う。名詞を含まない場合は成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
② 成句は，「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

①「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる句動詞には，成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

[自]　自動詞＋副詞辞：目的語をとらない。
[他]　他動詞＋副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる
(～ O up / ～ up O のいずれも可)。ただし O が代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。
◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。
[自+]　[～ on O] 自動詞＋前置詞：目的語は前置詞の目的語である。他動詞に近づき、しばしば受け身が可能。

②句動詞以外でも，形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは＝を用いて示した。(top の項で)

from tóp to tóe ＝➡from HEAD to foot.

［from head to foot と同じ意味であり，それは head（スモールキャピタルなっている）の項に説明があることを示す］

9. 専門分野略語表

〔アメフト〕アメリカンフットボール
〔アングリカン〕アングリカンチャーチ

〔医〕	医学	〔印〕	印刷
〔映〕	映画	〔英史〕	英国史
〔音〕	音楽	〔音声〕	音声学
〔化〕	化学	〔絵〕	絵画
〔化工〕	化学工業	〔カトリ〕	カトリック
〔機〕	機械(工業)	〔ギ神〕	ギリシア神話
〔魚〕	魚類	〔漁〕	漁業
〔軍〕	軍事	〔経〕	経済(学)
〔建〕	建築(学)	〔言〕	言語学
〔工〕	工業･工学	〔鉱〕	鉱物学
〔古生〕	古生物	〔史〕	歴史(学)
〔歯〕	歯科(学)	〔社会〕	社会学
〔狩〕	狩猟	〔宗〕	宗教(学)
〔商〕	商業･商学	〔植〕	植物(学)
〔織〕	紡織	〔神〕	神学
〔心〕	心理学	〔人類〕	人類学
〔数〕	数学	〔生〕	生物(学)
〔政〕	政治(学)	〔生化〕	生化学
〔聖書〕	聖書(学)	〔精神医〕	精神医学

〔地〕	地学·地質学	〔虫〕	昆虫
〔鳥〕	鳥類	〔哲〕	哲学
〔天〕	天文学	〔電気〕	電気(工学)
〔電子工〕	電子工学	〔動〕	動物(学)
〔土木〕	土木(工学)	〔農〕	農業·農学
〔バスケ〕	バスケットボール		
〔美〕	美術·美学	〔美史〕	美術史
〔物〕	物理(学)		
〔プロテ〕	プロテスタント		
〔米史〕	米国史	〔法〕	法律·法学
〔薬〕	薬学	〔郵〕	郵便
〔林〕	林業·林学	〔倫〕	倫理(学)
〔ロ神〕	ローマ神話	〔論〕	論理学

◇ このほかの分野については省略しない形で，または「学」だけを省略して示してある（例：〔教育〕＝ 教育（学））。

ジーニアス和英辞典 第2版

1. ジーニアス和英辞典のしくみ

A. 見出し語とその並べ方

①かな見出し（ひらがな・カタカナ）で，国語辞典式の五十音順に並べた。

②清音，濁音，半濁音の順。「っ」（促音），「ゃ」「ゅ」「ょ」（拗音）は，それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の次に置いた。

見出し中の長音符（ー）は，その直前の音の母音を重ねたものとして配置した。

スープ　「スウプ」の位置
キーパー　「きいぱあ」の位置
セーフ　「セエフ」の位置
コーヒー　「こおひい」の位置

（ ）は省略可能，[ ]は直前の部分との交替可能を表す。見出しの配列は（ ）[ ]を除いた部分で行なう。

③かな見出しで同じ表記のものが2つ以上あるときは，肩に数字をつけ，後ろに＜＞で区別の手がかりを記した。

ライト[1]＜明り＞

ライト[2]<野球>

ライト[3]<複合語を作る>

英語の品詞が見出し語から推測しにくいときにも，<形>などで英語の品詞を示した。

助詞・助動詞・接尾辞など独立では用いられない語は，ハイフンをつけて見出しにした。

-に　-すぎ [-過ぎ]　-たい

特に重要語では，ほぼ同じ英語が対応する2語をいっしょに扱うことがある。

いたむ【痛む】/ いたい【痛い】

④日本語の形容動詞に英語の形容詞を対応させる場合は，原則として，**まじめ（な） あべこべ（の）** のように示した。動詞が対応する場合は，**すき（だ）** のように示した。

ただし，英語中見出しをたてない場合は（な）などは省略した。

B. 派生語見出し

「…する」「…した」「…ない」などのついた派生語見出しは，主見出しの後に 派 印の下に掲げた。日本語としてはやや長い語句であっても，英語では1語で表すものは適宜この形で示した。英語中見出しなどの記述の方式は独立の見出しに準ずる。

コア解説（☞3）を設けるものは独立の見出しとした。

C. 記述の構成要素

①本辞典の記述内容は次のような要素からなる。

かぎ【鍵】..**見出し語**

①[鍵]..**意味の区分**

key C（戸・車などの）かぎ　例...

...**英語中見出し・英語中見出しを用いた用例**

▶玄関のかぎをかけ忘れる leave the door unlocked

...... **英語中見出し以外の語を用いた用例**

複 かぎ輪 ker ring C　............ 複合語

派 かぎがかかる lock 自 ...　... 派生語

小さな項目では，適宜簡便な書き方をした。

D. 意味による区分

必要に応じ，見出し語を意味によって大きく区分して，①②…で示した。

あたま【頭】 ①[頭部] ②[頭髪] ③[頭脳]

英語の品詞によって区分することもある。

あいする【愛する】 ①〈動〉 ②〈形〉

2. 英語中見出し

A. 英語中見出し

①見出し語にほぼ対応する英語があるときは,「英語中見出し」を置き，その発音(わかりにくいもののみ)・文型・語義・用法・用例などを英和辞典と同じ方式で掲げた。
配列は，その見出し語を含む文・句を英語で表現する場合の有用性を考慮した。

②成句も，見出し語にほぼ対応するものは「英語中見出し」として掲げた。

B. 記述の方法

①記述の方法や記号類の用法などは,『ジーニアス英和辞典』とほぼ同様である。(ジーニアス英和辞典の項参照)

②英語の品詞は，日本語との対応がわかりにくいものについて表示した。
英語中見出しの語義のうち，見出し語と同じものは，まぎらわしくない場合省略することがある(たとえば,「**かくう (の)**【架空 (の)】」の項の英語中見出し imaginary の語義は「想像上の，実在しない」とし,「架空の」をあげていない)。

③英語の句・成句などで，動詞・前置詞の目的語をOで示した。また,目的語でなくても,便宜上,名詞にOを用いた場合がある。

3. コア解説

重要語で対応する複数の英語の使い分けが問題になる場合は，適宜囲み(バー(▬)で上下を区切る)で詳しい解説をした。ここで取り上げられる英語を「コア語」，囲みの解説を「コア解説」という。
コア解説ではコア語を初めにまとめて掲げ，解説・用例(➡印)ではそれらを一括して扱った。

A. コア語の選定

見出しになる日本語の中から重要な語をまず選び，それに相当する英語のシノニム(類義語)グループの中の重要な語をコア語とした。選定は，ネイティブスピーカーの直観的判断，コンピュータ・コーパスから得られる頻度，日本における英語教育の事情を考慮に入れて，日本人執筆者が行なった。

B. △・×

コア解説では，コア語のグループを構成するシ

ノニムの使い分けを詳述した。

コロケーション（連語関係）には文法のような一律的な規則はなく，その可否は慣用と直観に基づききわめて不安定である。したがって，執筆に際してはネイティブスピーカーが次の5段階でコロケーションの可否を評価した。

＋	OK
*	very slightly unusual
**	notably unusual
***	very unusual
****	deviant

実際にはこれを整理して，+(typical)は無印，*(less-typical)は△印，**以下(non-typical)は×印と3段階で表示した。

4. 用例

英語中見出しとは別に，見出し語を含む文・句を英語で表現する場合に役に立つ英語用例（英語中見出し以外の語を用いたもの）・成句を▶印の下に掲げた。

5. 複合語

①見出し語が最初につく複合語（原則として名詞）と，それにあたる英語を，複 印の下に掲げた。

②複数の英語をあげる場合は；で区切った。
重要なもの，用例を掲げるものは独立見出しとした。

中日辞典の使い方

1 見出しについて

1.1 この辞典には、見出しの漢字（親字）と見出し語の2種類の見出しがあります。

1.2 見出しの漢字は異体字・多音字を含め約13,500字、語彙は見出し語・関連語その他を含め約100,000語を収めました。北京・商務印書館発行、中国社会科学院語言研究所詞典編輯室編『現代漢語詞典（2002年増補本）』に収録された漢字および見出し語のほとんどすべてを採録したほか、『新華字典』（商務印書館発行）から親字を若干、採録しました。見出し語についてはさらに、近年使用の目立つ新語と、日本人学習者に必要と思われるものを『新華詞典』『応用漢語詞典』（ともに商務印書館発行）などから相当数補充しました。

2 発音について

2.1 発音は中国語表音表記法（「漢語拼音方案」1958年成立）に基づき若干の手直しを加え、ローマ字と声調記号によって示しました。

2.2 発音表記についての注意

(1) 音節が連続して読まれる場合に生じる声調変化は示さず、音節本来の声調で表記しました。したがって、次のような場合、表記と実際の発音では違いがあります（括弧内が実際の発音）。

例：好使：hǎoshǐ（háoshǐ）
　　一定：yīdìng（yídìng）
　　一心：yīxīn（yìxīn）
　　不论：bùlùn（búlùn）

(2) ただし、同じ音節を重ねることによって生じる声調変化は、実際の変化通りに表記しました。

例：好好儿　hǎohāor
　　慢慢儿　mànmānr

(3) 軽声には、声調記号を付けません。

例：桌子　zhuōzi

(4) 接尾語“-儿-er”が前の音節と融合した場合（r化）の表記は、一律に「r」としました。したがって、実際の発音とは異なる場合があります。
また、接尾語“-子-zi”は「z」とは表記せず「zi」と表記しました。

(5) 音節を続けて書く場合、次のような例には音節区切り記号「’」(アポストロフィー)を用いて、音節の区切りを示しました。

例：音節間で母音が続く場合

“皮袄 pí’ǎo”

-n・-ngと母音が続く場合

“恩爱 ēn’ài”“名额 míng’é”

(6) 語気助詞“啊 a”は、前の音節の末尾の音によって発音が変化しますが、一律に「a」で示しました。

2.3 二つ以上の読みを持つ漢字と単語・成語などは、「普通話異読詞審音表」(1985年12月修訂)に従い、今日標準とされる読みを示しました。そこで整理された読みで現在も必要と思われるものは、発音欄に説明を加えました。

2.4 発音表記と実際の発音に違いが生じたり、標準音と慣用音に差が認められる場合、および時によって軽声にも読まれるものなど発音上とくに注意が必要と思われるものは、それぞれの項目に発音によって説明を加えました。

2.5 固有名詞は、初めのローマ字を大文字で記しました。姓名は、姓・名とも大文字で記しました。

3 見出しの漢字

3.1 見出しとして掲げた漢字(親字)の字体は、今日、中華人民共和国において標準字体とされている字体です。歴史上、同音・同義で使用されたことのある字形(異体字)は括弧に入れて示しました。ただし、偏・旁については、そのすべては示しておりません。

例：马(馬)とは示しましたが、骚(騒)とは示しておりません。

3.2 標準字体のなかには、中華人民共和国成立以降に簡略化された漢字と旧来の簡体字が多数含まれています。これらの種類と使用範囲は、国家語言文字工作委員会が1986年に発表した『簡化字総表』とその関連説明に従いました。

3.3 今日、中華人民共和国で使用されている字体は1964年発表の『印刷通用漢字字形表』によって整理され規範化された字体です。この字体は「新字形」と呼ばれ、旧来の中国の漢字および現行の日本の漢字と形・書き方が異なるものを含みます。

3.4 見出しの漢字の配列は、音形を中国語表音表記法(ピンイン)で表記した場合のローマ字

順に配列しました。「ü」は「u」の後ろに置きました。ローマ字表記が同一の漢字は、第1声から声調の順に配列し、軽声に発音される漢字は第4声の後ろに配列しました。

3.5 ローマ字表記と声調が同一の漢字は、画数順に配列し、画数が同じものは第1画目の形（横棒（一）→たて棒（｜）→左払い（ノ）→点（丶）→曲げ（→）の順）で並べました。

例：gòu　勾、构、购、诟、垢
　　hào　号、好、昊、耗、浩

3.6 見出しの漢字は、音形の同じものは一つの漢字として扱いました。歴史的に来源が異なる場合を含め、意味の違いによって見出しを別立てにはしていません。例えば、"白"で表記される単語には、「白い」「（字が）まちがっている」「述べる」という大きく異なる意味の単語がありますが、"白1""白2""白3"として二つ以上の"白"という見出しの漢字を掲げる扱いはしていません。ただし、このように意味が大きく異なる場合は、語釈のなかで❶❷❸の記号で区別しました。

3.7 字形が同じ漢字でも音形の違うものは、別見出しとしました。例えば、"好"はhǎo、hàoの二つの音で読まれます。したがって、漢字"好"はhǎoとhàoそれぞれに対応する見出しの漢字として掲げました。

3.8 上記のように音形が複数ある漢字については、異読に見出しとは異なる読みを示し検索の便を図りました。

例：【好hǎo】では説明の最後に、異読【好hào】を掲げました。

3.9 漢字の表す内容は、単語あるいは単語を構成する要素です。この点は見出し語と同様であり、見出し語同様にそれぞれの意味・用法の説明を加えました。見出しの漢字が、接尾語"-儿""-子"を付けて単語として使用される場合には、漢字説明の中で（～儿）（～子）の形で説明し、常用されるものについては見出し語にもその単語を挙げました。

4 見出し語

4.1 見出し語は、見出しの漢字を先頭の文字とするものを一つのグループとして、それぞれの見出しの漢字の下にまとめて示しました。見出し語検索上の便利と見出し語の構造・意味を考える上での便利を配慮したためです。

4.2 見出し語は、単語のほか、連語·成語·慣用語·諺・接尾語・造語要素などを含みます。

4.3 見出し語は、表音表記を前に示し、漢字表記を後ろに示しました。複数の漢字表記のあるものについて、先頭の字が同じものは2001年12月19日発布の『第一批異形詞整理表』(中華人民共和国教育部　国家語言文字工作委員会)と『現代漢語詞典(2002年増補本)』を参考に順位を決めました。

例：ānpái【安排】 hánchen【寒碜・寒伧】

4.4 見出し語の配列は、音節(漢字)を単位とする中国語表音表記法(ピンイン)のローマ字順としています。したがって、単純な(機械的な)ローマ字順とはなりません。また、大文字・小文字は順序に関係しません。

例：Bājīsītǎn【巴基斯坦】とbājie【巴结】の場合。
第2音節の「jī」と「jie」が順序を決定します。「Bājīsītǎn」が前で、「bājie」が後ろです。

4.5 ローマ字表記が同一の音節は、第1声から声調の順に配列し、軽声は第4声の後ろに置きました。ただし、派生語が原調に戻ったものはこの限りではありません。

例：yùndòng【运动】とyùndong【运动】の場合、次の配列となります。

yùndòng【运动】
yùndòngbìng【运动病】
yùndòngchǎng【运动场】
yùndònghuì【运动会】
⋮
yùndòngxué【运动学】
yùndòngyuán【运动员】
yùndòngzhàn【运动战】
yùndong【运动】

例：guānxi【关系】とguānxìwǎng【关系网】の場合は、guānxi【关系】が先でguānxìwǎng【关系网】が後ろの配列となります。

4.6 二つ以上の単語から作られていることが明らかで表記が長めになる見出し語は、分かち書きをしました。成語も、原則として分かち書きとしました。

例：Ānquán lǐshìhuì【安全理事会】
bā bài zhī jiāo【八拜之交】

4.7「kàn//jiàn【看见】」「qǐ//lái【起来】」のように、「//」(ダブル・スラッシュ)を入れた見出し語は、「//」の部分に他の成分を挿入することができることを表します。ただし、この「//」記号は、動詞用法に有効で、名詞用法の場合には意味を持ちません。

例：kàn//jiàn【看见】 → 看得见、看不见
qǐ//lái【起来】 → 起得来、起不来
tóng//xué【同学】→ 我们俩高中时同过两年学
→ 老同学。►この場合は名詞なので、間に他の成分は挟めない。

4.8「-jìn//lái【-进来】」のような複合方向補語は、動詞「jìn//lái【进来】」の後ろに見出しとして挙げましたが、意味・用法が複雑なものは「囲み記事」として、発音の変化を含め詳細な説明と用例を加えました。

この場合「-」は、動詞・形容詞に後置されることを示すと同時に、この部分にも他の成分を挿入できることを表します。

例：-jìn//lái【-进来】→走进教室来、冲得进来

5 常用字・重要語について

5.1 学習上の目安として、見出し漢字の常用字に「＊＊」や「＊」印を付しました。

「＊＊」印を付した漢字は、国家語言文字工作委員会・国家教育委員会(現在の教育部)制定の『現代漢語常用字表』の常用字2500字です。

「＊」印を付した漢字は、同じく『現代漢語常用字表』の次常用字1000字です。

5.2 常用字のうち意味・用法が多岐に渡る漢字については、「ポイントのまとめ」を設け意味・用法の大略を把握できるようにしました。

5.3 学習上の目安として、重要語約8000に「★★」「★」「☆」印を付し3段階に分けました。

「★★」印を付したものは最もよく使用される単語で約1000語あります。

「★」印を付したものはよく使われる単語で約3000語あります。

「☆」印を付したものは、上記二つについでよく使われる単語で約4000語あります。

これらの単語の選定には、中国や日本で作られた語彙調査資料、初級・中級の教科書、

HSKをはじめとする各種の中国語検定の辞書・参考書などを参照して編集委員の山田眞一が選定した後、他の編集委員やインフォーマントの判定も参考にして決定しました。

5.4 見出しの漢字にも、「★★」「★」「☆」印がついていたり、「＊」印と両方がついているものがありますが、これらは、常用字であるとともに、漢字1字で単語としてもよく使用されるものであることを示しています。

6 語釈と用例

6.1 意味が複数に分かれる場合、**1**、**2**、**3**により分類して示しました。さらに区分けが必要と思われるものは、語法的なものはⓐⓑⓒで、意味的なものは①②③で示しました。また訳語でニュアンスの異なるものは「；」(セミコロン) で区切っています。

6.2 来源が異なることなどにより、意味に大きな隔たりがある場合には、❶、❷、❸によって区分しました。

6.3 意味の区分を示す数字**1**、**2**、**3**の後ろに、括弧で同義・類義語(＝)、反義・対義語(↔)を挙げました。これらの同義、類義、反義、対義の語は比較的ゆるい基準で示してあります。

6.4 常用字の説明の末尾には、下接記号に続けて、その漢字を第2音節以降に含む語例を列挙しました。成語の後ろにも同様の四字熟語を挙げました。

6.5 名詞、動詞、形容詞については、その品詞名を記していません。ただし、訳語と用例でその文法上の機能が明らかになるよう努めました。代詞(人称代詞、指示代詞、疑問代詞)、量詞、方位詞、数詞、副詞、介詞、接続詞、助詞、感嘆詞、擬声語、接尾語については、説明が必要と思われる範囲で品詞名を記しました。

6.6 重要な名詞には、量の記号の後ろに、その名詞について使用される量詞を示しました。

6.7 項目の後ろに、必要に応じて、〈書〉(文章語)、〈口〉(話し言葉)、〈方〉(方言)、〈成〉(成語)、〈喩〉(比喩) などの記号で使用レベルを示しました。また、専門語には、〈軍〉(軍事)、〈生理〉(生理学) などの記号で、その分野を示しました。

6.8 用例は、語釈と対応させて見出しの意味の理解を容易にし、その用法を明らかにする例文・例句を挙げるよう努めました。全部で約

90,000の用例を載せています。

6.9 用例の始まりには、「¶」(パラグラフ記号)を置きました。用例と日本語訳の間は「/」(スラッシュ)で区切りました。

6.10 用例中の見出し相当の漢字と語句は、「～」で示しました。

7 注意・参考など

7.1 見出しの説明には、次の記号によって各種の補充説明を行いました。

- 語法 文法上の注意事項。
- 比較 類義語間の意味・用法の違い。
- 日:中 漢字で対応する日本語がある場合、その意味・用法の違い。
- 注意 用法上などでの注意事項。
- 参考 関連する事項で、中国語学習のうえで参考になると思われる事柄。
- 発音 発音上の変化、発音上の注意。
- 語源 その言葉の由来を知る上での参考事項。

7.2 囲み記事

大きな囲み記事:小項目主義の見出しの中では、十分説明できない文法事項や百科項目については、それぞれ「囲み記事」を設け、関連語や言葉の背景・文化の基礎知識を扱いました。

また、日本人の理解しづらい中国語の語法、関連語をまとめて示した方がよい見出し語については、小さな「囲み記事」にまとめました。

7.3 「動作動詞」のコラム

日本人学習者に理解しづらい動作動詞の使いわけについては、類義語をイラストと文章で簡明に比較し別枠コラムにしました。

8 記号・略号一覧

- ⁂ * 常用字を示す。
- ★★ ★ ☆ 重要語を示す。
- - 接尾語を示す。
- 【 】 見出し語の中国漢字表記を示す。
- ❶❷ 大きな語義分けを示す。
- 1 2 語義番号を示す。
- ⓐⓑ (語法的な)用法の違いや細かな語義分けを示す。

①② (意味的な) 用法の違いや細かな語義分けを示す。
(＝) 同義語・類義語を示す。
(↔) 反義語・対義語を示す。
画 漢字の画数を示す。
‖ 文字情報の区切りを示す。
¶ 用例の始まりを示す。
～ 見出し相当語の省略を示す。
/ 用例中の中国語と日本語の境を示す。
“ ” 日本語の文中の中国語を示す。
► 訳語・用法等の補足説明を示す。
量 見出し語に使われる量詞。
➡ 関連する見出し語や熟語へジャンプして参照。
⬇ 次項目にその親字が使われた熟語があることを示す。
→ 親字の用例の空見出しで、それが熟語として立項されていることを示す。
下接 親字の漢字を第2音節以降に含む熟語を示す。
成語 親字の漢字を第2音節以降に含む四字熟語を示す。
異読 親字に別の音があることを示す。

〈成〉成語 〈略〉略語
〈書〉書面語 〈口〉口語
〈方〉方言 〈俗〉俗語
〈転〉転義
〈旧〉旧中国で使われていた言葉・語義
〈近〉近世の白話
〈古〉古代に使われていた言葉・語義
〈諺〉ことわざ
〈套〉挨拶などの儀礼的な常套句
〈喩〉たとえ・比喩
〈敬〉敬語・敬称 〈謙〉謙譲語
〈婉〉婉曲表現 〈慣〉慣用語
〈諧〉諧謔 〈諷〉諷刺・皮肉の表現
〈罵〉罵り言葉 〈蔑〉軽蔑的な言葉
〈貶〉貶(けな)し言葉
〈譏〉そしり、非難するニュアンスをもつ言葉
〈中医〉中国の伝統医学・漢方
〈中薬〉中国薬・漢方薬

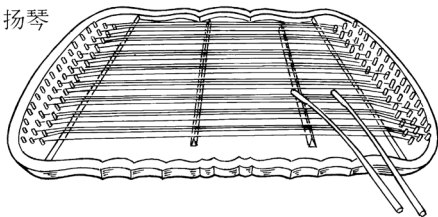
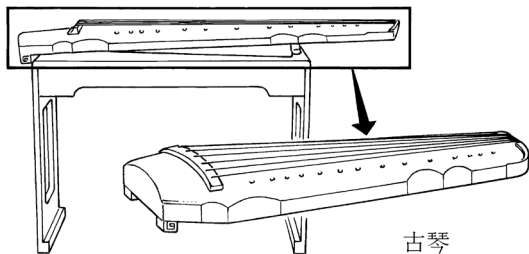
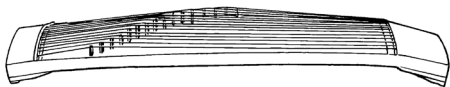
〈医〉医学
〈姓〉単姓・一字で姓として使う字
〈複姓〉複姓・二字以上の姓
〈宗〉(仏教を除く)宗教
〈史〉歴史上の事柄
〈化〉化学
〈気〉気象
〈地質〉地質学
〈石油〉石油
〈冶〉冶金
〈電〉電気
〈電算〉コンピュータ
〈機〉機械
〈裁〉裁縫
〈無〉無線
〈水〉水利・治水
〈美〉美術・美学
〈劇〉演劇
〈論〉論理
〈生〉生物学
〈生化〉生化学

〈薬〉薬物・薬学
〈仏〉仏教
〈物〉物理
〈天〉天文・天体
〈地〉地理
〈鉱〉鉱物
〈数〉数学
〈印〉印刷
〈電子〉電子工学
〈統計〉統計
〈紡〉紡績
〈映〉映画
〈測〉測量
〈音〉音楽
〈写真〉写真
〈心〉心理学
〈生理〉生理学
〈古生物〉古代の生物
〈文〉文学

〈語〉言語学・語学
〈商標〉商標
〈法〉法律・司法
〈動〉動物
〈虫〉昆虫類・クモ類
〈貝〉貝類
〈農〉農業
〈牧〉牧畜業
〈交〉交通
〈航空〉航空
〈環境〉環境
〈食材〉食材

〈経〉経済・商業
〈政〉政治
〈軍〉軍事
〈植〉植物
〈魚〉魚類
〈鳥〉鳥類
〈林〉林業
〈体〉体育・スポーツ
〈自〉自動車
〈航海〉航海
〈料理〉料理

中日辞典絵図

○中日　関連囲み記事　［音乐　yīnyuè**］弦楽器**

日中辞典の使い方

1 見出し語

1.1 この辞典には、日本語を中国語におきかえるうえで必要と思われる基本語、複合語、ことわざ、慣用句、新語、俗語、外来語、動・植物名、各専門分野のことば等、現代生活でよく使われる約９万語を収めました。助詞、助動詞、接頭語、接尾語等もできる限り収録しました。

1.2 配列は五十音順としました。外来語は片仮名、それ以外は平仮名で、現代仮名遣いに従って示しました。

1.3 仮名が同じである場合は、清音、濁音、半濁音の順としました。

へらへら→べらべら→ぺらぺらの順。

1.4 促音の「っ」と拗音の「ゃ・ゅ・ょ」は、それぞれ直音の「つ」「や・ゆ・よ」の前に配列しました。

あっかん【悪漢】→あつかん【熱燗】の順。

1.5 外来語の長音「ー」は、その前の片仮名の母音と同じ扱いで配列しました。

アーモンド →「アアモンド」の位置に配列。
イーグル →「イイグル」の位置に配列。

1.6 ひらがな見出しが先、カタカナ見出しを後に配列しました。

とりお【取り緒】→トリオの順。

1.7 仮名による表記が同一の語が続く場合は、その漢字表記・品詞により、下に示す順序で配列しました。

1 表記に漢字が当てられていないものが先、当てられているものが後。

あら→あら【粗】の順。

2 漢字の当てられていないものどうしは、次の品詞順。

名詞→代名詞→形容動詞→連体詞→副詞→接続詞→感動詞→助詞→連語→動詞→形容詞→助動詞→接頭語→接尾語

3 漢字が当てられているもので、その表記が漢字もしくは漢字かな混じりの場合は、全体の文字数の少ない順。

あく【悪】→あく【灰汁】の順。

4 表記の文字数が同じ場合は、仮名の混じっているほうが先。それでも決まらない場合は最初に掲げる漢字の画数順としました。

あく【明く】→あく【飽く】→あく【灰汁】

の順。

5 漢字のみの表記で同数の漢字からなる場合は、１字目の画数の少ない方が先。同画数なら『康熙字典』の順。同字ならば２字目の画数となります。

6 接頭語・接尾語は、表記の文字数に関係なく同一の仮名見出しの一番最後に掲げました。

7 外来語でかな見出しが同じ時はその表記欄の原語のアルファベット順。

8 準見出し（1.10参照）も上記の原則となります。ただし「〜」が最初についているものを先頭に置きます。「〜」が準見出しの途中に出現する場合は、１字目の50音順（１字目が同じなら２字目で､以下同様）に配列しました。

1.8 接頭語、接尾語はそれぞれ前と後にハイフン(-) を付けて示しました。

1.9 見出し語の中で、特に基本的なもの約1500語に、「＊」を付しました。これは各種資料を参考にして編集部の判断で選定したものです。

1.10 慣用句・成語・ことわざ（準見出し）
原則としてその冒頭に現れる語を本見出しとみなして、その見出しの解説末尾にまとめて配列しました。ただし、中心的な意味・役割の語が冒頭に来ないものは、例外的にその主要な語を本見出しと定めて扱いました。その場合は、できるだけ➡で、相互に参照できるようにしました。

2 見出し語の表記

2.1 【　】の中に、見出し語の漢字を用いた一般通用の書き表し方を示しました。ただし、動・植物名は原則として漢字表記を省きました。

2.2 〖　〗の中には外来語のもとの外国語を適宜示しました。外国語の頭に付けた小文字のド・フ・イなどはドイツ語・フランス語・イタリア語などの意味で、表示のないものは英語となります。

2.3 日本語と外国語とが合成されてできた語はつぎのように示しました。

アートし【—紙】　「—」部分はもとの外国語綴りを省略した意味です。

3 品詞

3.1 同じ仮名綴りの見出し語が続いたり、見出し語の表記だけではその語の品詞が識別しにくい場合には、必要に応じて【 】の後ろに品詞名を示しました。

名＝名詞	代＝代名詞
自動＝自動詞	他動＝他動詞
形＝形容詞	形動＝形容動詞
副＝副詞	助動＝助動詞
助＝助詞	接続＝接続詞
感＝感動詞	接頭＝接頭語
接尾＝接尾語	補動＝補助動詞

3.2 動詞や助詞などで、検索に便利なように、自動 他動〔副助詞〕〔格助詞〕のように分けて示したものもあります。

3.3 ひとつの見出し語の中でふたつ以上の品詞を扱う場合や用法の異なりが著しい場合は 1 名… 2 副… のように示しました。

4 語義と訳語

4.1 見出し語の意味が複数に分かれる場合、迅速に求める語義にたどりつけるよう、1《 》… 2《 》… のように示しました。《 》の中には見出し語のそれぞれの語義をわかりやすく示しました。ただし、語義の差が小さい場合、語義分類をするとかえって複雑になる場合は、あえて分類しませんでした。

4.2 訳語はできるだけ現在よく使われるものを掲げるようにつとめました。

4.3 訳語が複数に及ぶときは、それぞれをカンマ（,）で区切りました。ひとつの語義の中で訳語が複数になり、それぞれの訳語の意味の差、使われ方の差が比較的大きい場合はセミコロン（；）で区切りました。その際、意味の差、用法を適宜、訳語の前に［ ］で囲んで示すようにしました。

4.4 訳語の後ろには必要に応じ、㊫（書面語）、㊐（口語）、㊄（方言）、㊑（俗語）、㊒（成語）の記号で使用レベルを表示しました。

5 用例

5.1 用例は、現在 日常的に用いられる平明な例文・例句を挙げるようつとめ、全部で約15万例収録しました。その配列順

序は、原則として ①語句、短句、短文 ②文　③派生語および複合語　の順としました。

5.2 用例の始まりには、それぞれ　¶（パラグラフ記号）を置きました。日本語用例と中国語訳との間は / で区切りました。

5.3 用例中の見出し語相当語句は、～で示しました。見出し語が用例中で濁音・半濁音に変化する場合も、～で代用しました。活用語で形が変わるものは、～で代用することはせず、そのまま全体を記述することにしました。

5.4 用例の中国語訳の中で、代替可能な部分は「○○〔××〕の形で示しました。○○と××は入れ替えが可能であることを示し、その起点は「 以降であることを示しています。ただし、文頭およびカンマ（,）で区切れているところから代替可能な場合は、「 を省略しました。

6 用法・注意・参考など

6.1 訳語の用法、意味の差などは、訳語の前に［　］で示すことを原則としましたが、さらに補足を要する場合は ► の記号を用いてその後ろに若干の説明を加えました。

6.2 注意 参考 比較 語法 欄を各語義の末尾、解説全体の末尾に置き、訳語もしくは見出し語全体におよぶ内容の補足説明を適宜施しました。

7 相互参照

7.1 ほとんど同じ意味の語、音が異なるが内容が同じ語は、一方をカラ見出し、もう一方を主見出しとして、つぎのように参照させました。

あけはなし　➡あけっぱなし
（「あけっぱなし」の項で解説）
あちらこちら　➡あちこち
（「あちこち」の項で解説）

7.2 他の見出し語に、関連の記述がある場合、または補足的な記述がある場合は、つぎのように参照させました。

あちら……　➡こちら、➡そちら

7.3 見出し語の周辺の関連事項を広くとらえられるように、つぎのように特設の「関連囲み記事」を参照させました。

あお【青】……➡色

8 ピンイン（拼音）表記

8.1 見出し語の訳語には、漢字表記の後に《汉语拼音方案》（中国語ローマ字表記方案）によるピンイン表記を示しました。ただし対訳語になっていない解説的訳語の場合は、一部のピンイン表記を示すにとどめました。

8.2 準見出し（1.10参照）の訳語、および用例の訳文には、読みにくいと思われるものにのみ適宜、部分的にピンイン表記を示しました。

8.3 原則として、単語をつづけ書きの単位としました。

8.4 成語は漢字ごとに分かち書きしました。

8.5 異読詞の音は、《普通话异读词审音表》（1985年12月修訂）に従いました。

8.6 “一yī”、“不bù”は、声調変化が起こる場合もすべて原声調を記しました。

8.7 隔音符号のアポストロフィ（’）が行末に来る場合は、これを省略しました。

9 関連囲み記事

小項目主義の辞典のスタイルではとりあげにくい関連語の集約や、日中両国間の文化の差異などの記述については、随所に「関連囲み記事」を特設して示しました。

10 日本文化紹介コラム

日本独特の生活･文化を表現する語について、その背景・周辺の知識などを含めた解説文（日本語と中国語）を加えたコラムを約100項目設け、より充実したコミュニケーションを目指す学習者の参考としました。中国語訳は日本語を逐語的に訳さず、日本語にはないが中国語で解説する場合必要と思われる語句を随時補っています。

11 場面別会話表現コラム

日常的会話表現に習熟する助けとなることを目標に、見出し語に関連する場面において、会話として出現することの多い中国語の表現（例:見出し語“叱る”に対して、「こら、何やっているんだ」「何度言ったらわかるんだ」など

の表現）を約100項目コラムにまとめています。

12 記号の使い方

記号	説明
*	基本語を示す。
-	接頭語、接尾語を示す。
【　】	見出し語の漢字表記を示す。
〖　〗	外来語のもとの綴りを示す。
1 2	品詞の区別、または意味区分が大きく変わることを示す。
１ ２	語義番号を示す。
《　》	語義分けの定義の説明を示す。
［　］	訳語の用法指示、ニュアンスの差などを示す。
「○○〔××〕	「を起点にして○○と××が入れ替え可能であることを示す。
¶	用例の始まりを示す。
〜	見出し相当語の省略を示す。
/	用例中の日本語と中国語の境を示す。
➡	関連する見出し語へジャンプして参照。
►	訳語、用法などについての簡単な補足説明を示す。
“　”	日本語の文章の中の中国語を示す。

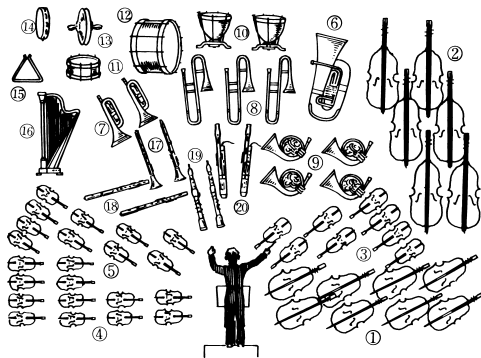
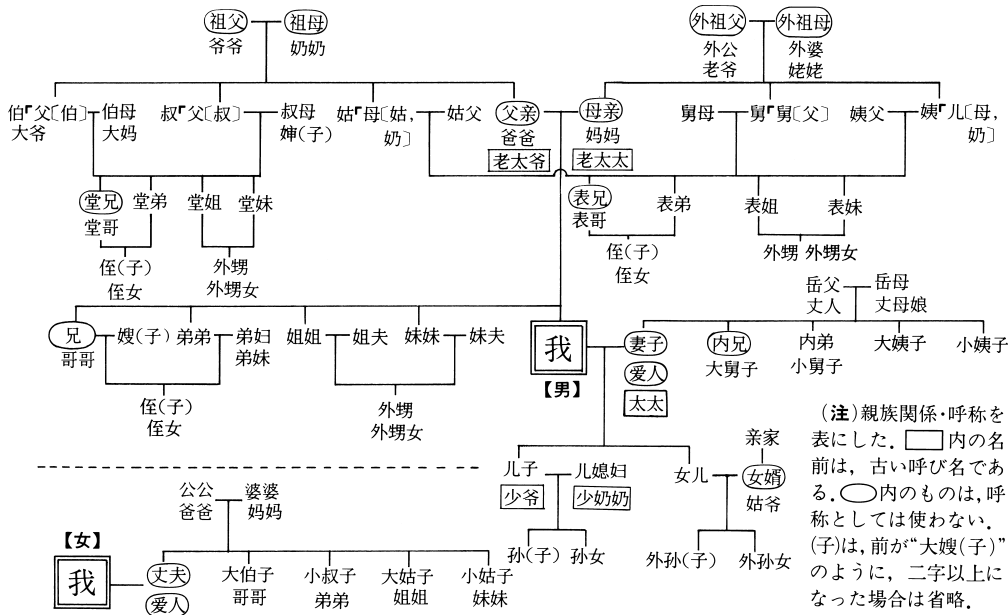
13 主な略語表

略語	意味	略語	意味
〈語〉	言語学	〈史〉	歴史
〈宗〉	宗教（仏教を除く）	〈仏〉	仏教
〈楽〉	音楽	〈哲〉	哲学
〈工〉	工業	〈天〉	天文学
〈化〉	化学	〈地〉	地理
〈地名〉	地名	〈電〉	電気
〈心〉	心理学	〈軍〉	軍事、軍隊
〈体〉	体育、スポーツ	〈法〉	法律、法学
〈政〉	政治、外交	〈経〉	経済、商業、貿易
〈論〉	論理学	〈ギ神〉	ギリシア神話
〈ロ神〉	ローマ神話	〈医〉	医学
〈薬〉	薬理、薬学	〈気〉	気象
〈数〉	数学	〈農〉	農業
〈林〉	林業	〈動〉	動物
〈植〉	植物	〈鉱〉	鉱業
〈生化〉	生化学	〈機〉	機械
〈空〉	航空	〈原〉	原子力
〈生理〉	生理学	〈測〉	測量
〈紡〉	紡織、織物	〈電算〉	コンピュータ
〈光〉	光学	〈写〉	写真
〈生〉	生物学	〈冶〉	冶金

〈宇〉宇宙工学
〈船〉海事、船舶
〈印〉印刷
〈美〉美術
〈舞〉舞踊、ダンス

〈建〉建築
〈鉄〉鉄道
〈映〉映画
〈馬〉馬術、競馬

日中辞典絵図

日中 関連囲み記事 ［楽器］

(注)親族関係・呼称を表にした．▭内の名前は，古い呼び名である．⬭内のものは，呼称としては使わない．(子)は，前が“大嫂(子)”のように，二字以上になった場合は省略．

参　考

字形について

- この製品に使われている日本語の漢字の字形は JIS X 0213-2004に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、補助漢字やJISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】

活字	漢字源の見出し漢字など（48ドット）	各辞書機能の意味など（12ドット）

コンテンツ（辞書など）の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ（辞書など）の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

困ったときは

よくあるご質問

次のご質問以外にも、よくあるご質問の情報はパソコンの下記サポートページで調べることができます。

http://www.sharp.co.jp/support/

ご質問内容	対応方法（回答）
表示が暗い・明るい	● 各種設定のメニュー画面で、「明るさ調整」を選び調整します（☞57ページ）。 ● 日中の屋外など明るい場所では画面が見えにくくなります。日陰など、強い光が当たらないようにしてご使用ください。 ● 本製品は約30秒間（音再生時は約5秒間）キー操作をしないと画面が暗くなります。何かキーを押すと元の明るさに戻ります。なお、この暗くなる時間は変更できません。

ご質問内容	対応方法（回答）
画面のボタンなどにタッチしても反応しない／ずれた位置で反応する	各種設定のメニュー画面で「タッチパッドの調整」を選び、調整します（☞59ページ）
画面にタッチした位置と文字が書かれる位置がずれる	各種設定のメニュー画面で「タッチパッドの調整」を選び、調整します（☞59ページ）
画面に書いている途中で認識されてしまう	「文字を手書き入力する」の「手書き入力のご注意」（☞28ページ）を参照し、必要に応じて手動認識でご利用ください。
手書きで長音符「ー」が入らない	漢数字の「一」と認識されやすいので、候補の中から選んでください。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてみてください。

ご質問内容	対応方法（回答）
ハングルの手書き入力で目的の文字候補が出ない	ハングルには、同じ文字が書体によって違った文字に見えることがあります（例：잔と잔はㅈとスが異なって、違う文字に見えますが同じ文字です）。
調べたい語が出てこない	次のことを確認してください。 ●読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
読みのわからない漢字の調べかたは...	手書きや部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます（☞63ページ）。

ご質問内容	対応方法（回答）
“？”や“～”が使える機能は？	ワイルドカード“？”、ブランクワード“～”は、スーパー大辞林、英和・和英辞典などで使えます（☞40ページ）。スーパー大辞林の逆引きなどでは使えません。
ローマ字で思うように入力できない	171～174ページを参照して入力してください。
50音でかな入力はできないか？	この製品は「ローマ字かな入力」または手書きでかなを入力します。50音かな入力はできません。
日本語の読み検索を行う場合に英字始まりの見出し語が入力できない	「ISO」など英字で始まる見出し語は「あいえすおー」のように読みをひらがなで入れます。数字から始まる見出し語も、読みをひらがなで入れてください。 見出し語にカッコ（「 」）や中点（・）などの記号がある場合は省略して入れてください。
消費税の税率が変わってしまったら...	消費税の税率は変更することができます。54ページをご覧いただき、設定を変更してください。

ご質問内容	対応方法（回答）
国名などが変わっている古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ（辞書など）のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ…	１つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 **例** 表記の違い： 敢え無い（スーパー大辞林） 敢えない（和英） 中国語と日本語の漢字は、同じように見えても別の文字であり、ジャンプすることはできません。

ご質問内容	対応方法（回答）
凡例（編集方針など）を知りたい	71～158ページを参照してください。
音声の再生ができない／音が出ない	● 音声は付属のイヤホンで聞きます。イヤホンを正しく接続してください（☞38ページ）。 ● 音量が小さくなっていませんか。音量を調整してみてください（☞58ページ）。 ● 電池が消耗していませんか。電池を交換してみてください（☞170ページ）。
電源を入れたとき「データに異常があったため製品を初期の状態にしました」と表示された	強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなどに、単語帳やしおりなどの登録データに異常が発生する場合があります。この場合は、電源を入れたときに製品を初期状態に戻します（☞166ページ）。

ご質問内容	対応方法（回答）
充電池は使えますか？	充電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®（エネループ）とパナソニック株式会社の単4形充電式EVOLTA（エボルタ）をご使用いただけます。その他の充電池はご使用いただけません。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	● 電池が消耗していませんか（☞170ページ）。 ● 電池が正しく取り付けられていますか（☞170ページ）。 ● 指定以外の電池を使用していませんか（☞169ページ）。 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください（☞165ページ「異常が発生したときの処理」）。

こんなとき	ここをお確かめください
すべてのキーが働かない	本体裏側のリセットスイッチを押してください（☞165ページ）。
キー入力で文字が正しく入らない	ローマ字のつづりは正しいですか。 171～174ページを参照して入力してください。
キーを押したとき“ピッ”と鳴らない	この製品はキーを押したときに“ピッ”と音を出す機能はありません。
手書き文字が正しく認識されない 手書き入力の方法は？	25～30ページを参照ください。 28ページの「手書き入力のご注意」に手書き入力の注意点も掲載しています。
自動的に電源が切れる	この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。電源が切れるまでの時間は変更することができます（☞57ページ）。

こんなとき	ここをお確かめください
充電池での使用時間が「参考」として記載されている使用時間に比べて短い	使用電池の設定が「アルカリ乾電池」になっていませんか。「充電池」に設定してください(☞58ページ)。

- これらを確かめても症状が発生する、また、これら以外の症状が発生した場合は故障が考えられます。
  お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに[クリア]も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

電源が切れます。

- リセットスイッチを押すとき、他のキーを押さないように注意してください。
- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 [入/切]を押して電源を入れます。

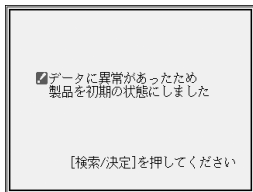
電池設定画面が表示されます。

3 画面に従って、電池の設定を行ってください（☞5ページ）。

メインメニュー画面が表示されます。

異常を知らせる画面が表示されたら

電源を入れたときなどに次の画面が表示されたときは、データに異常があったため本体をお買いあげ時の状態に戻したことを示します。

データに異常があったため
製品を初期の状態にしました

[検索/決定]を押してください

このときは[検索/決定]を押してください。
電池設定画面が表示されますので、電池の設定を行ってください。
なお、異常を検出したときに電池が消耗していると「電池が消耗しているので初期の状態に戻せない」旨のメッセージを表示する場合がありますので、この場合は電池を交換してから電源を入れ、初期の状態にした旨のメッセージを確認してください。

注意

- リセット操作で異常状態が回復しない場合は、次ページの初期化の操作で、お買いあげ時の状態に戻してください。

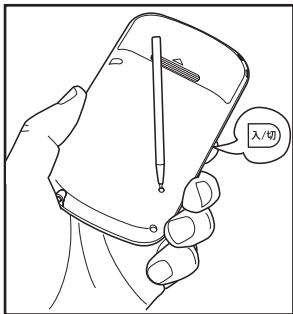
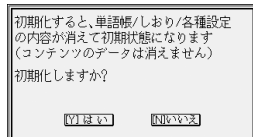
お買いあげ時の状態に戻すときは

登録した内容などをすべて消去して、お買いあげ時の状態（初期状態）に戻したいときは、次の操作で行います。

1 **［入/切］を押したまま、ボールペンなどで本体裏側のリセットスイッチを押し、ボールペンを離した後、初期化の確認画面が表示されたら［入/切］を離します。**

- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

初期化の確認画面が表示されます。

初期化すると、単語帳/しおり/各種設定
の内容が消えて初期状態になります
（コンテンツのデータは消えません）
初期化しますか?
[Y]はい　[N]いいえ

- 違う画面が表示されたときは、もう一度、確実に手順1の操作を行ってください。

2 **［Y］キーを押します。**

画面に「初期化中です」「初期化しました」と一時表示したあと、電池設定画面が表示されます。

3 **画面に従って、タッチパッドの調整、電池の設定を行ってください（☞4ページ）。**

メインメニュー画面が表示されます。

注意

- この操作･処理により、単語帳･カード式単語帳の登録データ、しおりの内容、電卓のメモリー内容が消去され、「各種設定」などで設定した内容が初期の状態に戻ります。

付　録

◎●○

この製品を長くご愛用いただくための注意点などをまとめています。よくお読みいただき、正しくご使用ください。

電池について

電池が消耗すると電源が切れて入らなくなります。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用できる電池

乾電池：アルカリ乾電池 単4形　LR03　2本
充電池：三洋電機株式会社製
　単4形 eneloop® （エネループ）2本
　パナソニック株式会社製
　単4形 充電式EVOLTA（エボルタ）2本
（2011年7月現在）

※ **指定の電池以外は使用しないでください。電池容量・電圧が異なり、誤動作や故障の原因になります。なお、充電池をご使用の場合は3ページの「市販の充電池の取り扱いについて」の内容をお守りください。**

注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

充電池について

ご参考：**充電池をご使用の場合の使用時間（参考値）**

新しい電池を満充電でご使用いただく場合（常温25℃で連続表示のときの参考値）
eneloop®：約75時間
充電式EVOLTA：約75時間
※使用温度、使用状態によっては使用時間が短くなります。
『充電池を使用する場合は電池設定を「充電池」に設定してください（☞58ページ）。』

電池の交換時期

画面右上に“▯”が表示されたときや、電源を入れてもすぐに暗くなるときは電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

▶参考◀

- **アルカリ乾電池について**
  電池の使用時間は約110時間です。(常温25℃で連続表示のとき。)

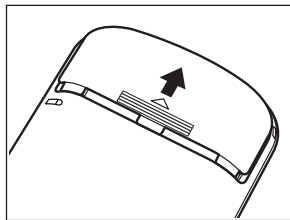
※電池の種類(メーカー)、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

電池の交換手順

注意

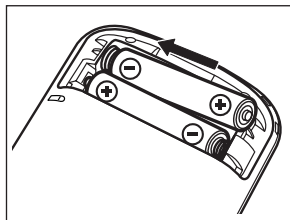
電池交換は必ず電源を切ってから行ってください。電源を切らずに行うと、単語帳などの記憶内容が消去されることがあります。

1 **入/切 を押して電源を切ります。**

2 **本体裏面の電池ぶたを外します。**

3 **消耗した電池を取り出します。**

4 **新しい電池を入れます。**

2本とも新しい電池に交換してください。
また、向きを正しく入れてください。

電池交換時に 入/切 を押さないように注意してください。

5 電池ぶたを取り付けます。

6 入/切 を押して、電源が入り、電池設定画面になることを確認してください。

もし、初期化の確認画面が表示されたときは N キーを押してください。Y キーを押すと本体が初期化され、単語帳・カード式単語帳などの記憶内容が消去され、各種設定が初期状態に戻ります。

電源が入らないときは2〜6の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。
それでも電源が入らないときは165ページのリセット操作を行ってください。

7 画面に従って電池の設定を行ってください（5ページを参照）。

ローマ字→かな変換表

あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO

ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ	わ	ゐ		ゑ	を
	WA	WYI		WYE	WO
ん	ん				
	N NN NX				

ゔ			ゔ		
			VU		
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

いぇ				いぇ	
				YE	
うぁ	うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ	くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	QA KWA	QI KWI QWI	QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO

付録

とぅ			とぅ		
			TWU		
にゃ	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO

▶参考◀

- 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

ゔぁ	ゔぁ	ゔぃ		ゔぇ	ゔぉ
	VA	VI		VE	VO
ゔゅ			ゔゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どぅ			どぅ		
			DWU		
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

小さい文字を単独で入れる場合

あ	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	XA	XI	XU	XE	XO
っ			っ		
			XTU		
ゃ	ゃ		ゅ		ょ
	XYA		XYU		XYO
ゎ	ゎ				
	XWA				

撥音（はつおん）の入力

“ん” の次に母音または “Y” がくるときや、“ん” で終わるときは “NN” と入力する。または “N” の後ろに “X” をつける。

ほんやく → HONNYAKU
(HONXYAKU)
はんい → HANNI (HANXI)
ほん → HONN (HONX)

上記以外のとき

ほんき → HONKI

促音（そくおん）の入力

“N” 以外の子音を重ねる。または “XTU” と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)
とっきゅう → TOKKYUU
(TOXTUKYUU)

▶参考◀

- **変換できないローマ字のつづりを入れたときは**
  この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作		表示	
例1	Q W	→	qw	
	A	→	わ	（qが削除されwaを変換）
例2	K Y	→	ky	
	W	→	w	（kyが削除されwが残る）
	O	→	を	（woを変換）

付録

仕　様

形　　名 PW-AC30　　**品　　名** 電子辞書

表　　示 320×240ドットTFTカラー液晶表示

電卓機能 計算桁数　12桁
税込/税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など

出力端子 イヤホン端子(3.5Φ)

電　　源 3V(DC):アルカリ乾電池(LR03)/Ni-MH※　単4形 2本
※Ni-MH充電池をご使用の場合は3、58、169ページを確認してください。

消費電力 0.54W

使用時間(LR03使用時) 約110時間
(使用温度25℃で連続表示の場合。なお、表示の明るさは初期の設定で、表示状態になった30秒後に表示が暗くなる場合)

約 45時間
(使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索*を5分間行った場合。なお、表示の明るさは、上記と同じ場合)

約 45時間
(使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索*を4分間、"dictionary" の音声再生を初期設定の音量で1分間行った場合。なお、表示の明るさは、上記と同じ場合)

＊検索：英和辞典で "dictionary" を1秒1キー操作で入力し[検索/決定]を押す操作の繰り返し。

注：使用環境や使用方法により、使用時間が短くなることがあります。

使用温度 0℃～40℃

外形寸法 突起部含む：幅71.0×奥行127.0×厚さ21.2mm
突起部含まず：幅71.0×奥行127.0×厚さ20.2mm

質　　量 約114g(乾電池を含む)

収録コンテンツ

『スーパー大辞林 3.0』※1(🔈)三省堂
(Copyright © Sanseido Co.,Ltd. 2010)
収録項目：約259,000項目

『パーソナルカタカナ語辞典』　学研(1999年10月 発行)
(Copyright©Gakken,1999)　**収録語数：約28,000語**

『漢字源（改訂第五版）』※2 学研（2011年1月 発行）
(Copyright © Gakken-ep, 2011)
収録漢字：13,284字　収録熟語：約48,000語

『ジーニアス英和辞典 第4版（ジーニアス用例プラス付き）』※3
（🔈）大修館書店　(2010年4月 発行)
(© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2006-2010)　**収録語数：約96,000語**

『ジーニアス和英辞典　第2版』
大修館書店（2003年12月 発行）
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003)　**収録語数：約82,000語**

『中日辞典 第2版』（🔈）小学館発行　北京・商務印書館／小学館共同編集（2007年2月 発行）
(©小学館／北京・商務印書館　1992,2003)
親字収録語数：約13,500字
見出し語：約100,000語

『日中辞典 第2版』小学館発行 北京・対外経済貿易大学／北京・商務印書館／小学館共同編集（2006年2月 発行）
(©小学館／北京・商務印書館　1987,2002)
収録語数：約90,000語

『わがまま歩き旅行会話　中国語＋英語』※4（🔈）
実業之日本社（2008年3月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.1999)
収録例文：約2,200例　収録単語：約5,200語

『わがまま歩き旅行会話　英語』🔈
実業之日本社（2007年10月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.1999)
収録例文：約2,300例　収録単語：約4,500語

『わがまま歩き旅行会話　イタリア語＋英語』（🔈）
実業之日本社（2007年9月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.1999)
収録例文：約2,500例　収録単語：約8,500語

『わがまま歩き旅行会話　フランス語＋英語』（🔈）
実業之日本社（2008年7月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.1999)
収録例文：約2,500例　収録単語：約8,000語

『わがまま歩き旅行会話　スペイン語＋英語』（🔈）
実業之日本社（2007年9月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.2000)
収録例文：約2,500例　収録単語：約7,500語

『わがまま歩き旅行会話　ドイツ語＋英語』（🔈）
実業之日本社（2007年9月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.2000)
収録例文：約2,500例　収録単語：約8,000語

『わがまま歩き旅行会話　韓国語＋英語』（🔈）
実業之日本社（2007年9月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA, LTD.2000)
収録例文：約2,500例　収録単語：約8,500語

※1「スーパー大辞林 3.0」は書籍版に2009年10月現在

のデータ・項目を改訂および追加収録した電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。

※2 書籍版「漢字源 改訂第五版」にもとづいて「漢字源 JIS第1～第4水準版」として編集したものです。

※3 本機に収録した音声データは『ジーニアス英和辞典第４版』の発音表記に準拠し、大修館書店が作成した、米国人ネイティブスピーカーによる発音データです（約100,000語）。ジーニアス・サウンズ V４の音声データを拡張し、全派生語・複合語に対応すると共に、見出し語に無い変化形についても、音声を追加しました。(© Taishukan, 2008)

※4 広東語会話は収録していません。

アフターサービスについて

保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から１年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後は…**
   ご要望により有料修理または有料交換いたします。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけいただくか、「お客様ご相談窓口のご案内」(☞178ページ)に記載の窓口にお問い合わせください。**ご自分での修理はしないでください。**
2. **アフターサービスについてわからないことは…**
   お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、お客様ご相談窓口へお申しつけください。

お客様ご相談窓口のご案内

お問い合わせの前に161～165ページをもう一度確認してください。

使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】

0120-303-909

携帯電話·PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電　話	ファックス
06-6792-1583	06-6792-5993

受付時間
- ●月曜～土曜：9:00～18:00
- ●日曜・祝日：9:00～17:00

（年末年始を除く）

索　引

記号

数字

アルファベット

あ

い

え

お

●取扱説明書のデータ（PDF）は、シャープのホームページからダウンロードすることができます。

http://www.sharp.co.jp/support/index.html

（2011年7月現在）

■よくある質問などはパソコンから検索できます。

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

取扱説明書をご確認いただいて解決しないときは、178ページをご覧いただき、お客様ご相談窓口へご連絡ください。

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

通信システム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

11FSP(TINSJ0724THZZ)
0MYMPWAC3W6801

PRINTED IN CHINA